

第4章 日本人意識調査 調査結果の詳細

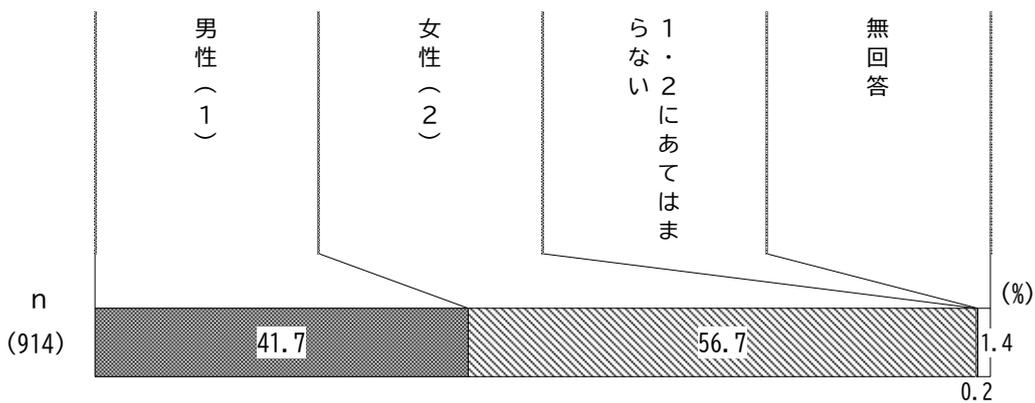
1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

「男性」が41.7%、「女性」が56.7%となっている。

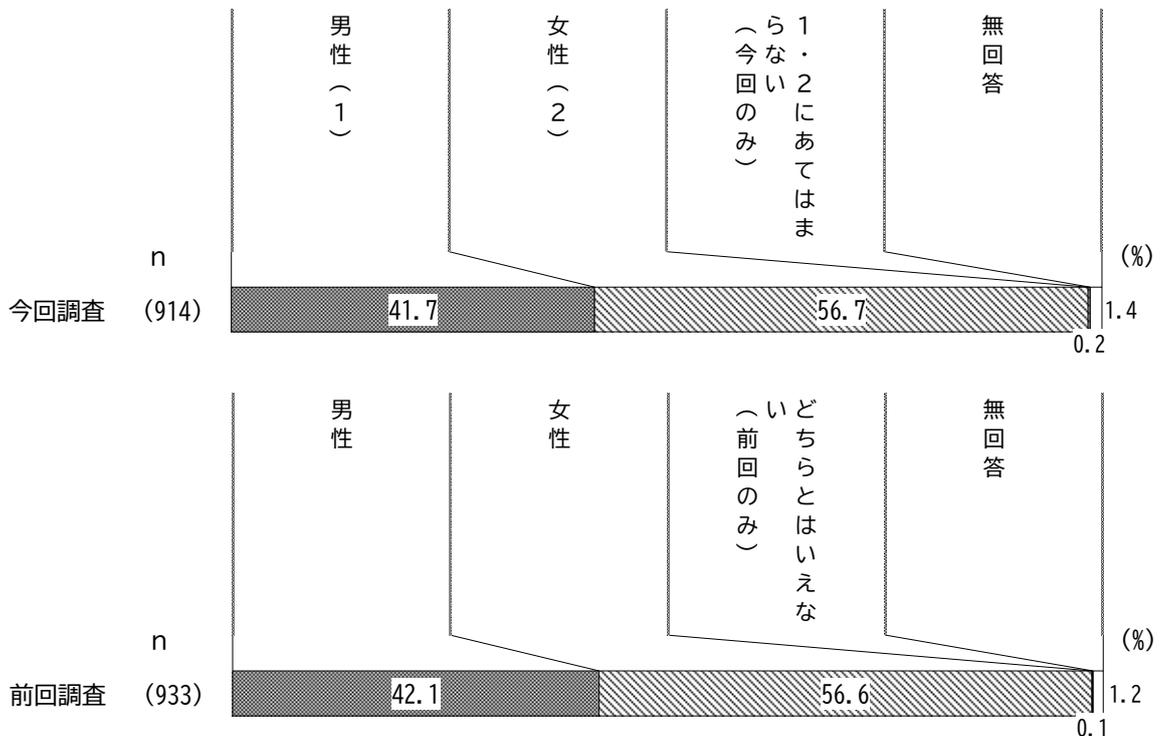
図表 性別（単一回答）



【参考：経年比較】

前回との比較では、大きな差異はみられない。

図表 【参考：経年比較】性別（単一回答）



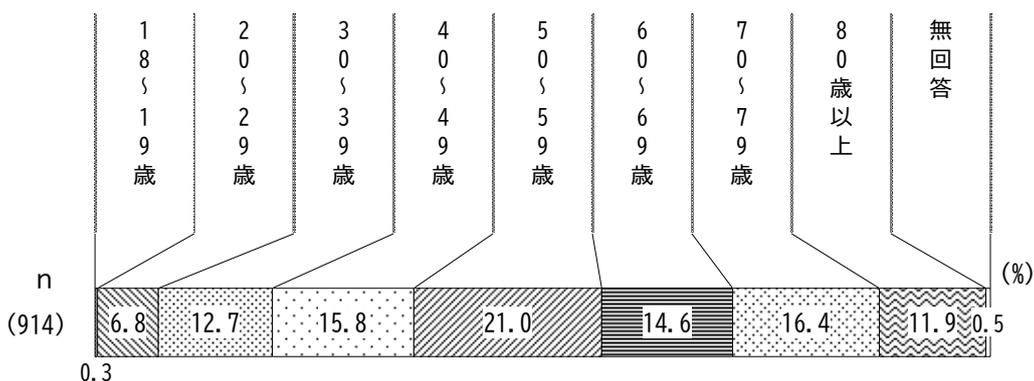
※前回調査の選択肢「どちらともはいえない」が、今回調査より「1・2にあてはまらない」に変更になっており、参考までに経年比較した。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

「50～59歳」(21.0%)が最も高く、次いで、「70～79歳」(16.4%)、「40～49歳」(15.8%)となっている。

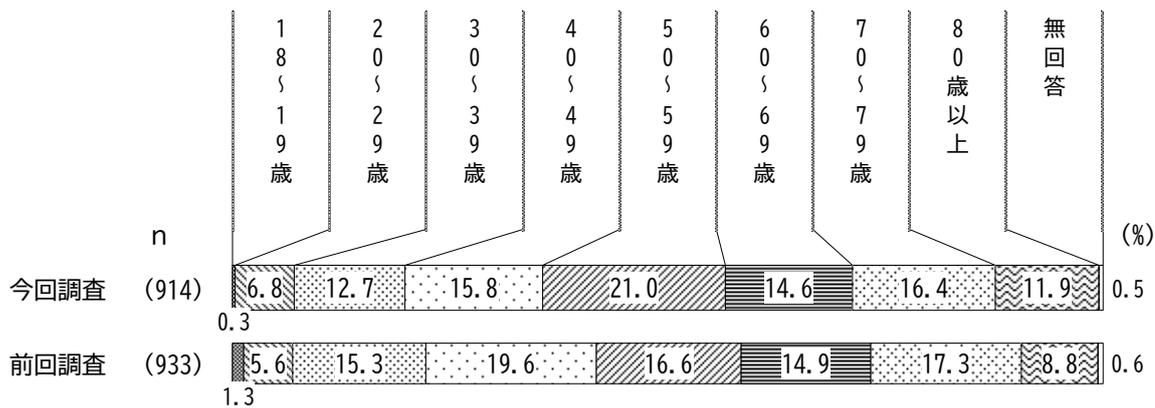
図表 年齢 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、大きな差異はみられないが、「40～49歳」がやや減少し、「50～59歳」がやや増加している。

図表 【経年比較】年齢 (単一回答)

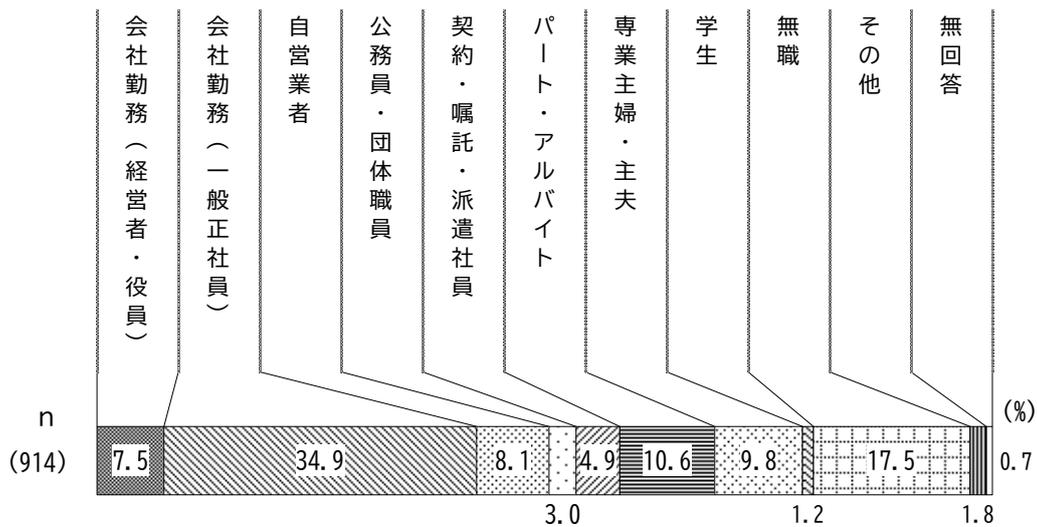


(3) 職業

問3 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「会社勤務（一般正社員）」(34.9%)が最も高く、次いで、「無職」(17.5%)、「パート・アルバイト」(10.6%)となっている。

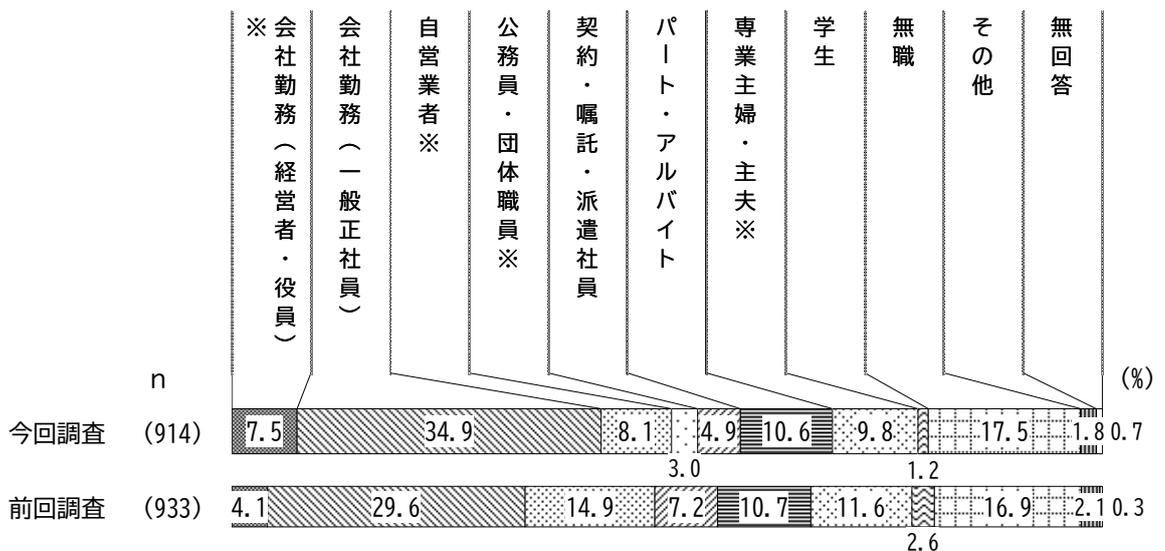
図表 職業（単一回答）



【経年比較】

前回との比較は、選択肢が一部異なるため参考程度にとどめる。

図表 【経年比較】職業（単一回答）



※今回調査の選択肢「会社勤務（経営者・役員）」は前回調査では「会社勤務（役員）」、「自営業者」は「自営業者・経営者」、「専業主婦・主夫」は「家事」であった。

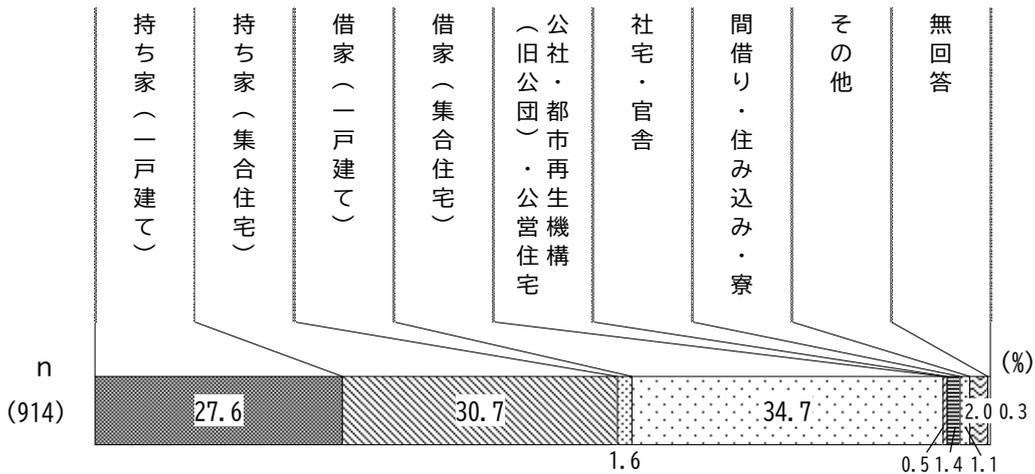
※今回調査より、選択肢「公務員・団体職員」が追加された。

(4) 居住形態

問4 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「借家（集合住宅）」(34.7%) が最も高く、次いで、「持ち家（集合住宅）」(30.7%)、「持ち家（一戸建て）」(27.6%) となっている。

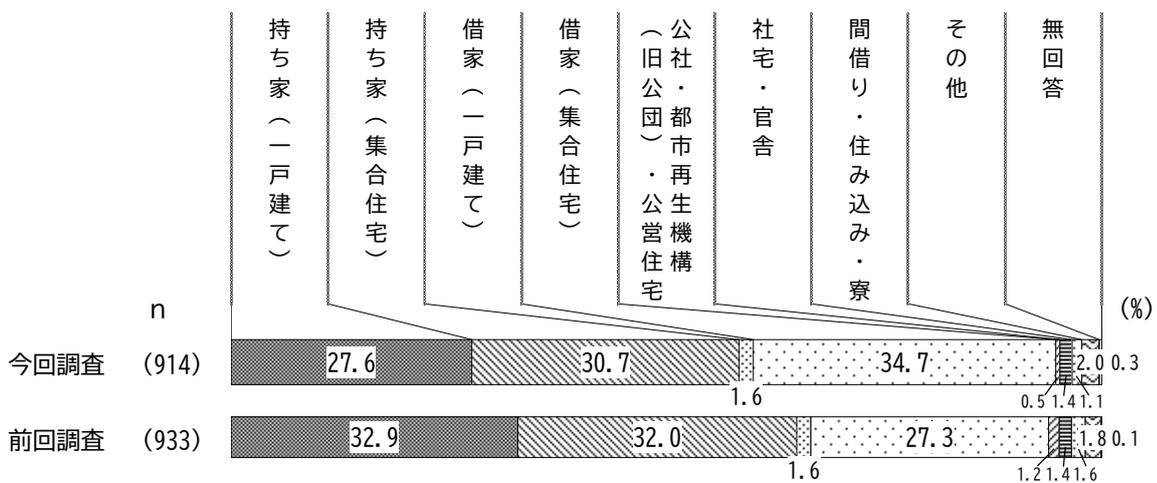
図表 居住形態（単一回答）



【経年比較】

前回の比較では、「持ち家（一戸建て）」が5.3ポイント減少し、「借家（集合住宅）」が7.4ポイント増加している。

図表 【経年比較】居住形態（単一回答）

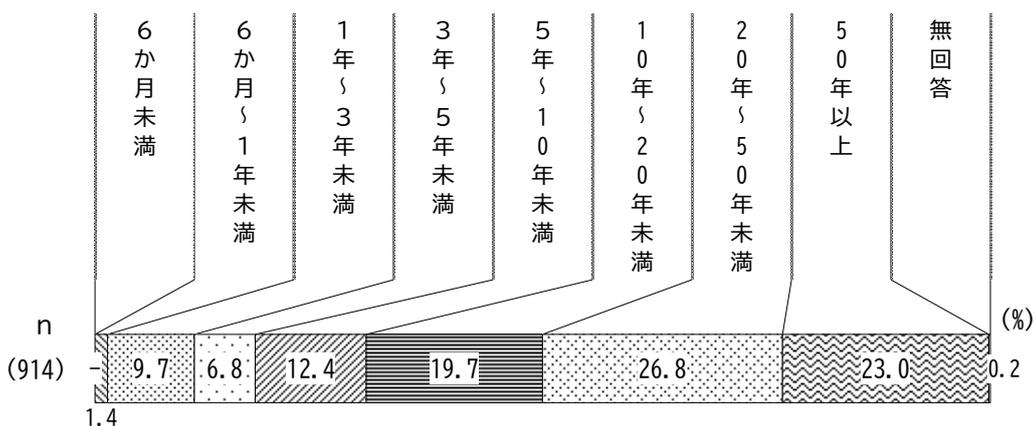


(5) 台東区での居住年数

問5 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

「20年～50年未満」(26.8%)が最も高く、次いで、「50年以上」(23.0%)、「10年～20年未満」(19.7%)となっている。

図表 台東区での居住年数 (単一回答)

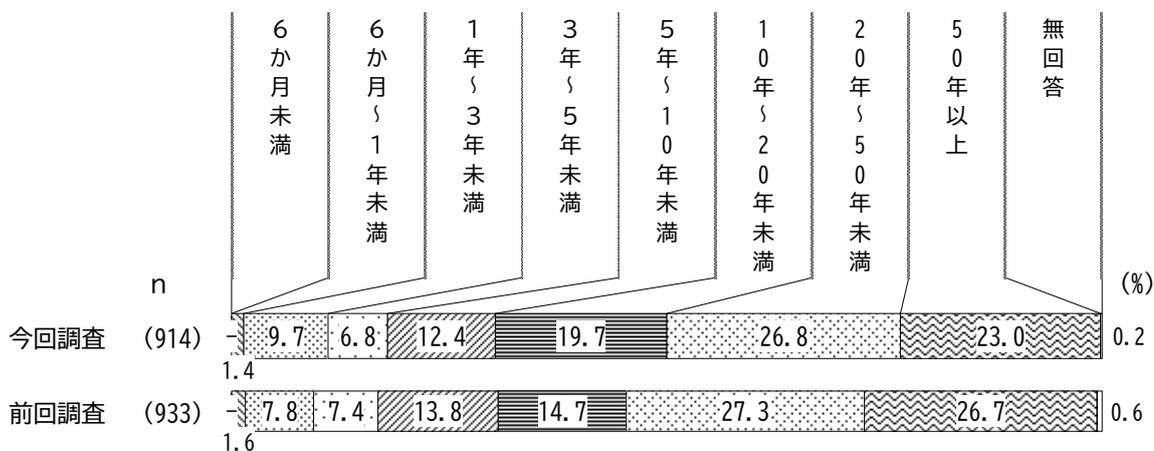


※「6か月未満」は0%であった。

【経年比較】

前回との比較では、「10年～20年未満」が5.0ポイント増加している。

図表 【経年比較】 台東区での居住年数 (単一回答)



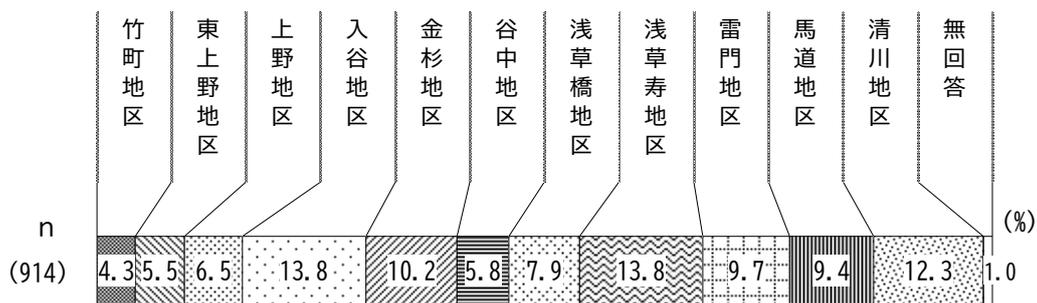
※「6か月未満」は0%であった。

(6) 居住地域

問6 あなたの住んでいる地域を把握するため封筒のお名前の右下にある1～11の数字を選択してください。(ひとつだけ○)

「入谷地区」「浅草寿地区」(共に13.8%)が最も高く、次いで、「清川地区」(12.3%)、「金杉地区」(10.2%)となっている。

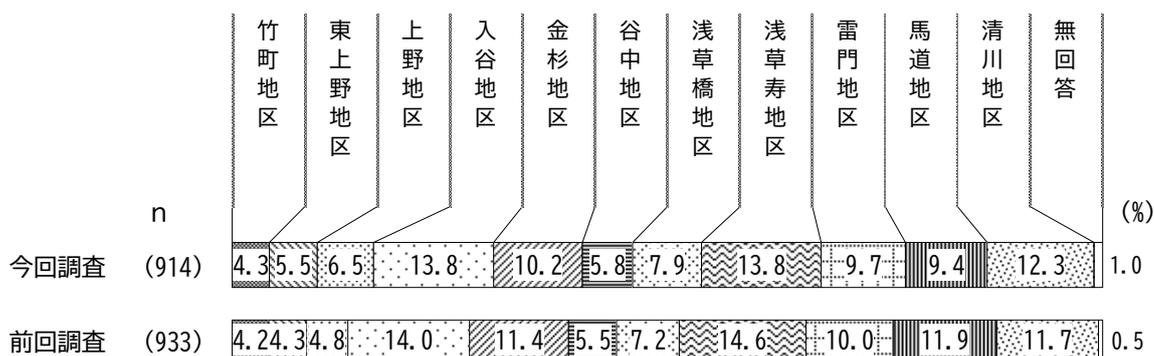
図表 居住地域 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、大きな違いはみられない。

図表 【経年比較】居住地域 (単一回答)

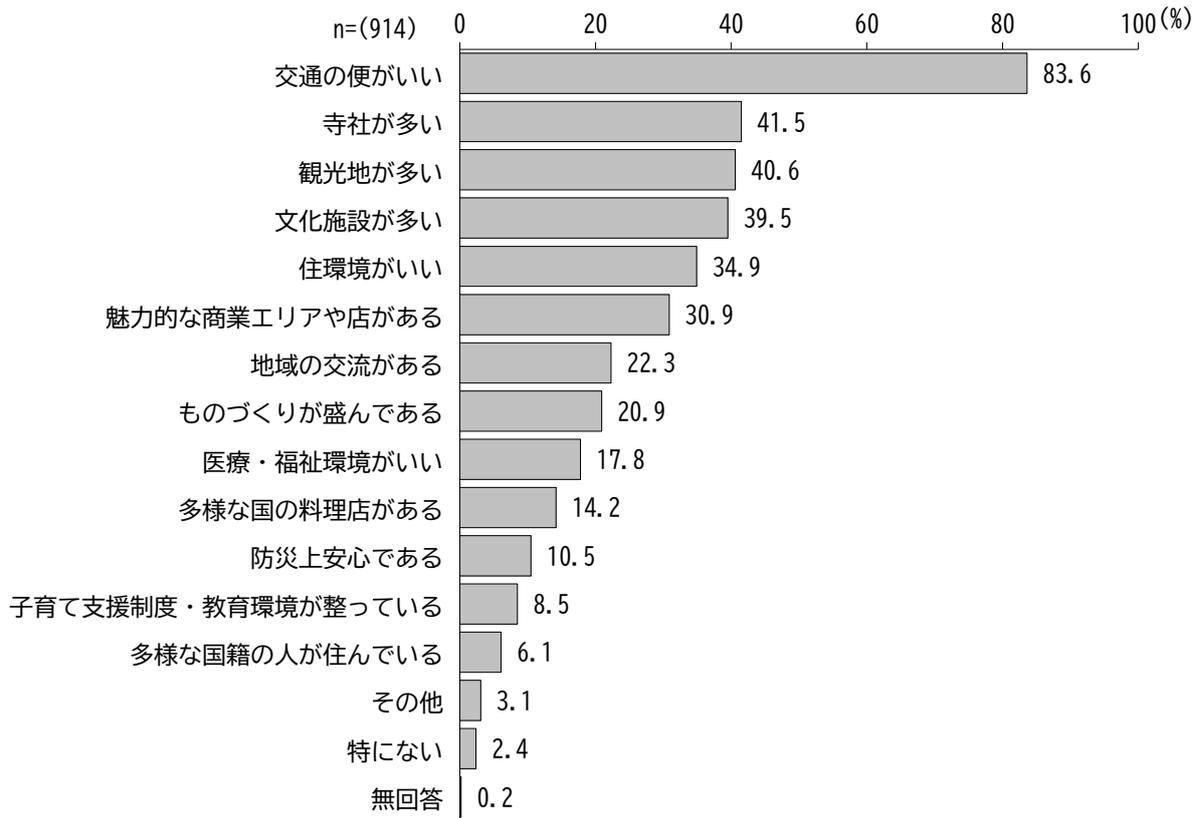


(7) 台東区の魅力

問7 台東区の魅力は何だと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

「交通の便がいい」(83.6%)が最も高く、次いで、「寺社が多い」(41.5%)、「観光地が多い」(40.6%)、「文化施設が多い」(39.5%)となっている。

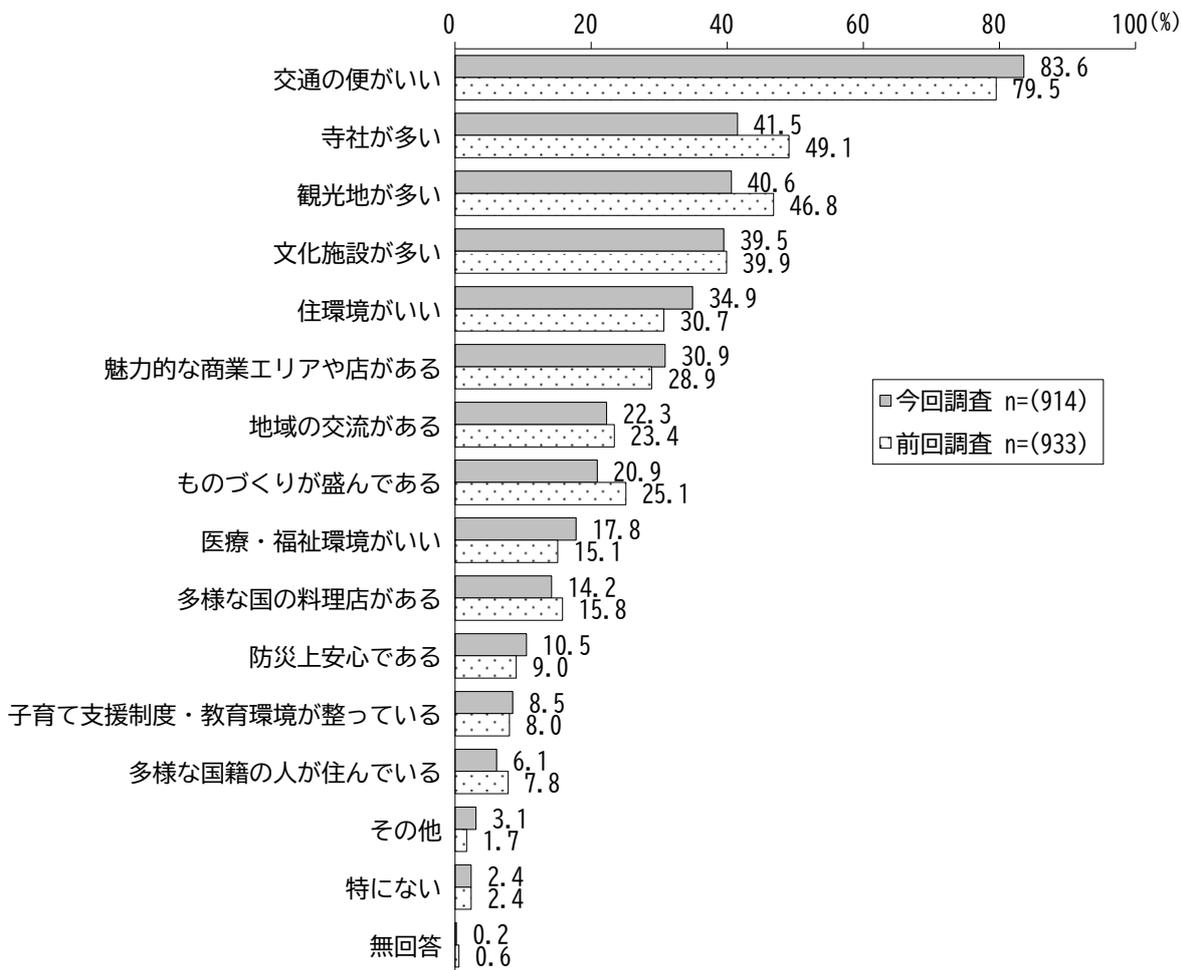
図表 台東区の魅力(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「寺社が多い」が7.6ポイント減少、「観光地が多い」が6.2ポイント減少しているが、魅力の順位に大きな差異はみられない。

図表 【経年比較】台東区の魅力（複数回答）

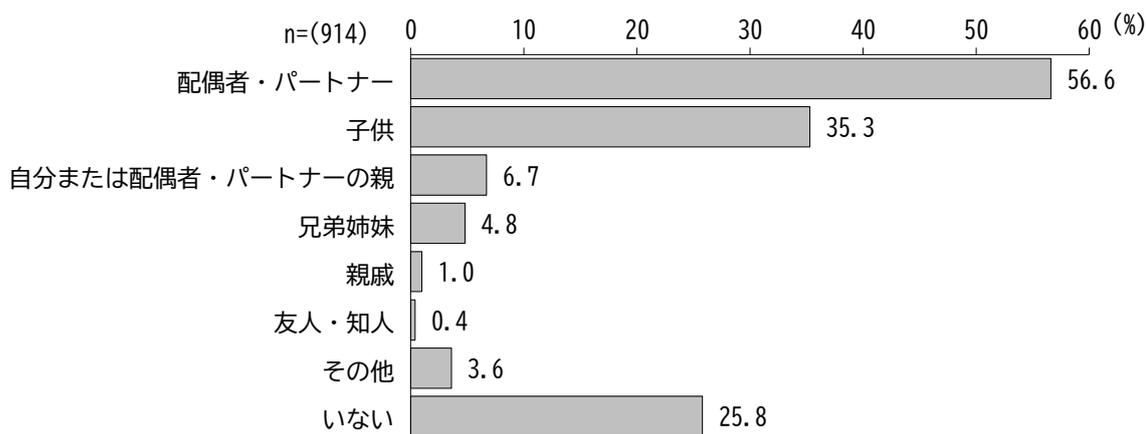


(8) 同居者

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

「配偶者・パートナー」(56.6%)が最も高く、次いで、「子供」(35.3%)、「いない」(25.8%)となっている。

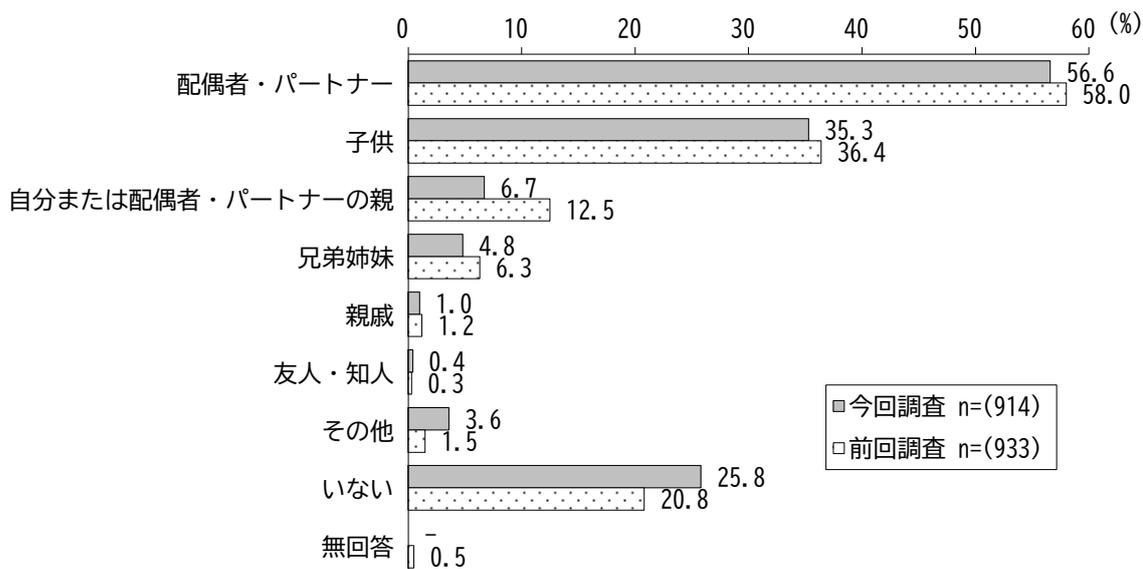
図表 同居者(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「いない」が5.0ポイント増加しており、日本人区民も単身世帯が増加している可能性がうかがえる。一方、「自分または配偶者・パートナーの親」が5.8ポイント減少している。

図表 【経年比較】同居者(複数回答)

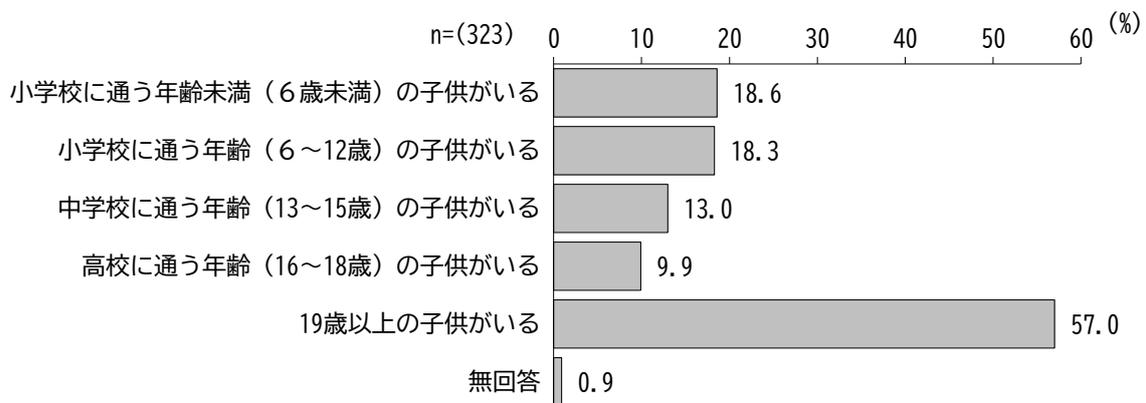


(9) 子供の年齢

問8-2 【問8で「2 子供」と回答した方にお聞きます。】
 あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

「19歳以上の子供がいる」(57.0%)が最も高く、半数以上占めている。次いで、「小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子供がいる」(18.6%)、「小学校に通う年齢(6~12歳)の子供がいる」(18.3%)となっている。

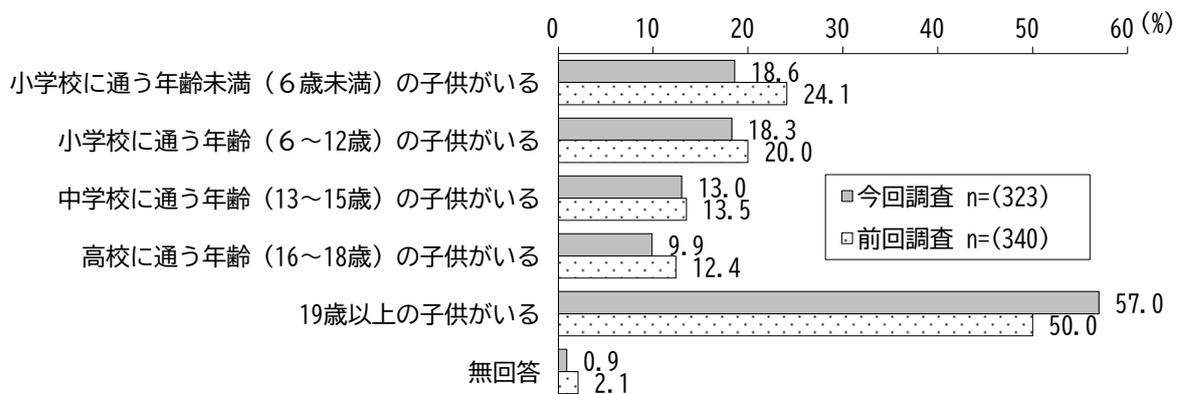
図表 子供の年齢(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「19歳以上の子供がいる」が7.0ポイント増加している。一方、「小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子供がいる」が5.5ポイント減少している。

図表 【経年比較】子供の年齢(複数回答)

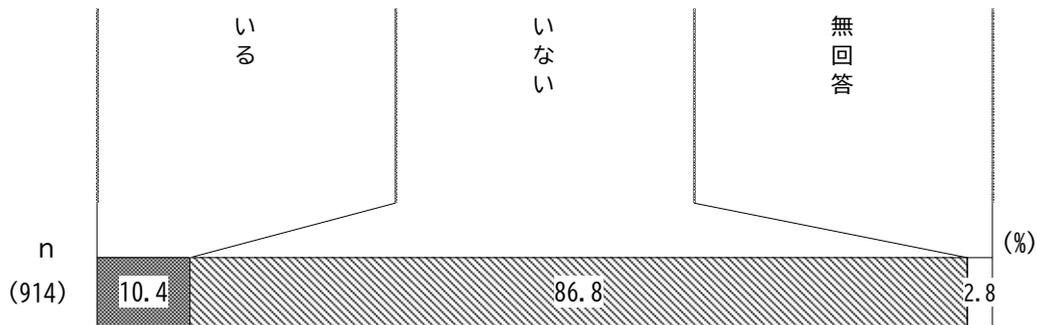


(10) 外国人や外国にルーツを持つ人の有無

問9 あなたの家族や親戚には外国人や外国にルーツを持つ人はいますか。(ひとつだけ○)

外国人や外国にルーツを持つ人が「いる」が10.4%となっている。

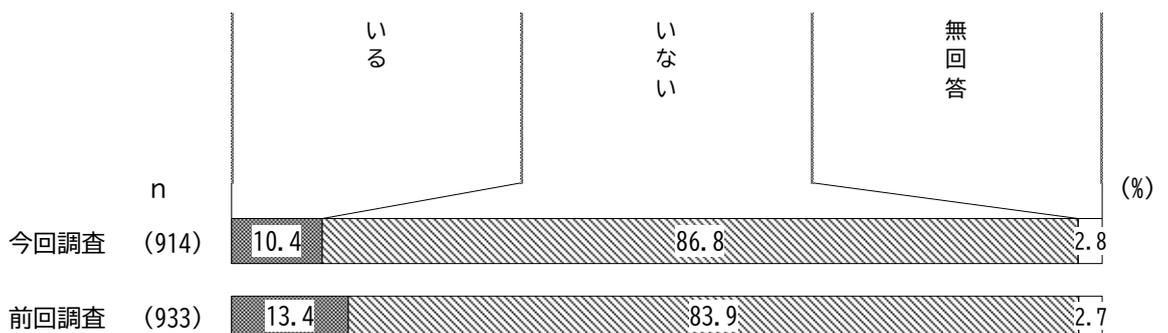
図表 外国人や外国にルーツを持つ人の有無 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「いる」がやや減少している。

図表 【経年比較】外国人や外国にルーツを持つ人の有無 (単一回答)



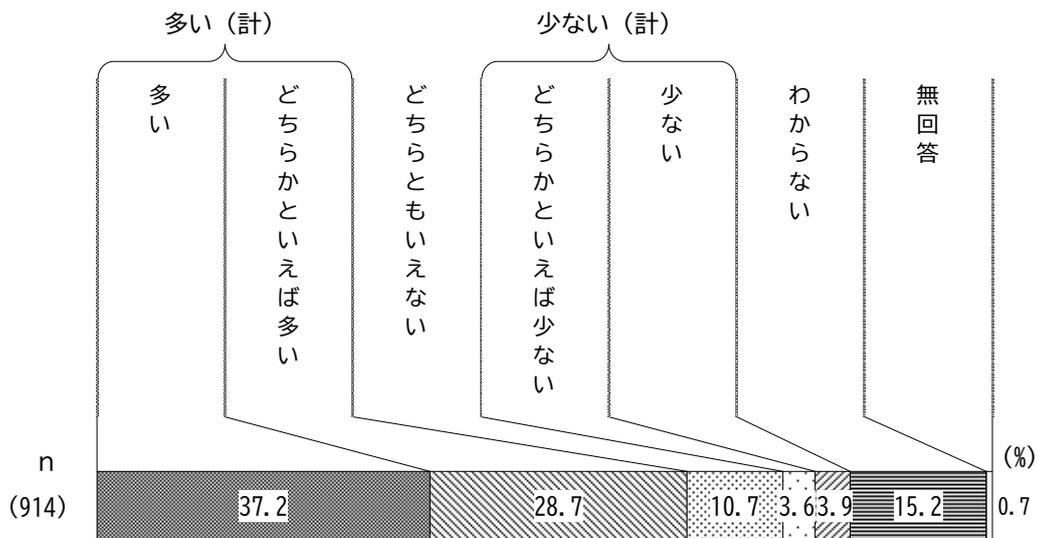
2. 地域で暮らす外国人とのかかわりについて

(1) 外国人が多いと感じるか

問10 台東区に住んでいる外国人は多いと感じますか。(ひとつだけ○)

「多い」(37.2%)が最も高く、次いで、「どちらかといえば多い」(28.7%)、「わからない」(15.2%)となっている。「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合は65.9%である。

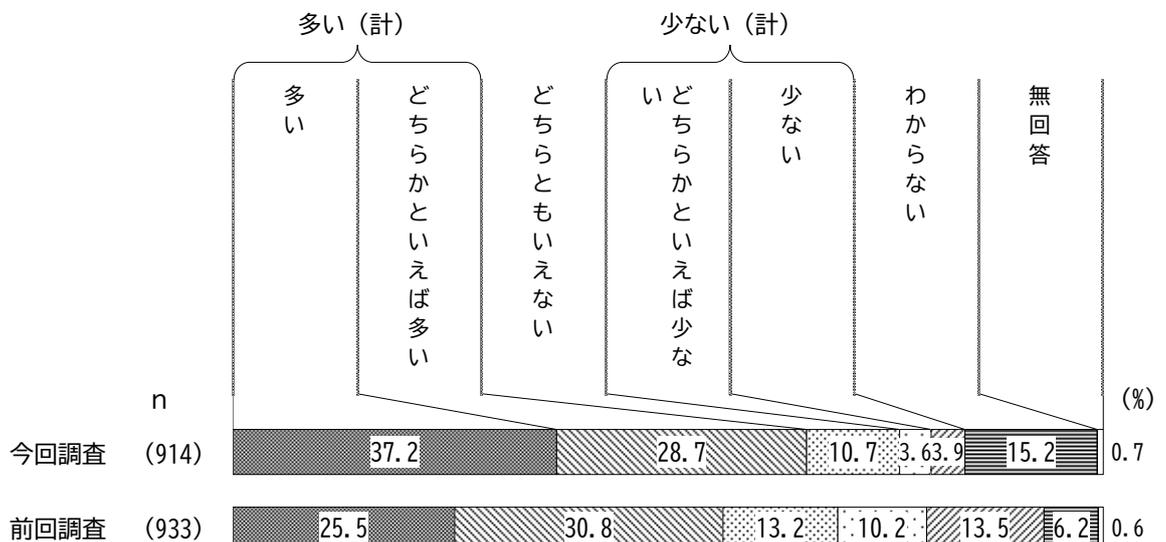
図表 外国人が多いと感じるか(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合が9.6ポイント、「わからない」が9.0ポイント増加する一方、「どちらかといえば少ない」「少ない」の合計の割合は16.2ポイント減少している。

図表 【経年比較】外国人が多いと感じるか(単一回答)



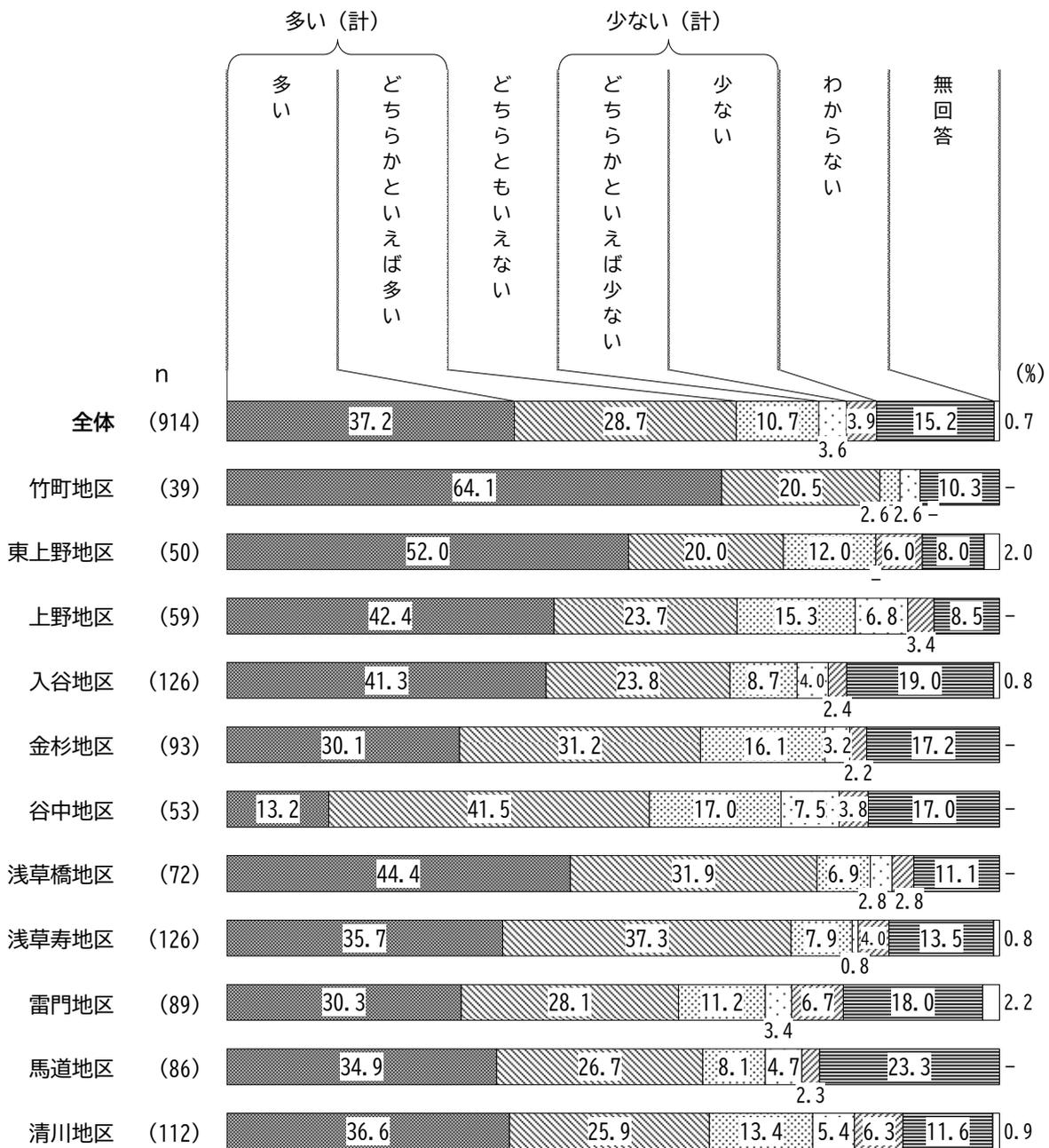
※前回調査の設問では「身近なところに外国人は多いと感じますか。」となっていた。

【居住地域別】

「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合は、「竹町地区」「浅草橋地区」「浅草寿地区」「東上野地区」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「谷中地区」「雷門地区」は全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

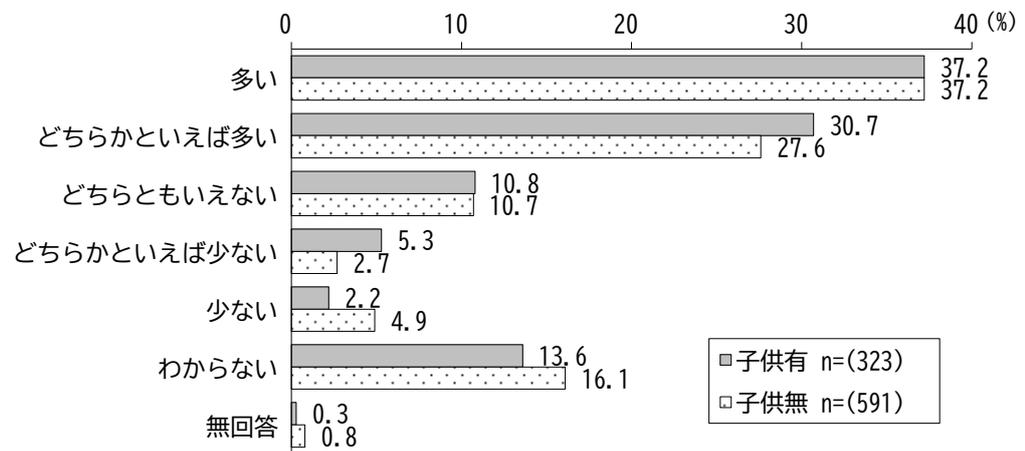
図表 外国人が多いと感じるか（居住地域別）



【子供の有無別】

「多い」「どちらかといえば多い」の合計の割合は、「子供有」「子供無」では大きな差はみられない。

図表 外国人が多いと感じるか（子供の有無別）

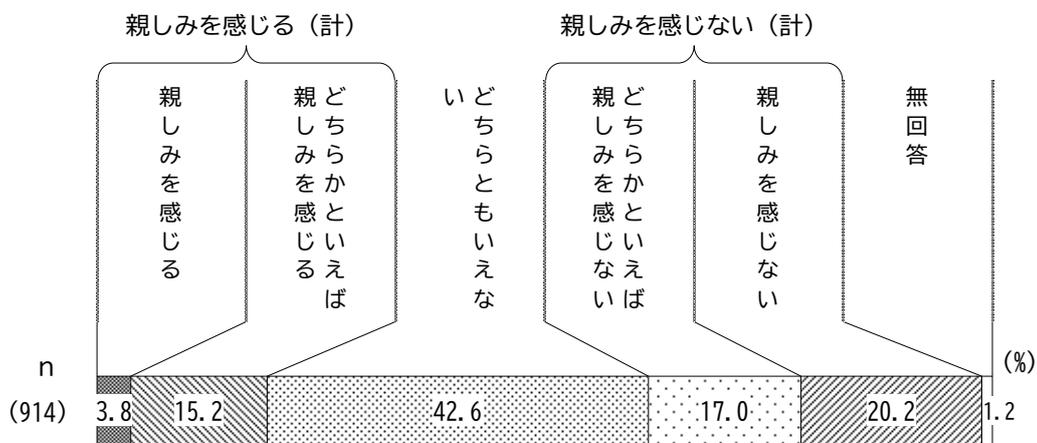


(2) 地域の外国人に対する親しみ度合い

問11 あなたは、地域に暮らす外国人にどれくらい親しみを感ずますか。(ひとつだけ○)

「どちらともいえない」(42.6%)が最も高く、次いで、「親しみを感ずない」(20.2%)、「どちらかといえば親しみを感ずない」(17.0%)となっている。「親しみを感ずない」「どちらかといえば親しみを感ずない」の合計の割合は37.2%で、「親しみを感ずる」「どちらかといえば親しみを感ずる」の合計の割合は19.0%である。

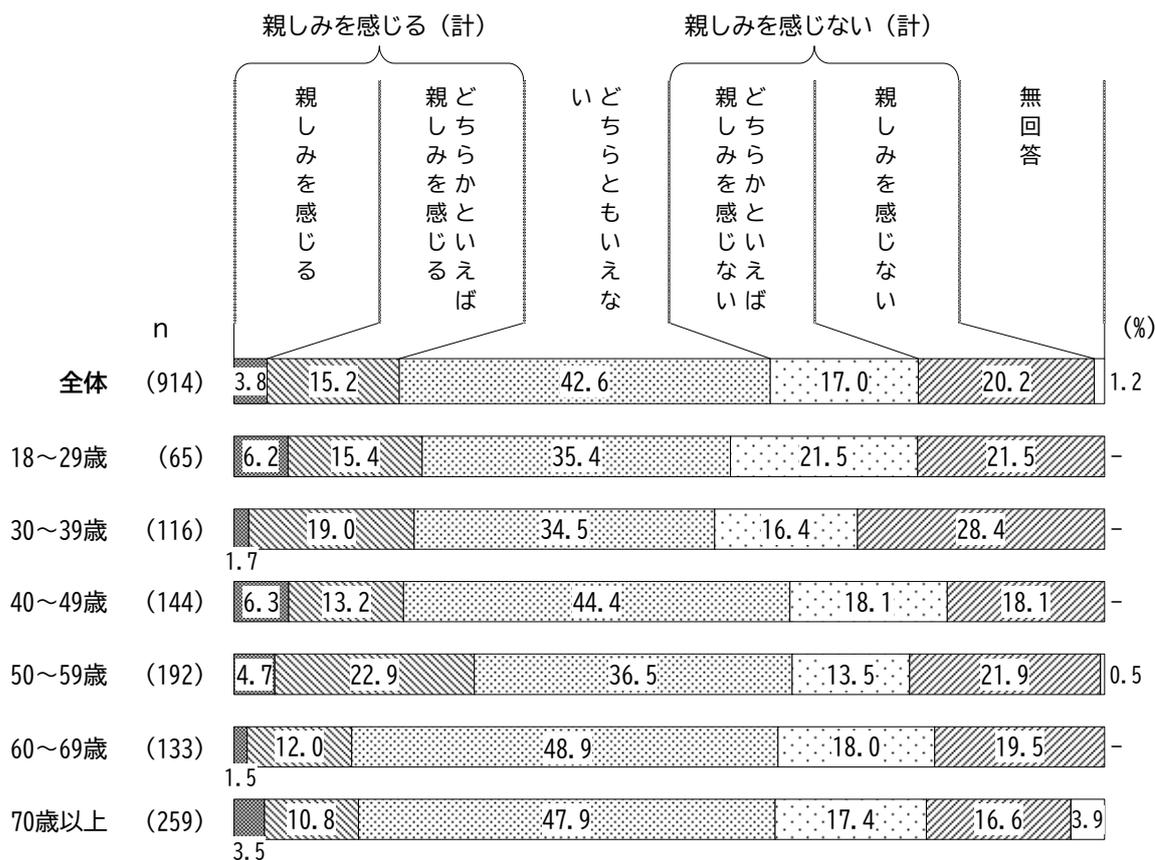
図表 地域の外国人に対する親しみ度合い (単一回答)



【年齢別】

「親しみを感じない」「どちらかといえば親しみを感じない」の合計の割合は、「18～29歳」「30～39歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。一方、「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合は、「50～59歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高いものの、「60～69歳」では13.5%と低くなっている。

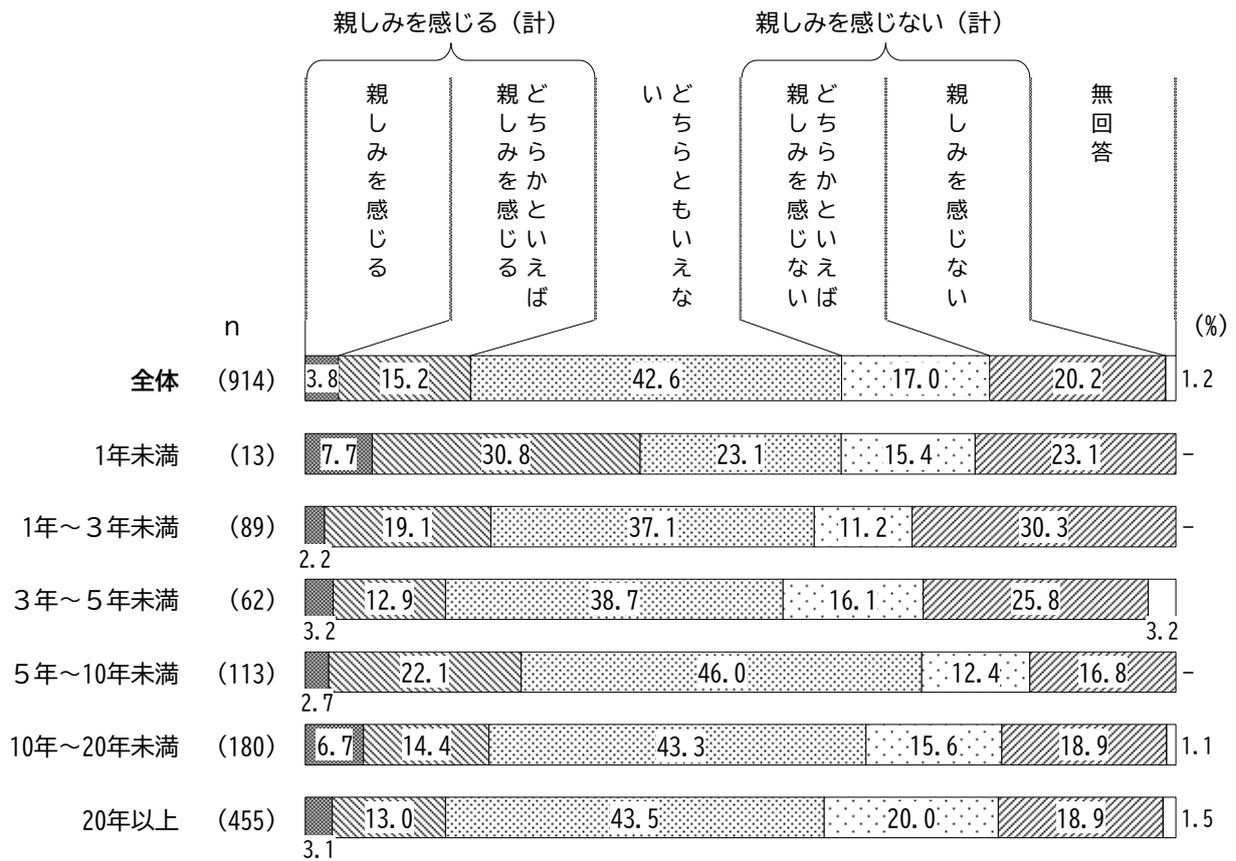
図表 地域の外国人に対する親しみ度合い（年齢別）



【台東区居住年数別】

「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」の合計の割合は、「1年未満」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。1年以上では「親しみを感じない」「どちらかといえば親しみを感じない」の合計の割合の方が高く、「1年～3年未満」「3年～5年未満」「20年以上」では20ポイント以上の差がある。

図表 地域の外国人に対する親しみ度合い（台東区居住年数別）

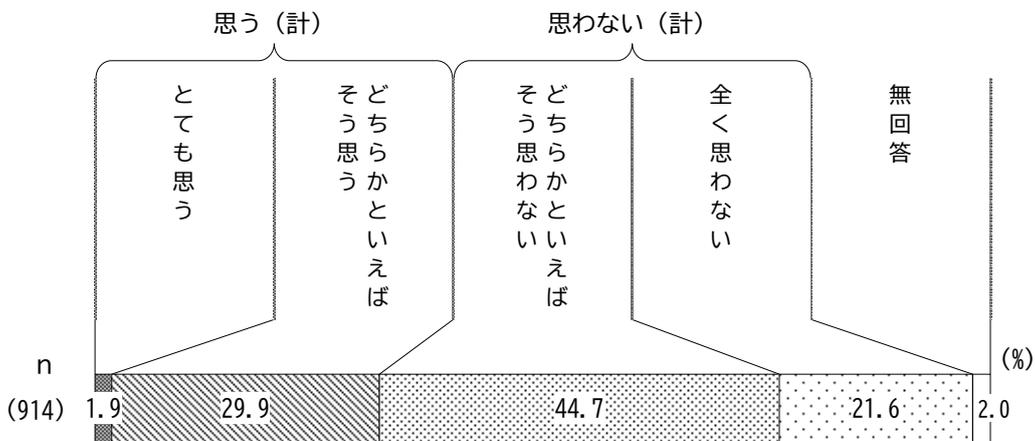


(3) 地域の中での日本人と外国人のかかわり

問12 台東区では地域の中で日本人と外国人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

「どちらかといえばそう思わない」(44.7%)が最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」(29.9%)、「全く思わない」(21.6%)となっている。「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が31.8%に対し、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合は66.3%と高くなっている。

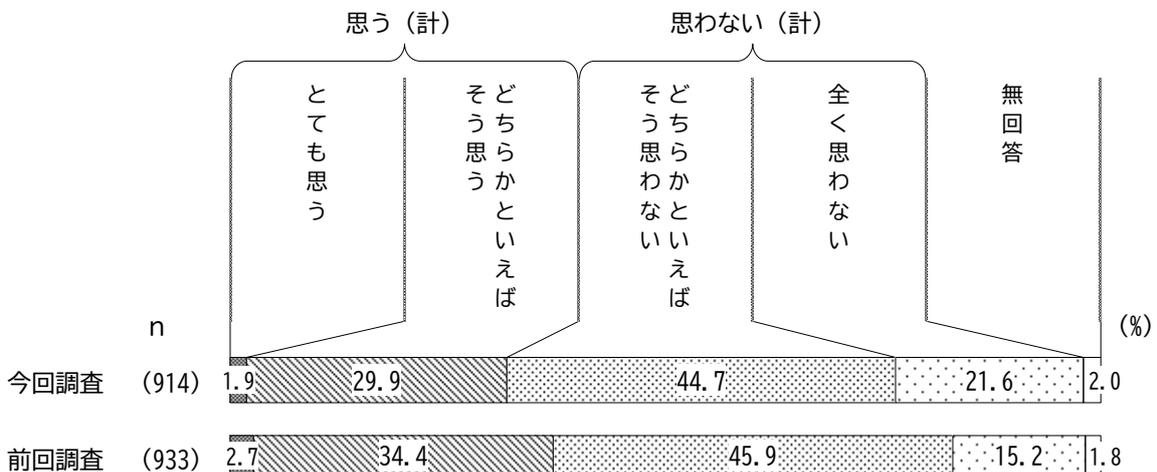
図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか(単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が5.3ポイント減少する一方、「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が5.2ポイント増加している。

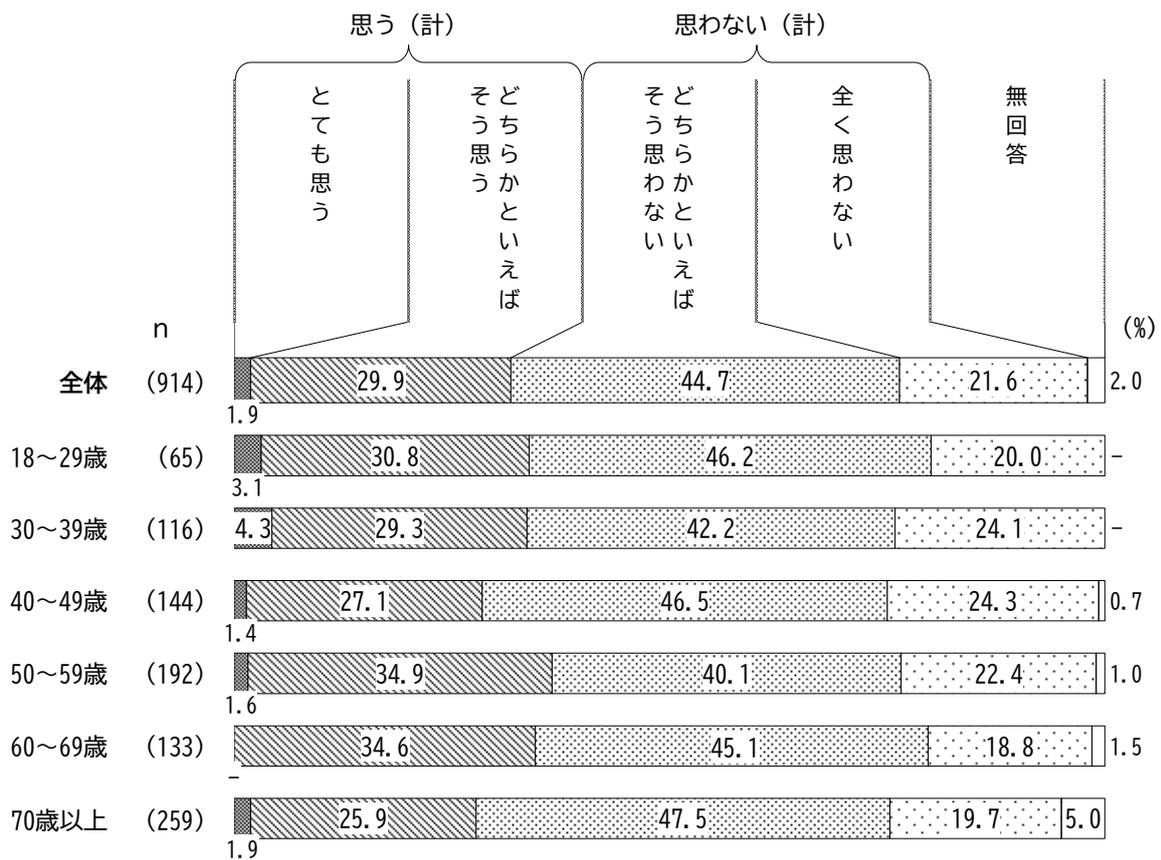
図表 【経年比較】 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか (単一回答)



【年齢別】

すべての年代で「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合を上回っている。

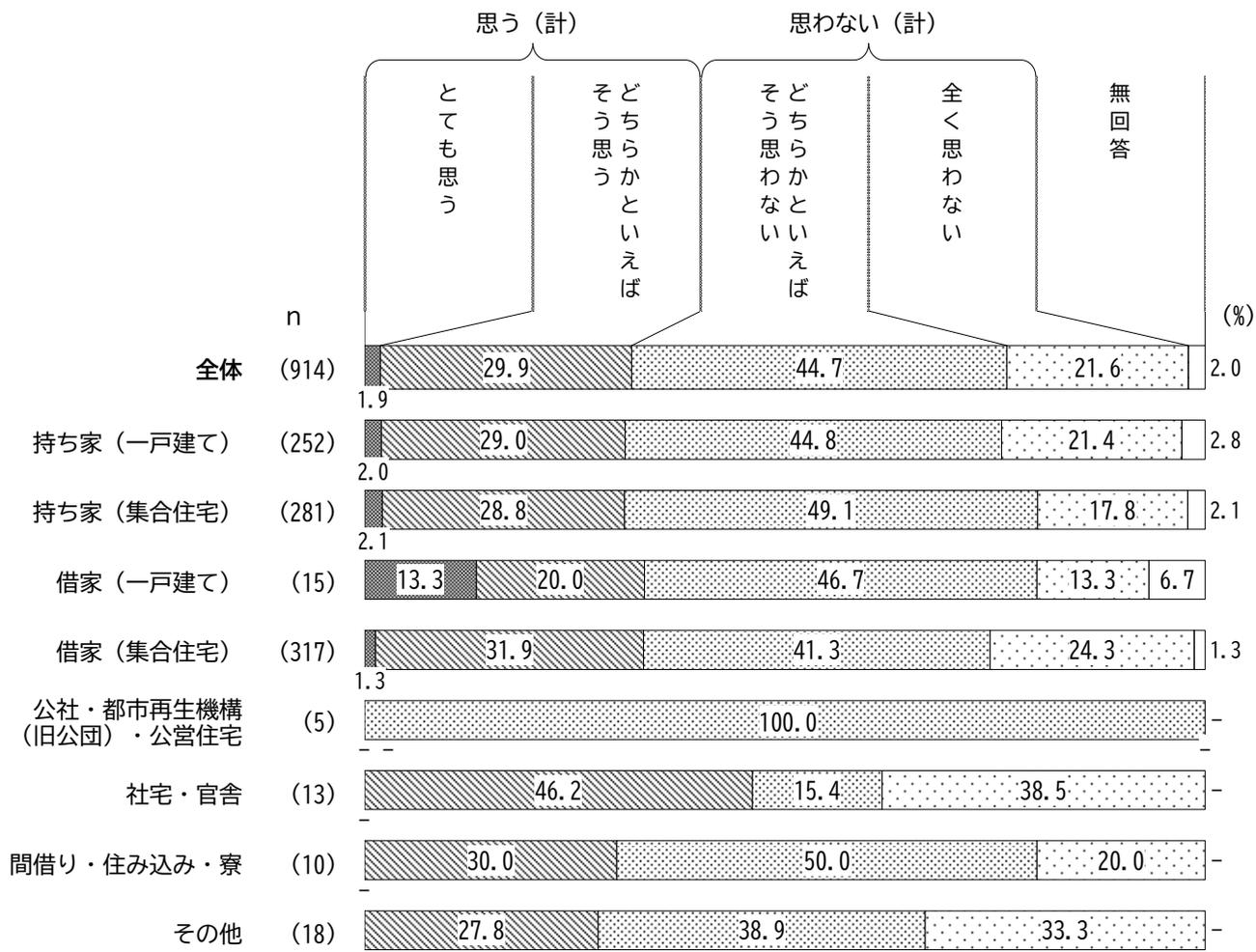
図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（年齢別）



【居住形態別】

すべての居住形態で「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合を上回っている。

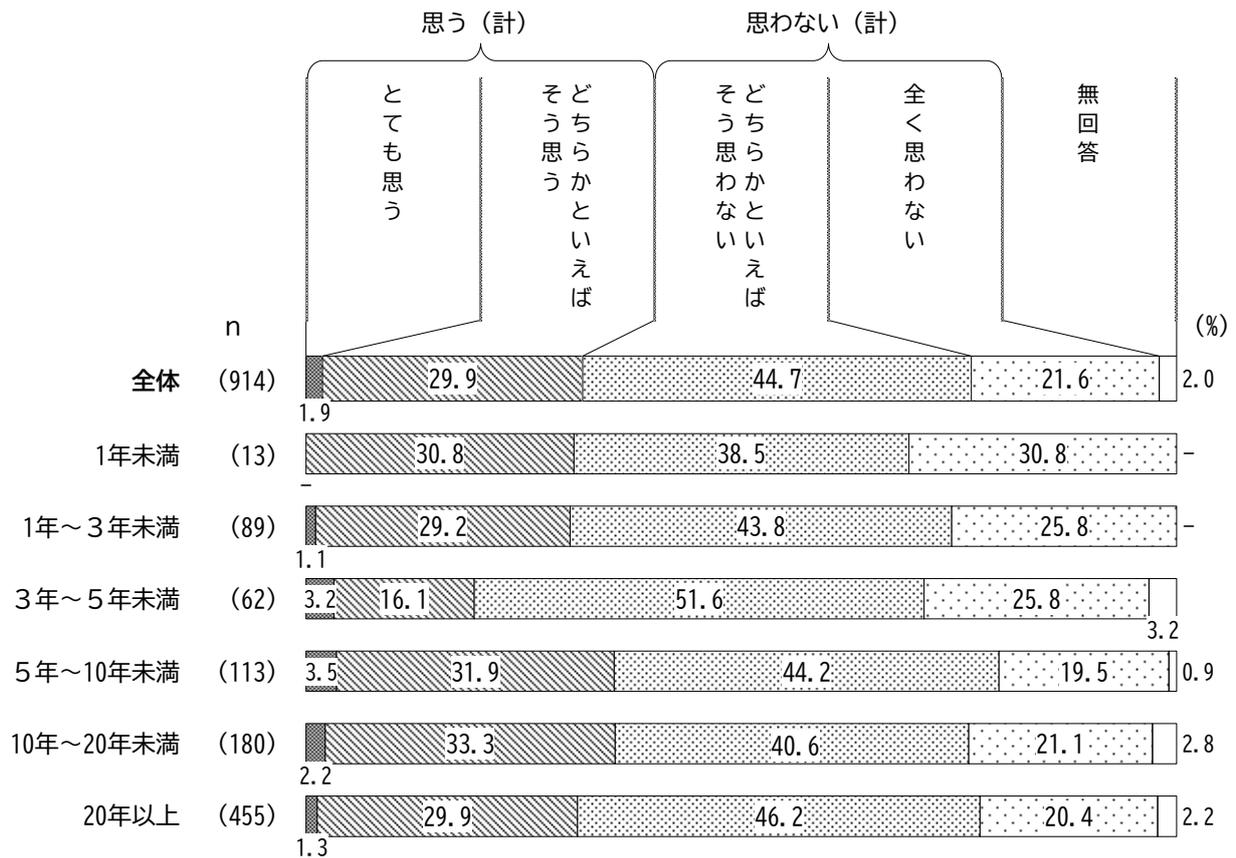
図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（居住形態別）



【台東区居住年数別】

「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「とても思う」「どちらかといえば思う」の合計の割合が全体平均と比較してやや高く、「3年～5年未満」で「全く思わない」「どちらかといえば思わない」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（台東区居住年数別）

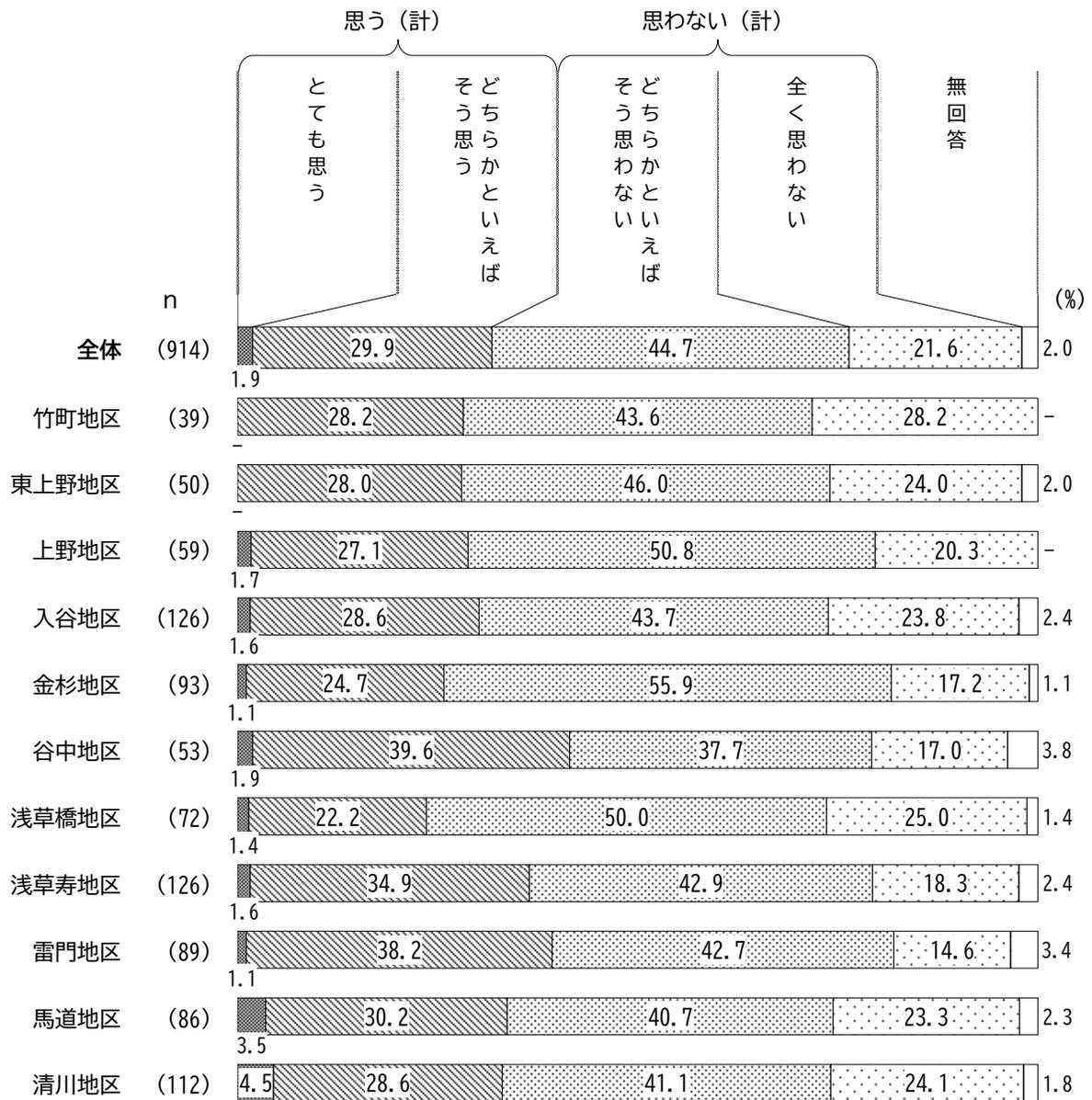


【居住地域別】

「谷中地区」「雷門地区」で「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「竹町地区」「金杉地区」「浅草橋地区」では「全く思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域の中で日本人と外国人のコミュニケーションがとれているか（居住地域別）

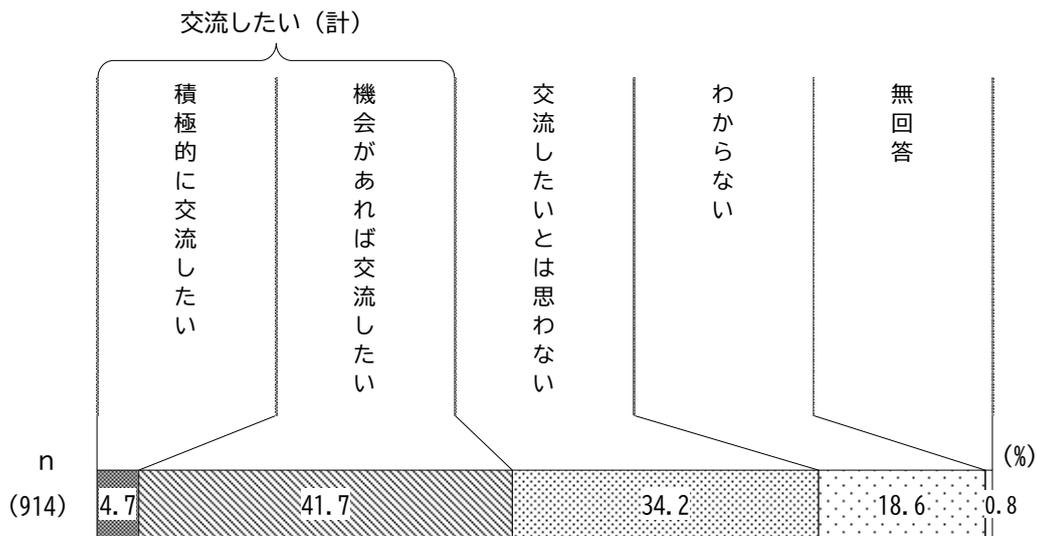


(4) 外国人との交流意向

問13 あなたはこれから、外国人ともっと交流したいですか。(ひとつだけ○)

「機会があれば交流したい」(41.7%)が最も高くなっている。次いで、「交流したいとは思わない」(34.2%)、「わからない」(18.6%)となっている。「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合は46.4%である。

図表 外国人との交流意向 (単一回答)

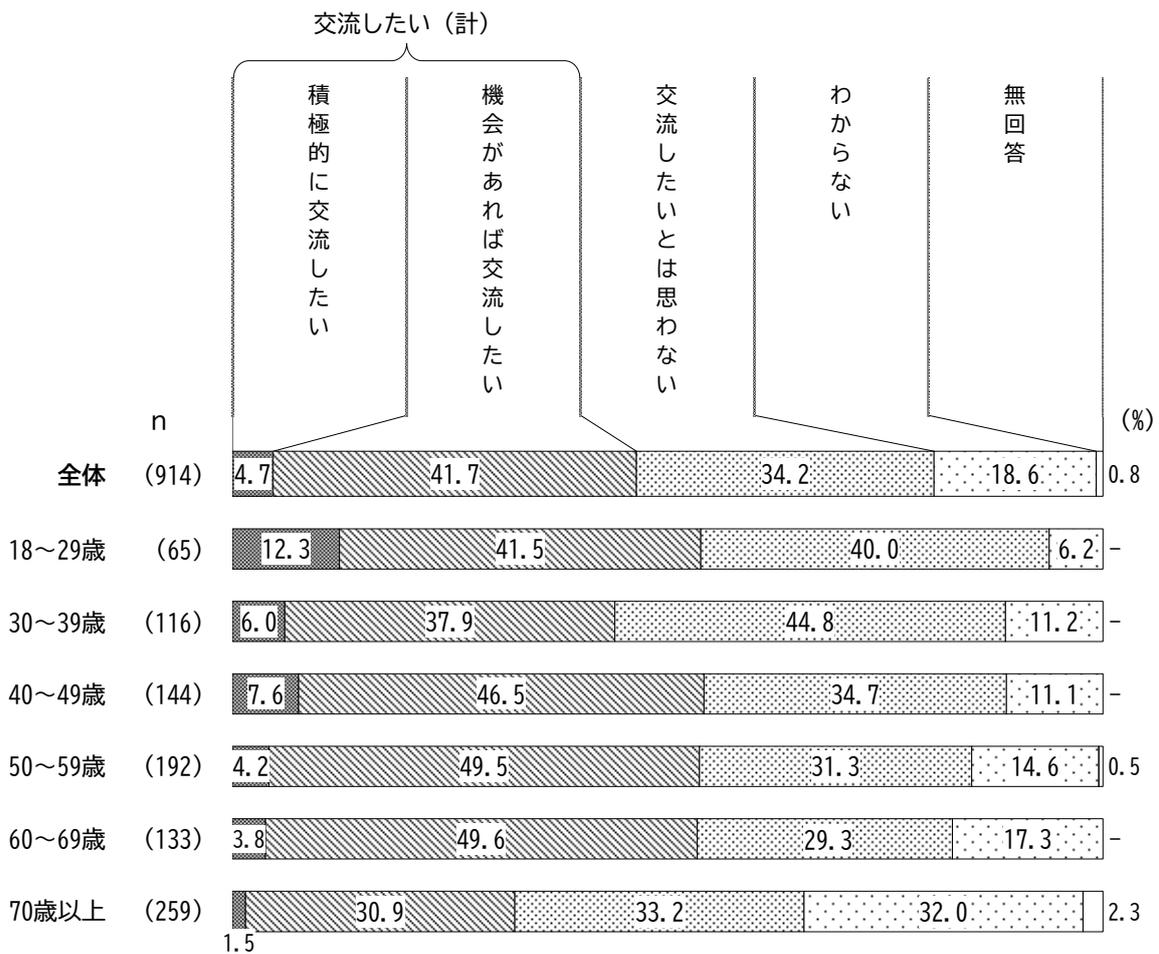


【年齢別】

「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」で「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が50%台となっている。また、「70歳以上」は「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が32.4%で、全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

一方、「18～29歳」「30～39歳」で「交流したいとは思わない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 外国人との交流意向（年齢別）

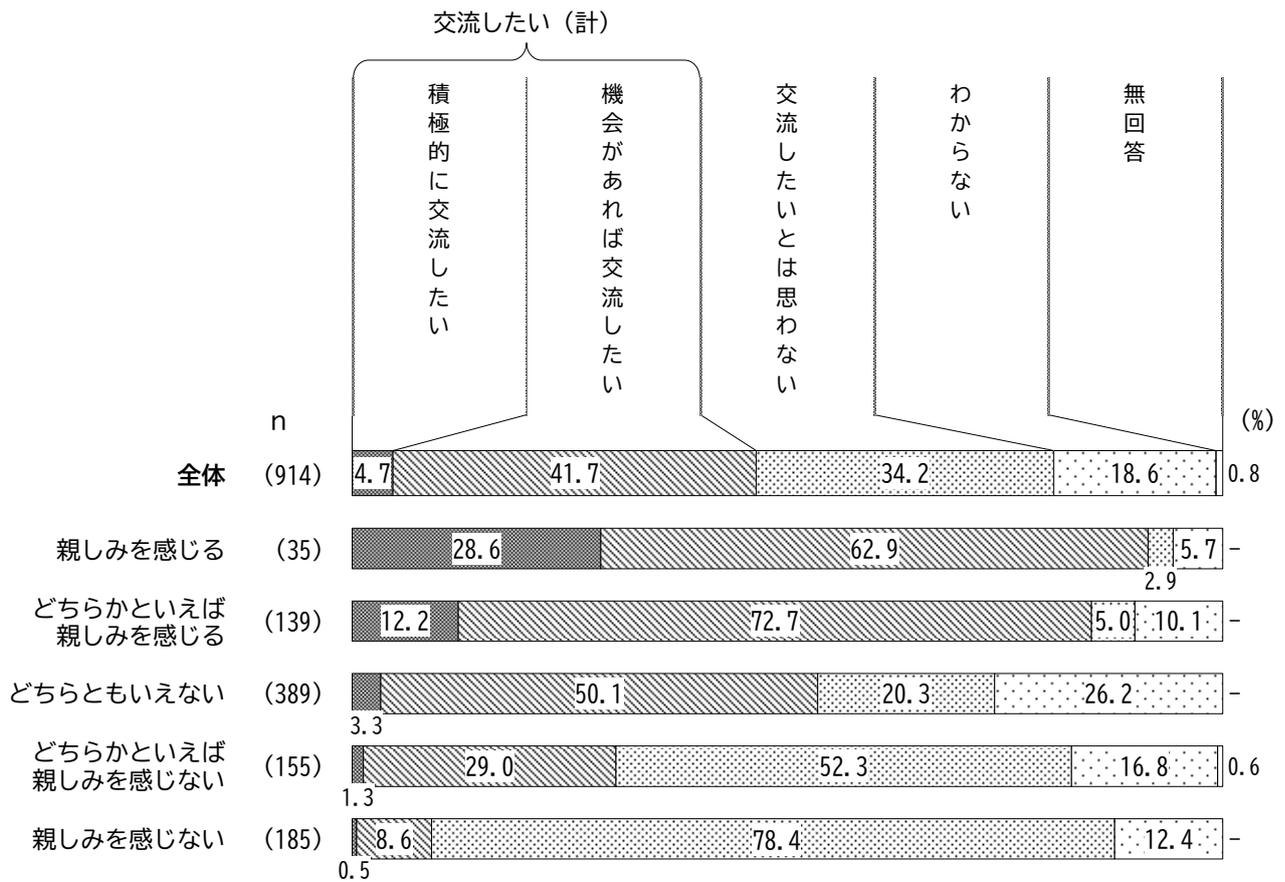


【外国人への親しみ度合い別】

外国人に対して「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」と回答した人は、「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、外国人に対して「親しみを感じない」「どちらかといえば親しみを感じない」と回答した人は、「交流したいとは思わない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 外国人との交流意向（外国人への親しみ度合い別）

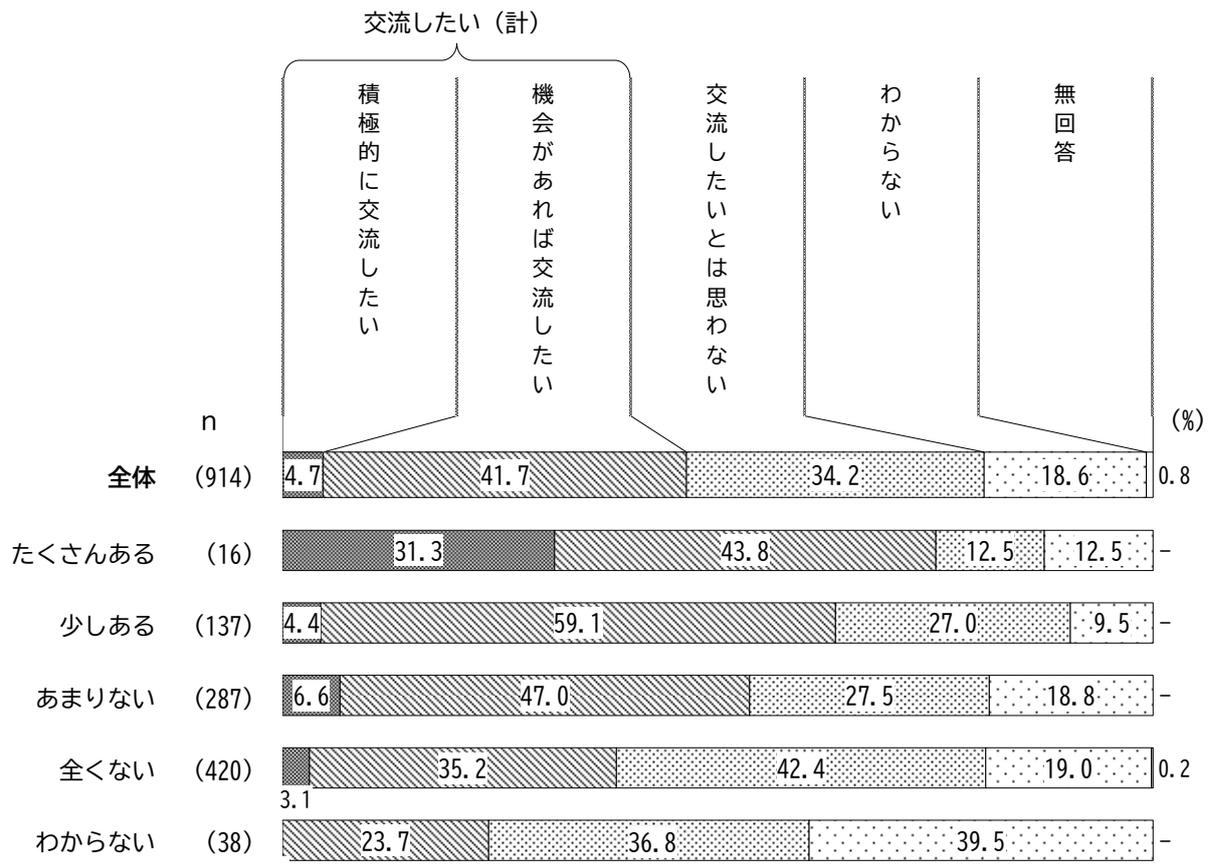


【外国人との交流頻度別】

外国人との交流が「たくさんある」「少しある」と回答した人は、「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、外国人との交流が「全くない」と回答した人は、「交流したいとは思わない」が42.4%と、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 外国人との交流意向（外国人との交流頻度別）



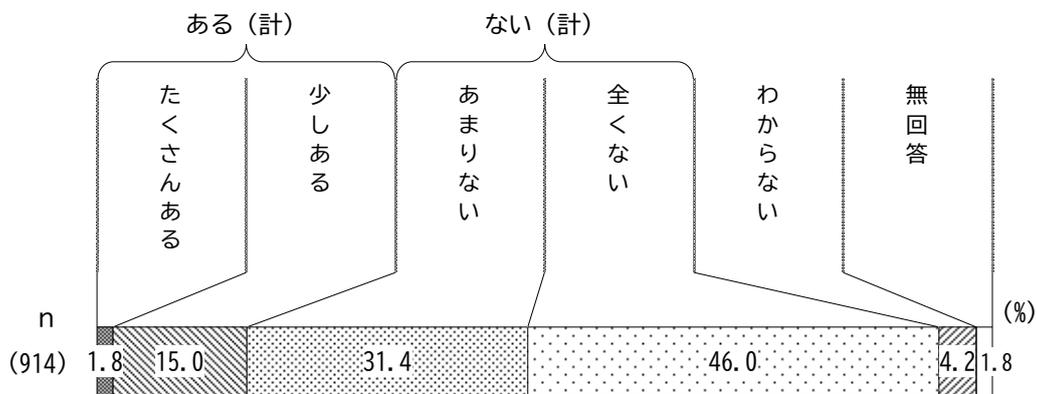
(5) 地域に暮らす外国人と交流する機会

問14 地域に暮らす外国人と交流する機会がありますか。(ひとつだけ○)

「全くない」(46.0%)が最も高く、次いで、「あまりない」(31.4%)、「少しある」(15.0%)となっている。

「たくさんある」「少しある」の合計の割合は16.8%となっている。一方、「あまりない」「全くない」の合計の割合は77.4%と高くなっている。

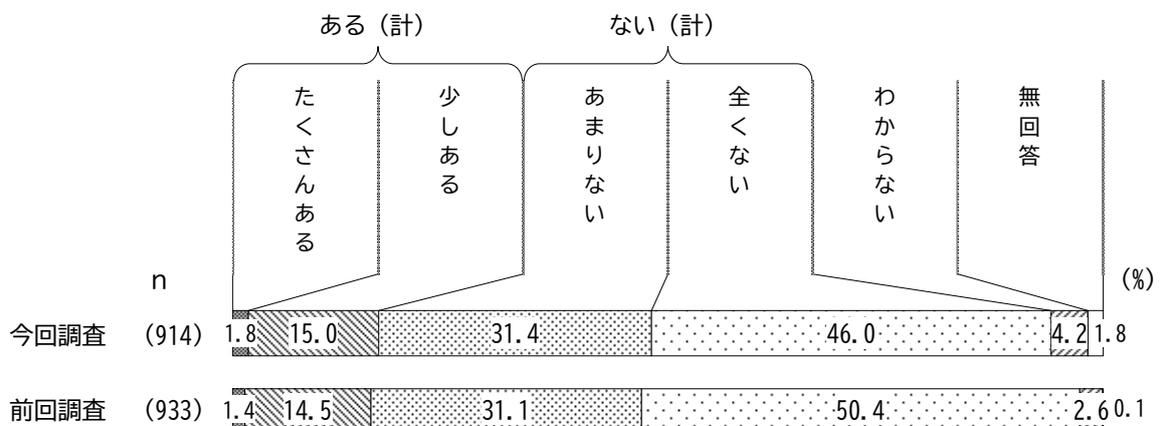
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「たくさんある」「少しある」の合計の割合に大きな差異はみられないが、「あまりない」「全くない」の合計の割合はやや減少している。

図表 【経年比較】 地域に暮らす外国人と交流する機会 (単一回答)

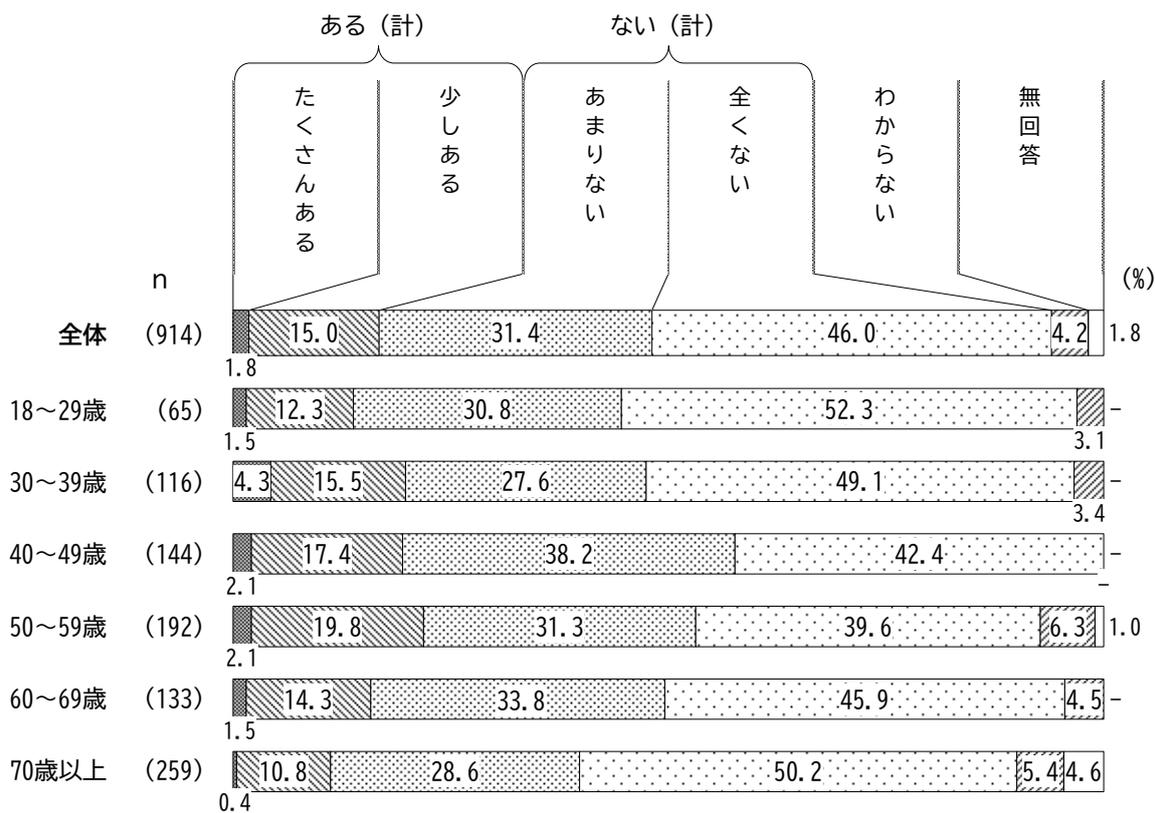


【年齢別】

「50～59歳」で「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、「あまりない」「全くない」の合計の割合は、「18～29歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

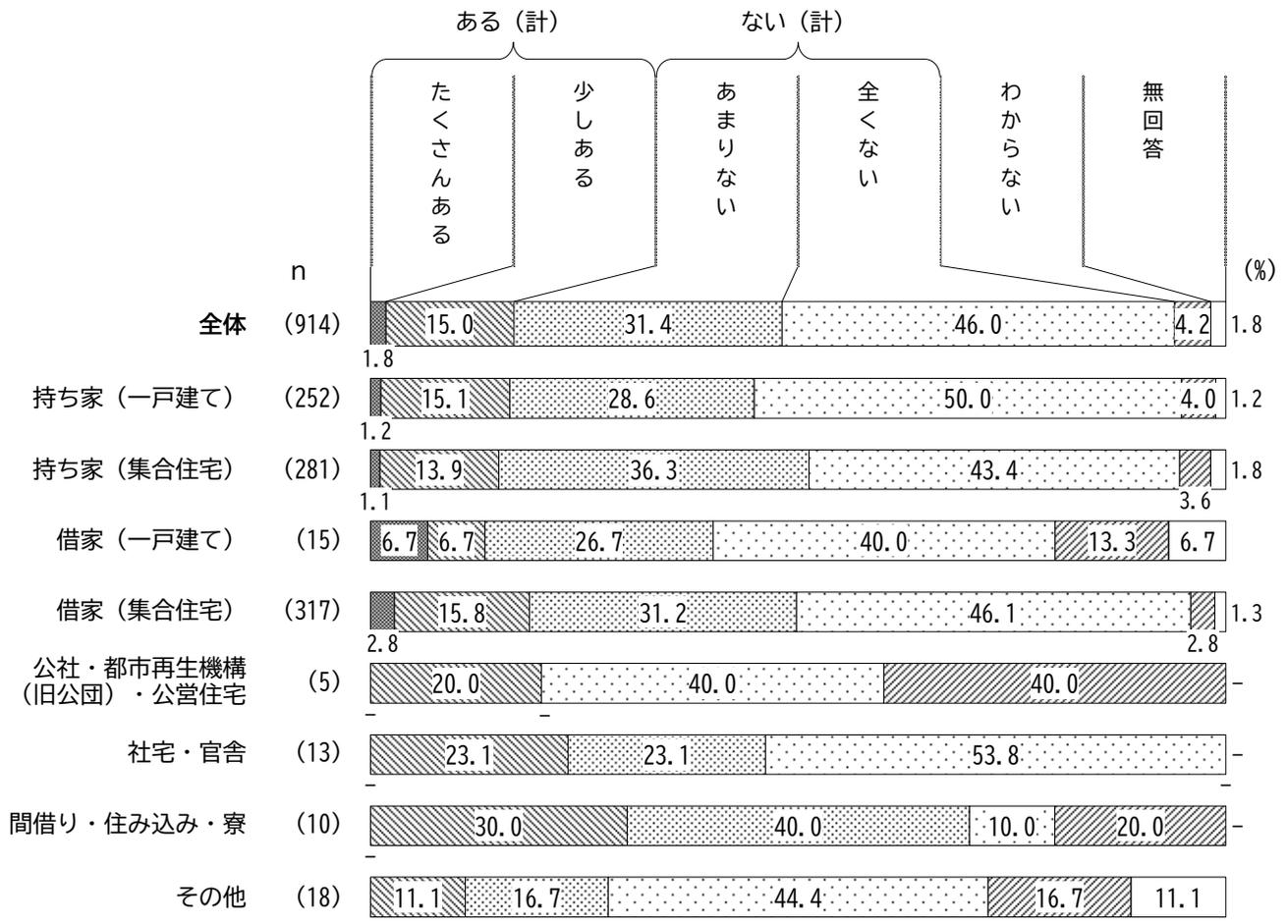
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（年齢別）



【居住形態別】

特に大きな差異はみられない。

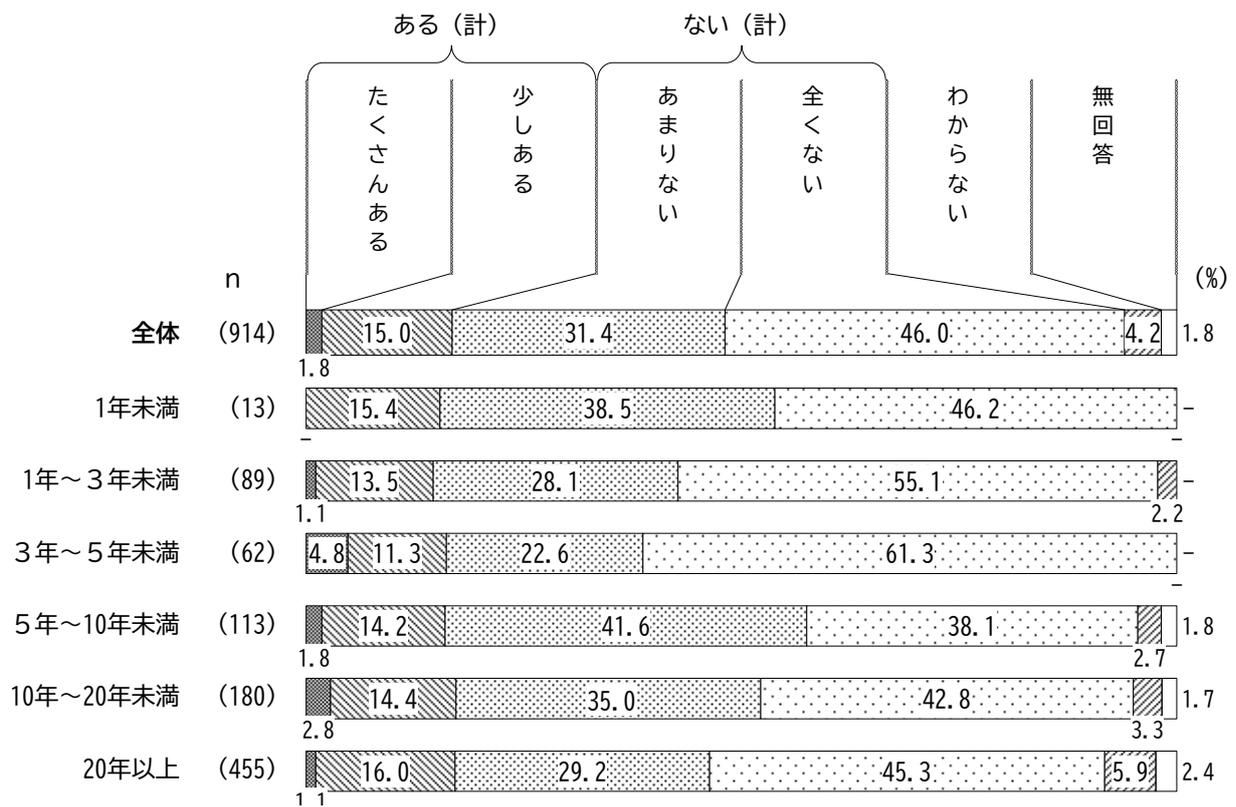
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（居住形態別）



【台東区居住年数別】

居住年数が短いほど「あまりない」「全くない」の合計の割合がおおむね高い傾向にあり、「1年～3年未満」「3年～5年未満」では80%台と高くなっている。「たくさんある」「少しある」の合計の割合はいずれの居住年数も10%台となっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（台東区居住年数別）

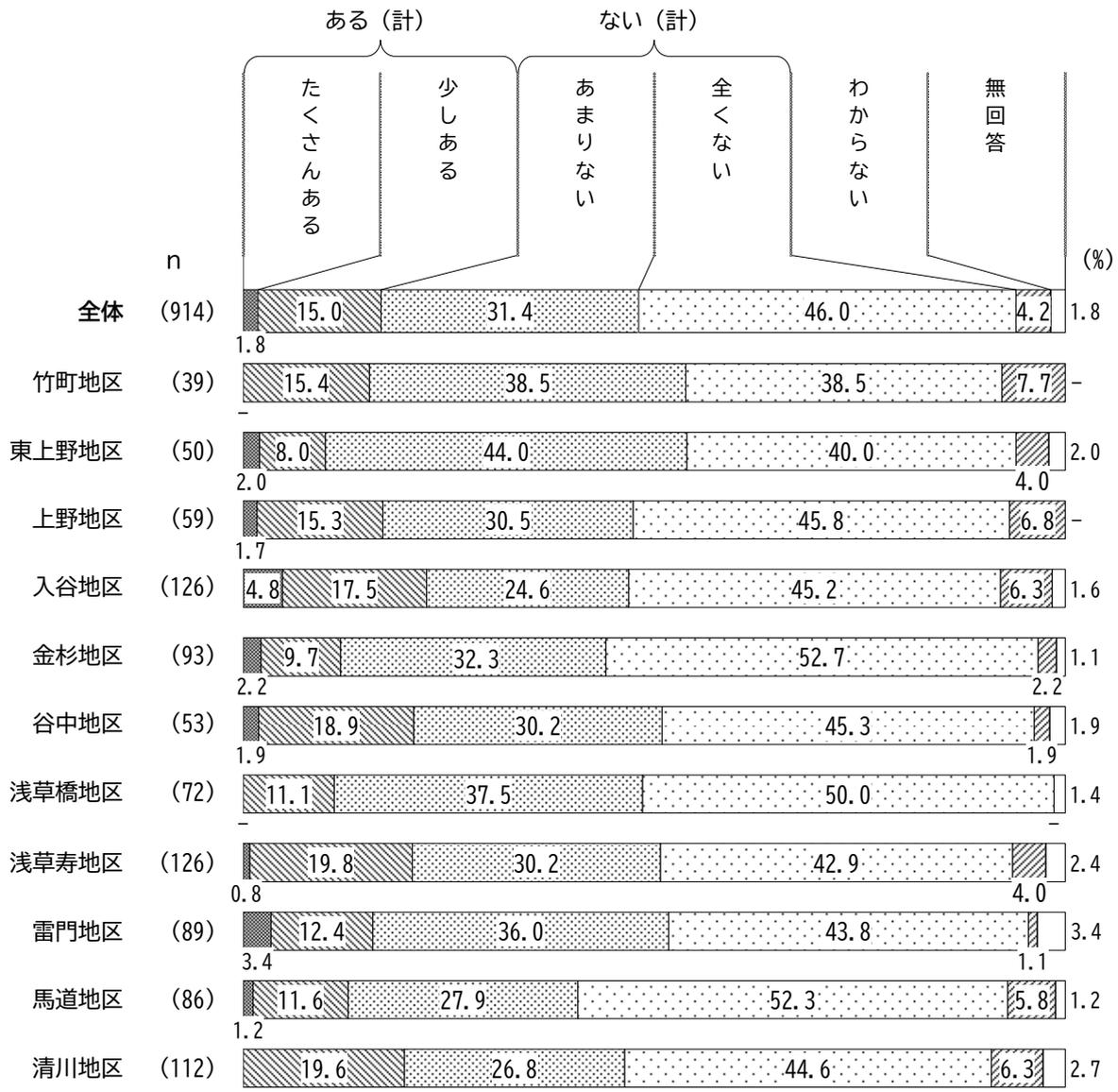


【居住地域別】

「入谷地区」で「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、「東上野地区」「金杉地区」「浅草橋地区」では、「あまりない」「全くない」の合計の割合が、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

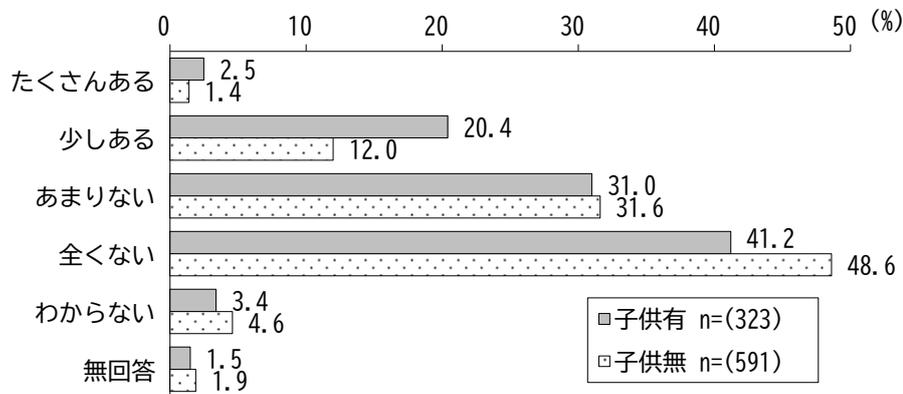
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（居住地域別）



【子供の有無別】

「たくさんある」「少しある」の合計の割合は、「子供無」より「子供有」の方が9.5ポイント高くなっている。

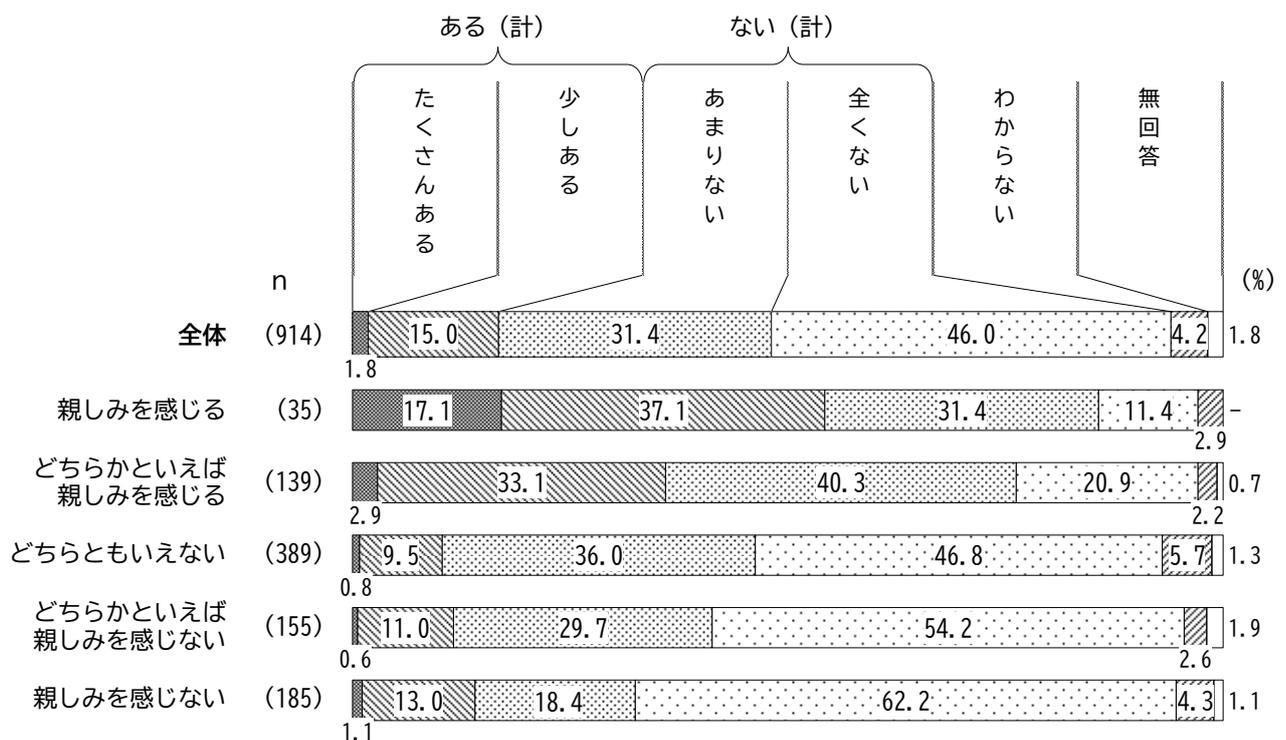
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（子供の有無別）



【外国人への親しみ度合い別】

外国人に「親しみを感じる」「どちらかといえば親しみを感じる」と回答した人は、交流する機会が「たくさんある」「少しある」の合計の割合が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

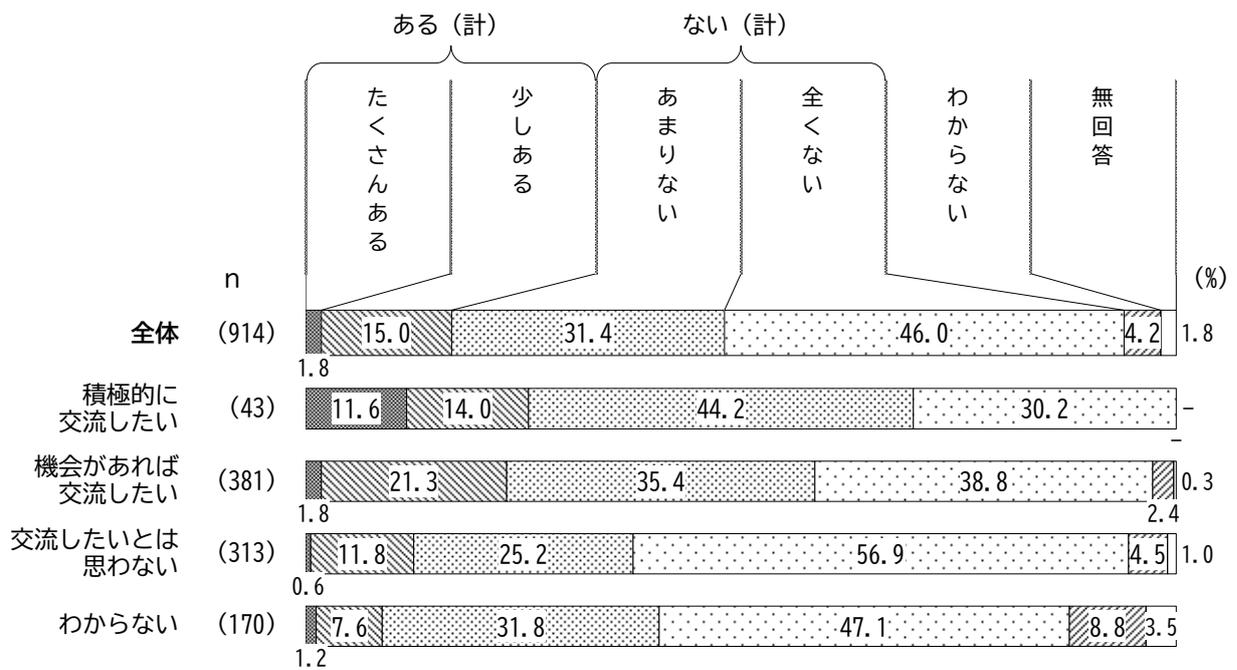
図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（外国人への親しみ度合い別）



【外国人との交流意向別】

外国人と「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」と回答した人は、交流する機会が「たくさんある」「少しある」の合計の割合がいずれも20%台であり、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会（外国人との交流意向別）

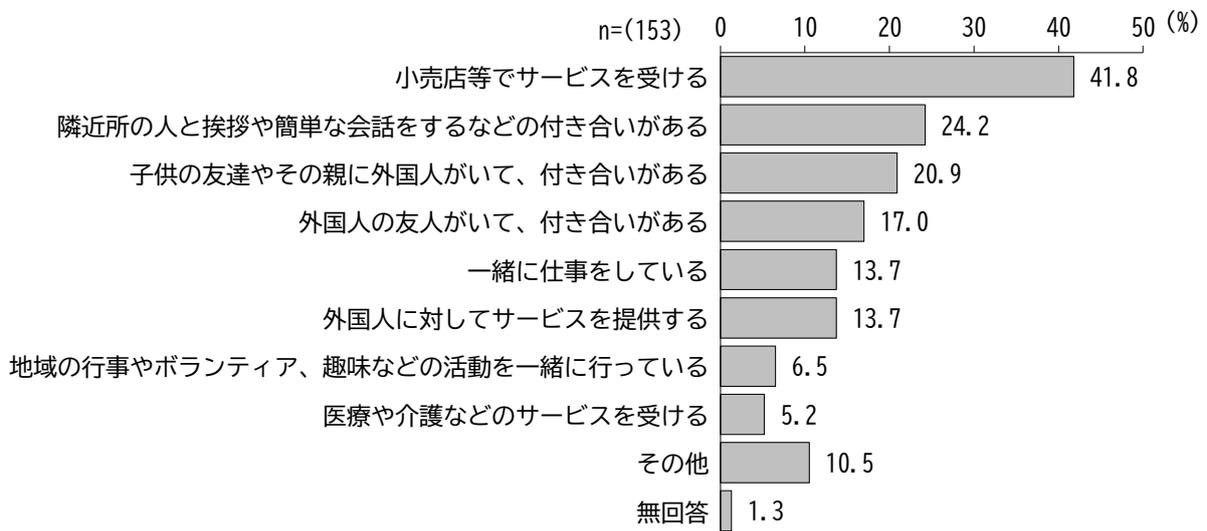


(6) 地域内で外国人とかかわる場面

問14-2 【問14で「1 たくさんある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】
 あなたが地域で暮らす外国人と関わるのはどのような場面ですか。
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす外国人との交流の機会が「たくさんある」「少しある」と回答した人は、地域内で外国人とかかわる場面として、「小売店等でサービスを受ける」(41.8%)が最も高く、次いで、「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」(24.2%)、「子供の友達やその親に外国人がいて、付き合いがある」(20.9%)となっている。

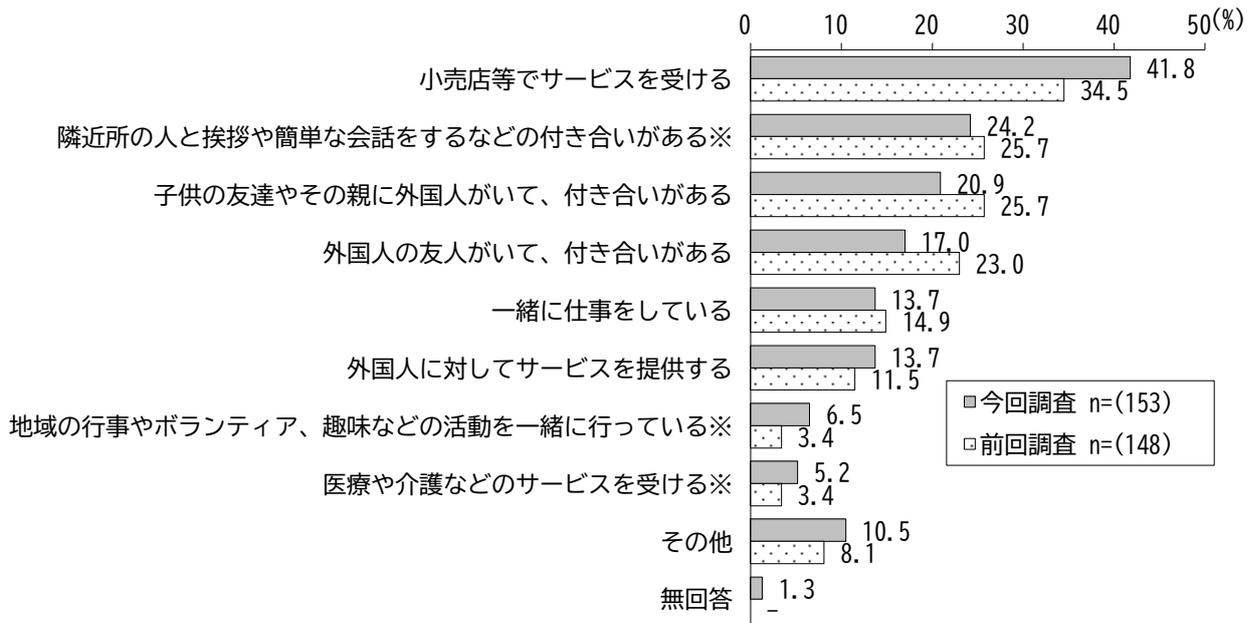
図表 地域内で外国人とかかわる場面（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「小売店等でサービスを受ける」は前回より7.3ポイント増加している。一方、「外国人の友人がいて、付き合いがある」は6.0ポイント減少し、「子供の友達やその親に外国人がいて、付き合いがある」もやや減少している。比較的親しい関わりの場面が減少している可能性が考えられる。

図表 【経年比較】地域内で外国人とかかわる場面（複数回答）



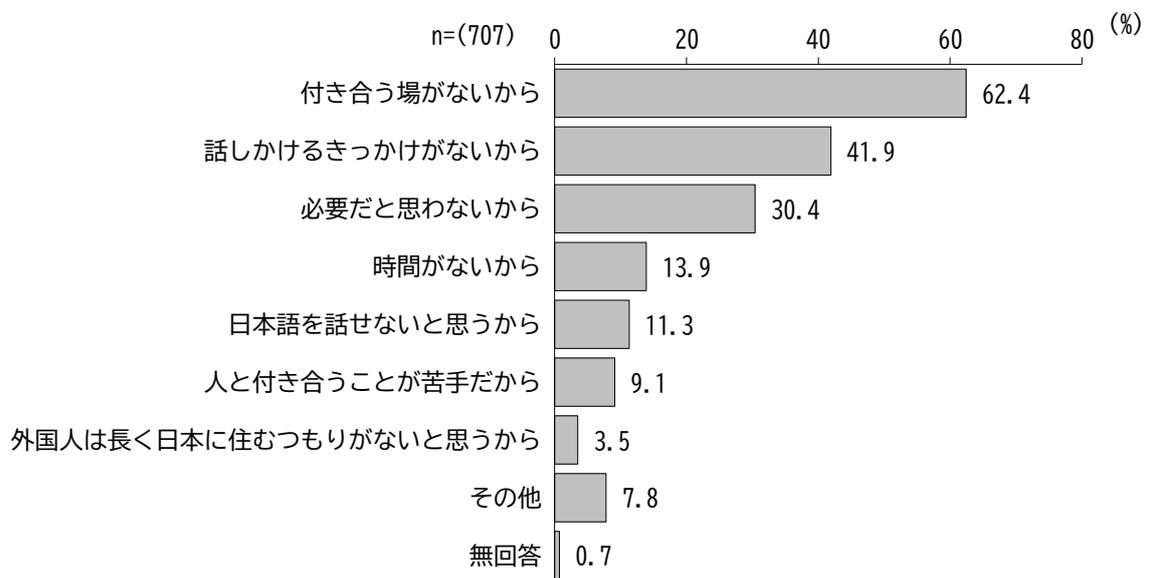
※今回調査の選択肢「隣近所の人と挨拶や簡単な会話をするなどの付き合いがある」は前回調査では「隣近所の付き合いがある」、「地域の行事やボランティア、趣味などの活動を一緒に行っている」は「地域活動で一緒に活動している」、「医療や介護などのサービスを受ける」は「医療や介護現場でサービスを受ける」であった。

(7) 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由

問14-3 【問14で「3 あまりない」「4 全くない」と回答した方にお聞きします。
 あなたが地域で暮らす外国人と交流する機会がないのはなぜですか。
 (当てはまるもの全てに○)

地域に暮らす外国人との交流の機会が「あまりない」「全くない」と回答した人で、地域内で外国人と交流する機会がない理由として、「付き合う場がないから」(62.4%)が最も高く、次いで、「話しかけるきっかけがないから」(41.9%)、「必要だと思わないから」(30.4%)となっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由 (複数回答)



【年齢別】

「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」で「付き合う場がないから」と回答した割合が全体平均と比べて5ポイント以上高い。また、「18～29歳」で「話しかけるきっかけがないから」が、「30～39歳」で「話しかけるきっかけがないから」「必要だと思わないから」が、「50～59歳」で「時間がないから」が他の年齢と比較して高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	付き合う場がないから	話しかけるきっかけがないから	必要だと思わないから	時間がないから	日本語を話せないと思うから	人と付き合うことが苦手だから	外国人は長く日本に住むつもりがないと思うから	その他	無回答
全体	707 100.0%	441 62.4%	296 41.9%	215 30.4%	98 13.9%	80 11.3%	64 9.1%	25 3.5%	55 7.8%	5 0.7%
18～29歳	54 100.0%	37 68.5%	30 55.6%	16 29.6%	10 18.5%	6 11.1%	5 9.3%	- -	2 3.7%	1 1.9%
30～39歳	89 100.0%	56 62.9%	42 47.2%	35 39.3%	13 14.6%	11 12.4%	12 13.5%	3 3.4%	3 3.4%	- -
40～49歳	116 100.0%	81 69.8%	51 44.0%	30 25.9%	11 9.5%	13 11.2%	9 7.8%	5 4.3%	8 6.9%	- -
50～59歳	136 100.0%	97 71.3%	58 42.6%	36 26.5%	29 21.3%	16 11.8%	12 8.8%	4 2.9%	11 8.1%	- -
60～69歳	106 100.0%	62 58.5%	44 41.5%	26 24.5%	17 16.0%	7 6.6%	5 4.7%	2 1.9%	11 10.4%	1 0.9%
70歳以上	204 100.0%	106 52.0%	70 34.3%	71 34.8%	18 8.8%	27 13.2%	21 10.3%	11 5.4%	20 9.8%	3 1.5%

【居住地域別】

「上野地区」「谷中地区」「馬道地区」で「付き合う場がないから」「話しかけるきっかけがないから」、「浅草寿地区」で「付き合う場がないから」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人と交流する機会がない理由（居住地域別）

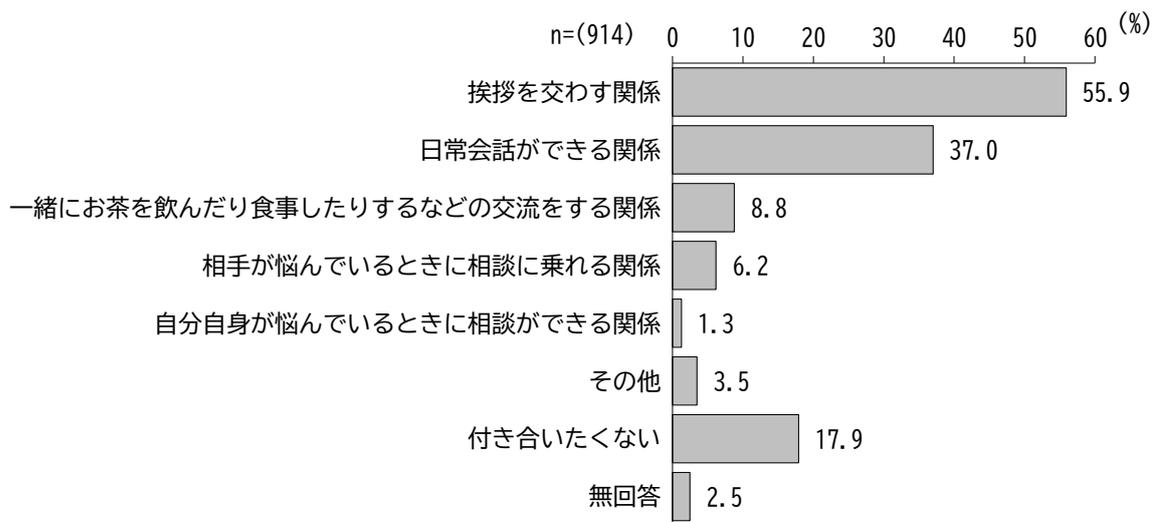
上段:人数 下段:%	調査数	付き合う場がないから	話しかけるきっかけがないから	必要だと思わないから	時間がないから	日本語を話せないと思うから	人と付き合うことが苦手だから	外国人は長く日本に住むつもりがないと思うから	その他	無回答
全体	707 100.0%	441 62.4%	296 41.9%	215 30.4%	98 13.9%	80 11.3%	64 9.1%	25 3.5%	55 7.8%	5 0.7%
竹町地区	30 100.0%	17 56.7%	12 40.0%	10 33.3%	3 10.0%	5 16.7%	5 16.7%	1 3.3%	2 6.7%	-
東上野地区	42 100.0%	24 57.1%	17 40.5%	14 33.3%	4 9.5%	6 14.3%	2 4.8%	1 2.4%	2 4.8%	-
上野地区	45 100.0%	31 68.9%	24 53.3%	15 33.3%	4 8.9%	4 8.9%	4 8.9%	2 4.4%	3 6.7%	-
入谷地区	88 100.0%	57 64.8%	35 39.8%	29 33.0%	12 13.6%	8 9.1%	6 6.8%	2 2.3%	6 6.8%	1 1.1%
金杉地区	79 100.0%	45 57.0%	29 36.7%	27 34.2%	15 19.0%	10 12.7%	10 12.7%	4 5.1%	7 8.9%	1 1.3%
谷中地区	40 100.0%	28 70.0%	19 47.5%	10 25.0%	5 12.5%	5 12.5%	4 10.0%	1 2.5%	4 10.0%	-
浅草橋地区	63 100.0%	37 58.7%	26 41.3%	20 31.7%	9 14.3%	4 6.3%	5 7.9%	4 6.3%	6 9.5%	-
浅草寿地区	92 100.0%	64 69.6%	39 42.4%	24 26.1%	17 18.5%	13 14.1%	6 6.5%	4 4.3%	5 5.4%	1 1.1%
雷門地区	71 100.0%	40 56.3%	29 40.8%	21 29.6%	8 11.3%	8 11.3%	4 5.6%	2 2.8%	8 11.3%	1 1.4%
馬道地区	69 100.0%	47 68.1%	38 55.1%	18 26.1%	11 15.9%	6 8.7%	8 11.6%	1 1.4%	4 5.8%	1 1.4%
清川地区	80 100.0%	47 58.8%	26 32.5%	26 32.5%	9 11.3%	9 11.3%	8 10.0%	3 3.8%	7 8.8%	-

(8) 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか

問15 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。
(当てはまるもの全てに○)

「挨拶を交わす関係」(55.9%)が最も高く、次いで、「日常会話ができる関係」(37.0%)となっている。一方、「付き合いたくない」は17.9%となっている。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか (複数回答)



【年齢別】

「70歳以上」で「挨拶を交わす関係」、「50～59歳」で「日常会話ができる関係」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「18～29歳」「30～39歳」では「付き合いたくない」が20%台と、全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか (年齢別)

	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	付き合いたくない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
18～29歳	65 100.0%	28 43.1%	21 32.3%	8 12.3%	3 4.6%	1 1.5%	1 1.5%	16 24.6%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	61 52.6%	30 25.9%	10 8.6%	4 3.4%	1 0.9%	7 6.0%	32 27.6%	-
40～49歳	144 100.0%	76 52.8%	56 38.9%	16 11.1%	15 10.4%	4 2.8%	3 2.1%	28 19.4%	2 1.4%
50～59歳	192 100.0%	106 55.2%	107 55.7%	21 10.9%	15 7.8%	4 2.1%	5 2.6%	27 14.1%	4 2.1%
60～69歳	133 100.0%	76 57.1%	55 41.4%	12 9.0%	8 6.0%	1 0.8%	5 3.8%	19 14.3%	2 1.5%
70歳以上	259 100.0%	162 62.5%	68 26.3%	13 5.0%	12 4.6%	1 0.4%	11 4.2%	40 15.4%	14 5.4%

【台東区居住年数別】

「20年以上」で「挨拶を交わす関係」、「1年～3年未満」「5年～10年未満」「10年～20年未満」で「日常会話ができる関係」、「1年～3年未満」で「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」、「1年～3年未満」「3年～5年未満」で「付き合いたくない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	付き合いたくない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
1年未満	13 100.0%	7 53.8%	3 23.1%	1 7.7%	- -	- -	1 7.7%	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	39 43.8%	39 43.8%	17 19.1%	8 9.0%	1 1.1%	- -	24 27.0%	- -
3年～5年未満	62 100.0%	29 46.8%	18 29.0%	5 8.1%	5 8.1%	2 3.2%	4 6.5%	18 29.0%	- -
5年～10年未満	113 100.0%	67 59.3%	50 44.2%	15 13.3%	8 7.1%	5 4.4%	2 1.8%	19 16.8%	3 2.7%
10年～20年未満	180 100.0%	92 51.1%	80 44.4%	19 10.6%	18 10.0%	3 1.7%	4 2.2%	31 17.2%	6 3.3%
20年以上	455 100.0%	277 60.9%	147 32.3%	23 5.1%	18 4.0%	1 0.2%	20 4.4%	71 15.6%	14 3.1%

【外国人との交流機会の頻度別】

外国人との交流機会の頻度が多いほど、「日常会話ができる関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」の割合が高い傾向がみられる。

一方、交流機会の頻度が少ないほど「挨拶を交わす関係」の割合がおおむね高い傾向にある。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか
(外国人との交流機会の頻度別)

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす関係	日常会話ができる関係	一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係	相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係	自分自身が悩んでいるときに相談ができる関係	その他	付き合いたくない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
たくさんある	16 100.0%	6 37.5%	10 62.5%	4 25.0%	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	- -
少しある	137 100.0%	70 51.1%	67 48.9%	13 9.5%	10 7.3%	2 1.5%	3 2.2%	21 15.3%	5 3.6%
あまりない	287 100.0%	179 62.4%	115 40.1%	34 11.8%	24 8.4%	4 1.4%	9 3.1%	32 11.1%	6 2.1%
全くない	420 100.0%	231 55.0%	131 31.2%	28 6.7%	18 4.3%	5 1.2%	15 3.6%	94 22.4%	8 1.9%
わからない	38 100.0%	19 50.0%	9 23.7%	- -	- -	- -	2 5.3%	10 26.3%	3 7.9%

【居住地域別】

「谷中地区」で「挨拶を交わす関係」、「浅草寿地区」で「挨拶を交わす関係」「日常会話ができる関係」、「雷門地区」で「一緒にお茶を飲んだり食事したりするなどの交流をする関係」「相手が悩んでいるときに相談に乗れる関係」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。「竹町地区」「清川地区」では「付き合いたくない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人とどのような付き合いをしていきたいか（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶を交わす 関係	日常会話か できる関係	一緒にお茶を 飲んだり食事し たりするなどの 交流をする関 係	相手が悩んで いるときに相 談に乗れる関 係	自分自身が悩 んでいるときに 相談ができる 関係	その他	付き合いたく ない	無回答
全体	914 100.0%	511 55.9%	338 37.0%	80 8.8%	57 6.2%	12 1.3%	32 3.5%	164 17.9%	23 2.5%
竹町地区	39 100.0%	18 46.2%	10 25.6%	3 7.7%	3 7.7%	- -	2 5.1%	12 30.8%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	25 50.0%	19 38.0%	5 10.0%	4 8.0%	1 2.0%	4 8.0%	11 22.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	29 49.2%	21 35.6%	5 8.5%	6 10.2%	- -	2 3.4%	10 16.9%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	70 55.6%	41 32.5%	10 7.9%	4 3.2%	1 0.8%	3 2.4%	25 19.8%	2 1.6%
金杉地区	93 100.0%	50 53.8%	37 39.8%	6 6.5%	5 5.4%	1 1.1%	4 4.3%	17 18.3%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	39 73.6%	20 37.7%	6 11.3%	4 7.5%	- -	1 1.9%	4 7.5%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	39 54.2%	30 41.7%	4 5.6%	5 6.9%	1 1.4%	5 6.9%	12 16.7%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	77 61.1%	60 47.6%	9 7.1%	6 4.8%	2 1.6%	3 2.4%	18 14.3%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	50 56.2%	37 41.6%	19 21.3%	11 12.4%	1 1.1%	- -	16 18.0%	2 2.2%
馬道地区	86 100.0%	52 60.5%	28 32.6%	7 8.1%	4 4.7%	3 3.5%	3 3.5%	11 12.8%	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	58 51.8%	32 28.6%	6 5.4%	4 3.6%	2 1.8%	4 3.6%	27 24.1%	4 3.6%

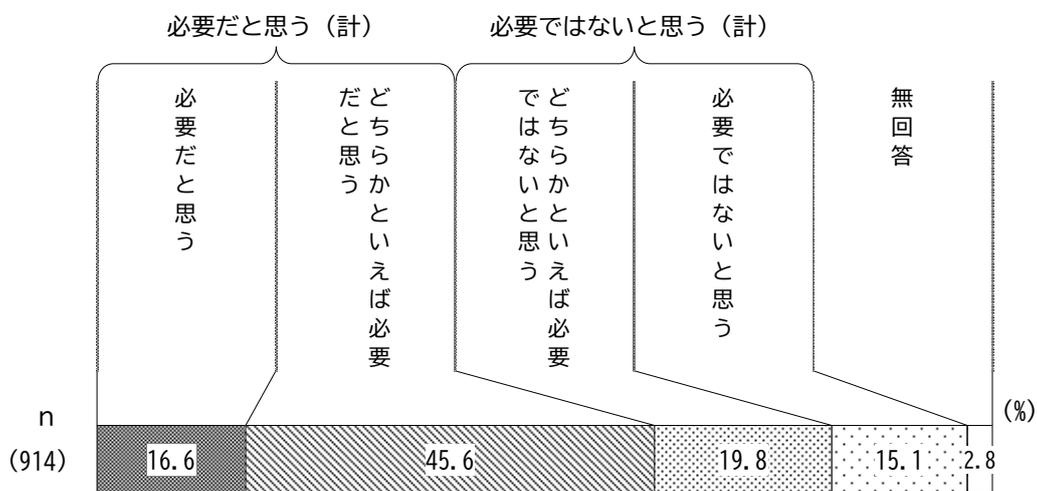
(9) 今後、地域で外国人が活躍することは必要か

問16 あなたは、経済活動や地域コミュニティの担い手として、今後、地域で外国人が活躍することは必要だと思いますか。(ひとつだけ○)

「どちらかといえば必要だと思う」(45.6%)が最も高く、次いで、「どちらかといえば必要ではないと思う」(19.8%)、「必要だと思う」(16.6%)となっている。

「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」の合計の割合は62.2%。一方、「どちらかといえば必要ではないと思う」「必要ではないと思う」の合計の割合は34.9%となっている。

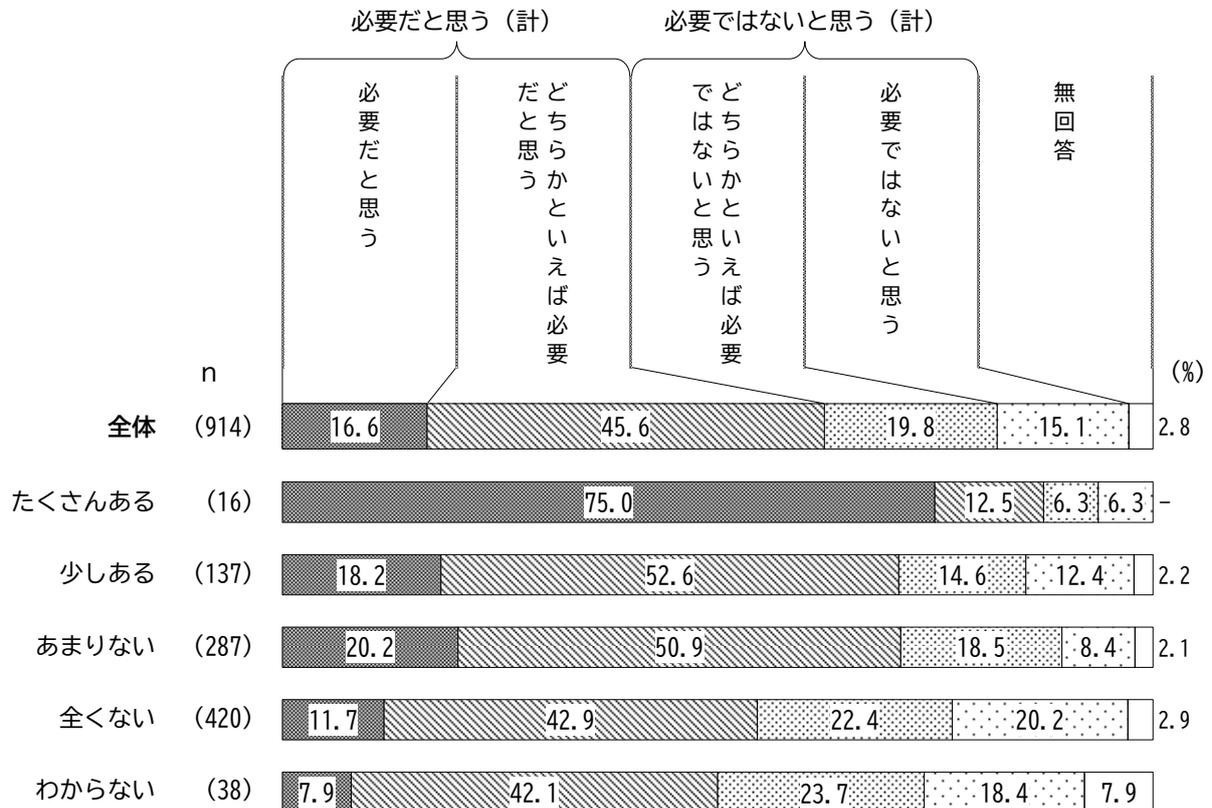
図表 今後、地域で外国人が活躍することは必要か (単一回答)



【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会の頻度が多いほど、「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」の合計の割合が高い傾向があり、「たくさんある」で87.5%となっている。

図表 今後、地域で外国人が活躍することは必要か（外国人との交流機会の頻度別）

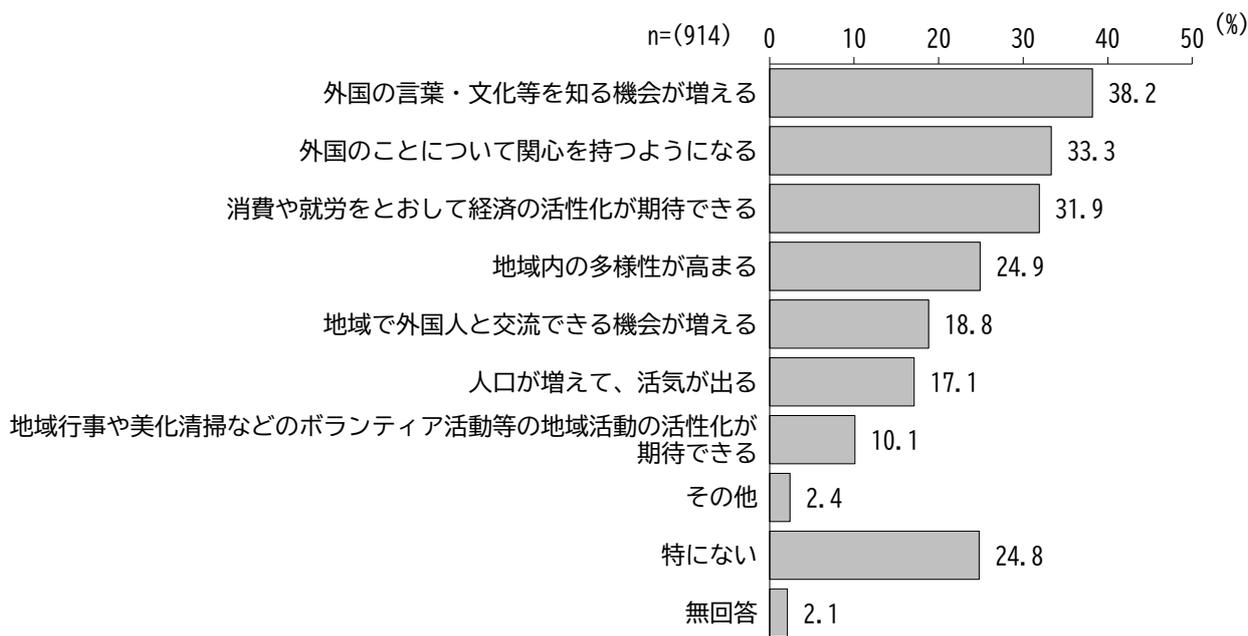


(10) 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること

問17 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなる事は何だと思えますか。
 (当てはまるもの全てに○)

「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」(38.2%)が最も高く、次いで、「外国のことについて関心を持つようになる」(33.3%)、「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」(31.9%)となっている。

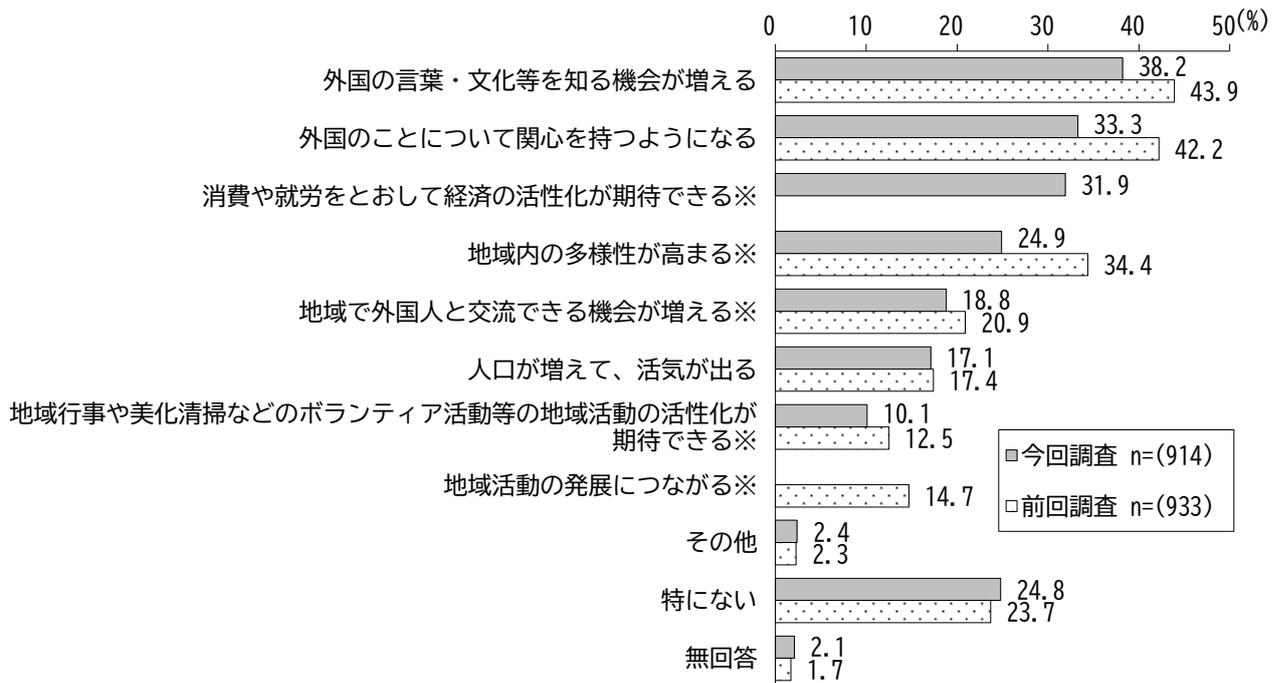
図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「地域内の多様性が高まる」が9.5ポイント、「外国のことについて関心を持つようになる」が8.9ポイント、「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」が5.7ポイント減少している。他の項目も前回から減少傾向がみられ、外国人増加によるプラスの効果への期待が弱まっていることが考えられる。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（複数回答）



※今回調査の選択肢「地域内の多様性が高まる」は前回調査では「地域内の多様性が広がる」、「地域で外国人と交流できる機会が増える」は「地域で他の国籍の方と交流できる機会が増える」、「地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる」は「お祭り等の地域活動の活性化が期待できる」であった。

※今回調査より、選択肢「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」が追加された。

※前回調査より、選択肢「地域活動の発展につながる」が削除された。

【年齢別】

「18～29歳」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「地域で外国人と交流できる機会が増える」、「40～49歳」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「人口が増えて活気が出る」、「50～59歳」で「外国のことについて関心を持つようになる」「地域内の多様性が高まる」が高くになっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
18～29歳	65 100.0%	31 47.7%	24 36.9%	23 35.4%	15 23.1%	16 24.6%	9 13.8%	4 6.2%	1 1.5%	10 15.4%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	35 30.2%	38 32.8%	40 34.5%	24 20.7%	14 12.1%	19 16.4%	5 4.3%	2 1.7%	40 34.5%	- -
40～49歳	144 100.0%	68 47.2%	53 36.8%	53 36.8%	34 23.6%	28 19.4%	33 22.9%	17 11.8%	2 1.4%	38 26.4%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	81 42.2%	78 40.6%	66 34.4%	62 32.3%	45 23.4%	40 20.8%	24 12.5%	6 3.1%	39 20.3%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	44 33.1%	39 29.3%	45 33.8%	37 27.8%	24 18.0%	22 16.5%	14 10.5%	3 2.3%	26 19.5%	3 2.3%
70歳以上	259 100.0%	90 34.7%	72 27.8%	65 25.1%	56 21.6%	43 16.6%	33 12.7%	28 10.8%	8 3.1%	71 27.4%	11 4.2%

【台東区居住年数別】

「10年～20年未満」で「外国のことについて関心を持つようになる」、「1年～3年未満」で「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」、「5年～10年未満」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」「地域内の多様性が高まる」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。一方、「3年～5年未満」で「特にない」が33.9%と高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
1年未満	13 100.0%	6 46.2%	4 30.8%	6 46.2%	3 23.1%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	- -	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	37 41.6%	30 33.7%	37 41.6%	24 27.0%	19 21.3%	19 21.3%	6 6.7%	2 2.2%	17 19.1%	- -
3年～5年未満	62 100.0%	20 32.3%	20 32.3%	20 32.3%	17 27.4%	12 19.4%	9 14.5%	5 8.1%	3 4.8%	21 33.9%	- -
5年～10年未満	113 100.0%	49 43.4%	40 35.4%	53 46.9%	34 30.1%	25 22.1%	30 26.5%	20 17.7%	3 2.7%	22 19.5%	2 1.8%
10年～20年未満	180 100.0%	75 41.7%	69 38.3%	59 32.8%	49 27.2%	35 19.4%	34 18.9%	18 10.0%	3 1.7%	43 23.9%	4 2.2%
20年以上	455 100.0%	160 35.2%	139 30.5%	117 25.7%	100 22.0%	77 16.9%	60 13.2%	41 9.0%	11 2.4%	123 27.0%	13 2.9%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会の頻度が多いほど、「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「外国のことについて関心を持つようになる」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」の割合が高い傾向にあり、特に交流機会が「たくさんある」ではいずれも50%台となっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
たくさんある	16 100.0%	8 50.0%	9 56.3%	8 50.0%	6 37.5%	7 43.8%	5 31.3%	3 18.8%	- -	2 12.5%	- -
少しある	137 100.0%	58 42.3%	58 42.3%	44 32.1%	32 23.4%	28 20.4%	25 18.2%	8 5.8%	2 1.5%	28 20.4%	5 3.6%
あまりない	287 100.0%	115 40.1%	107 37.3%	99 34.5%	98 34.1%	64 22.3%	61 21.3%	37 12.9%	4 1.4%	53 18.5%	5 1.7%
全くない	420 100.0%	154 36.7%	123 29.3%	131 31.2%	81 19.3%	69 16.4%	61 14.5%	41 9.8%	15 3.6%	118 28.1%	7 1.7%
わからない	38 100.0%	8 21.1%	6 15.8%	7 18.4%	7 18.4%	1 2.6%	2 5.3%	1 2.6%	- -	18 47.4%	1 2.6%

【居住地域別】

「谷中地区」では全体平均より5ポイント以上高い項目が多く、「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」「地域内の多様性が高まる」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」「地域で外国人と交流できる機会が増える」が高くなっている。

また、「雷門地区」で「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」が、「上野地区」「浅草寿地区」で「外国のことについて関心を持つようになる」が、「浅草橋地区」で「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」、「金杉地区」で「外国のことについて関心を持つようになる」「消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなること（居住地域別）

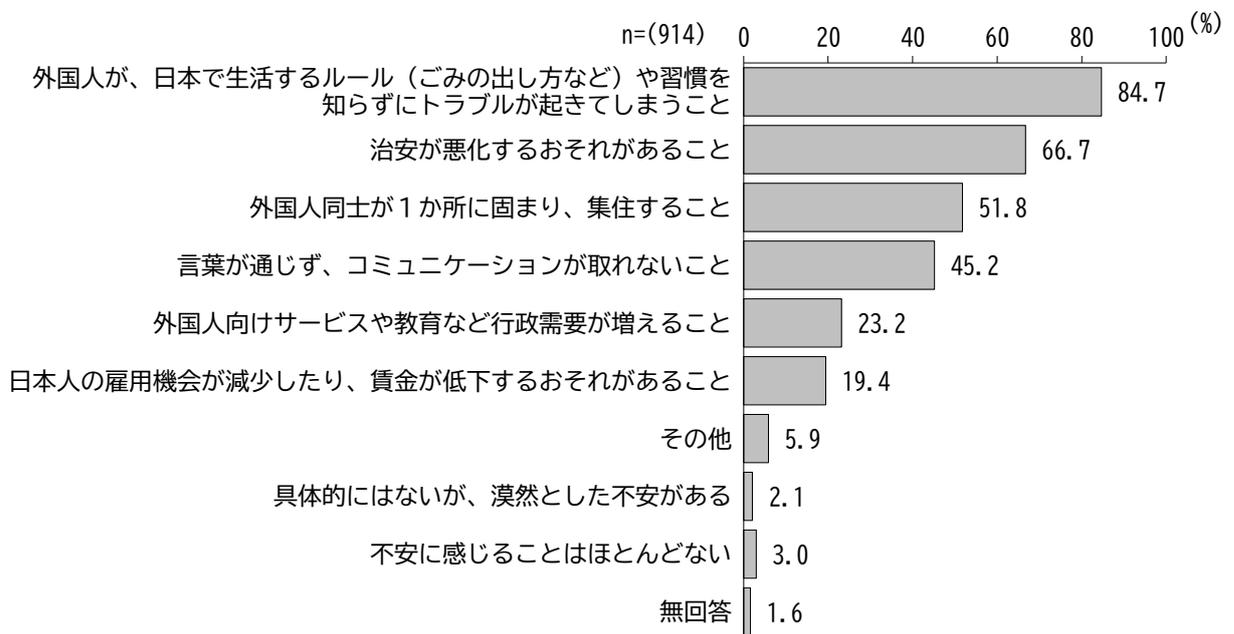
上段:人数 下段:%	調査数	外国の言葉・文化等を知る機会が増える	外国のことについて関心を持つようになる	消費や就労をとおして経済の活性化が期待できる	地域内の多様性が高まる	地域で外国人と交流できる機会が増える	人口が増えて、活気が出る	地域行事や美化清掃などのボランティア活動等の地域活動の活性化が期待できる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	349 38.2%	304 33.3%	292 31.9%	228 24.9%	172 18.8%	156 17.1%	92 10.1%	22 2.4%	227 24.8%	19 2.1%
竹町地区	39 100.0%	8 20.5%	8 20.5%	8 20.5%	8 20.5%	7 17.9%	7 17.9%	4 10.3%	- -	13 33.3%	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	19 38.0%	15 30.0%	20 40.0%	10 20.0%	10 20.0%	8 16.0%	2 4.0%	2 4.0%	12 24.0%	2 4.0%
上野地区	59 100.0%	20 33.9%	24 40.7%	16 27.1%	11 18.6%	6 10.2%	10 16.9%	3 5.1%	2 3.4%	15 25.4%	1 1.7%
入谷地区	126 100.0%	44 34.9%	40 31.7%	39 31.0%	28 22.2%	23 18.3%	12 9.5%	8 6.3%	1 0.8%	33 26.2%	1 0.8%
金杉地区	93 100.0%	39 41.9%	39 41.9%	38 40.9%	19 20.4%	18 19.4%	18 19.4%	9 9.7%	4 4.3%	21 22.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	25 47.2%	19 35.8%	22 41.5%	24 45.3%	13 24.5%	9 17.0%	10 18.9%	1 1.9%	8 15.1%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	23 31.9%	18 25.0%	33 45.8%	19 26.4%	14 19.4%	17 23.6%	10 13.9%	4 5.6%	13 18.1%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	52 41.3%	51 40.5%	48 38.1%	35 27.8%	24 19.0%	25 19.8%	15 11.9%	1 0.8%	27 21.4%	2 1.6%
雷門地区	89 100.0%	41 46.1%	30 33.7%	26 29.2%	28 31.5%	21 23.6%	17 19.1%	15 16.9%	1 1.1%	22 24.7%	- -
馬道地区	86 100.0%	32 37.2%	20 23.3%	19 22.1%	20 23.3%	17 19.8%	13 15.1%	12 14.0%	1 1.2%	23 26.7%	2 2.3%
清川地区	112 100.0%	45 40.2%	39 34.8%	22 19.6%	26 23.2%	19 17.0%	20 17.9%	4 3.6%	3 2.7%	36 32.1%	3 2.7%

(11) 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること

問18 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じることは何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」（84.7%）が最も高く、次いで、「治安が悪化するおそれがあること」（66.7%）、「外国人同士が1か所に固まり、集住すること」（51.8%）、「言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと」（45.2%）となっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること（複数回答）

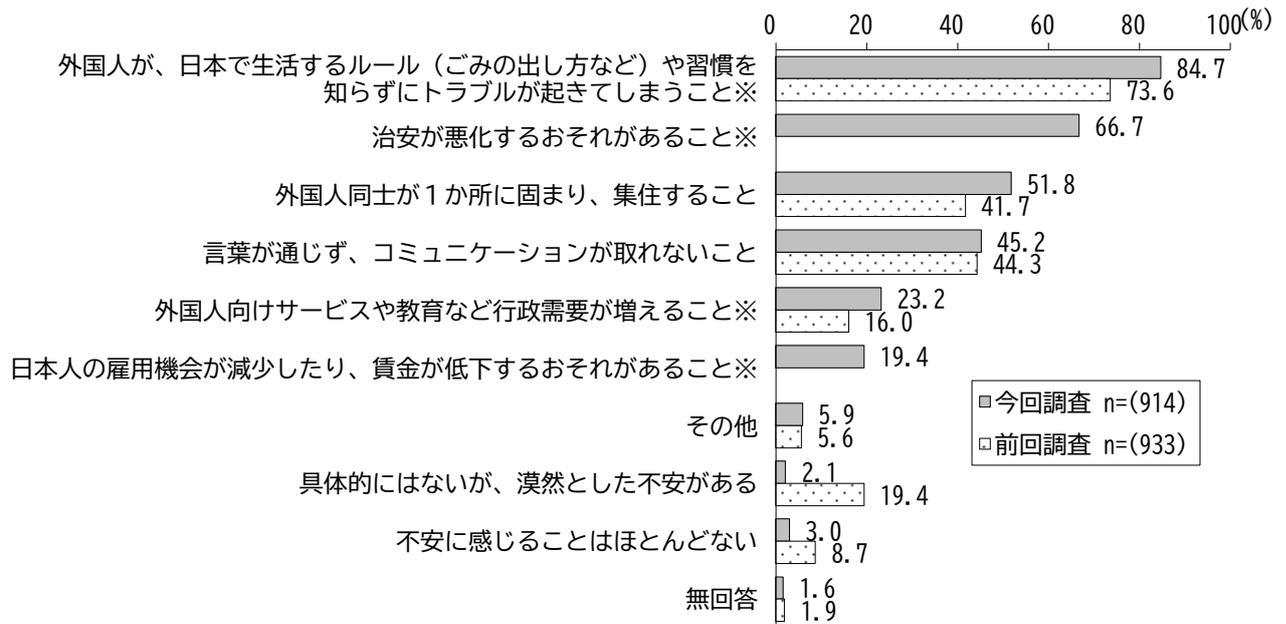


【経年比較】

前回との比較では、「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」「外国人同士が1か所に固まり、集住すること」が10ポイント以上、また、「外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること」が7.2ポイント増加している。

一方、「具体的にはないが、漠然とした不安がある」は17.3ポイント減少している。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること（複数回答）



※今回調査の選択肢「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」は前回調査では「外国人が日本で生活するルールや習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」、「外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること」は「外国人向けサービスや教育など社会的負担が増えること」であった。

※今回調査より、選択肢「治安が悪化するおそれがあること」「日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること」が追加された。

【年齢別】

40歳代以下で「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」が90%以上で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、50歳代以下では「治安が悪化するおそれがあること」が70%～80%台で高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
18～29歳	65 100.0%	60 92.3%	50 76.9%	34 52.3%	34 52.3%	24 36.9%	22 33.8%	2 3.1%	-	1 1.5%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	105 90.5%	97 83.6%	65 56.0%	67 57.8%	32 27.6%	39 33.6%	9 7.8%	1 0.9%	1 0.9%	-
40～49歳	144 100.0%	132 91.7%	109 75.7%	92 63.9%	70 48.6%	41 28.5%	35 24.3%	11 7.6%	-	2 1.4%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	167 87.0%	145 75.5%	104 54.2%	87 45.3%	49 25.5%	37 19.3%	16 8.3%	2 1.0%	7 3.6%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	119 89.5%	88 66.2%	78 58.6%	60 45.1%	34 25.6%	19 14.3%	8 6.0%	1 0.8%	4 3.0%	2 1.5%
70歳以上	259 100.0%	187 72.2%	117 45.2%	96 37.1%	93 35.9%	30 11.6%	24 9.3%	6 2.3%	14 5.4%	12 4.6%	8 3.1%

【台東区居住年数別】

「1年～3年未満」で「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」、10年未満では「治安が悪化するおそれがあること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。また、「5年～10年未満」はほとんどの項目で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
1年未満	13 100.0%	11 84.6%	11 84.6%	7 53.8%	6 46.2%	2 15.4%	2 15.4%	-	-	-	-
1年～3年未満	89 100.0%	85 95.5%	70 78.7%	47 52.8%	42 47.2%	30 33.7%	30 33.7%	6 6.7%	1 1.1%	1 1.1%	-
3年～5年未満	62 100.0%	55 88.7%	52 83.9%	33 53.2%	27 43.5%	18 29.0%	15 24.2%	4 6.5%	-	1 1.6%	-
5年～10年未満	113 100.0%	100 88.5%	87 77.0%	68 60.2%	60 53.1%	33 29.2%	31 27.4%	7 6.2%	1 0.9%	1 0.9%	2 1.8%
10年～20年未満	180 100.0%	155 86.1%	127 70.6%	100 55.6%	87 48.3%	43 23.9%	30 16.7%	15 8.3%	-	5 2.8%	6 3.3%
20年以上	455 100.0%	368 80.9%	263 57.8%	218 47.9%	191 42.0%	86 18.9%	69 15.2%	22 4.8%	17 3.7%	17 3.7%	7 1.5%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が少ないほど「治安が悪化するおそれがあること」が増加する傾向がみられる。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じること
(外国人との交流機会の頻度別)

	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
上段:人数 下段:%											
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
たくさんある	16 100.0%	14 87.5%	8 50.0%	9 56.3%	7 43.8%	4 25.0%	5 31.3%	-	-	-	-
少しある	137 100.0%	116 84.7%	82 59.9%	68 49.6%	64 46.7%	36 26.3%	27 19.7%	10 7.3%	-	4 2.9%	3 2.2%
あまりない	287 100.0%	243 84.7%	187 65.2%	143 49.8%	123 42.9%	59 20.6%	46 16.0%	13 4.5%	4 1.4%	8 2.8%	4 1.4%
全くない	420 100.0%	362 86.2%	299 71.2%	233 55.5%	197 46.9%	98 23.3%	87 20.7%	29 6.9%	11 2.6%	12 2.9%	5 1.2%
わからない	38 100.0%	28 73.7%	24 63.2%	12 31.6%	16 42.1%	11 28.9%	9 23.7%	1 2.6%	3 7.9%	2 5.3%	2 5.3%

【居住地域別】

「金杉地区」「浅草橋地区」「雷門地区」で「外国人が、日本で生活するルール（ごみの出し方など）や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと」が90%台と全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「竹町地区」「上野地区」「浅草橋地区」は「治安が悪化するおそれがあること」、「竹町地区」「浅草橋地区」で「外国人同士が1か所に固まり、集住すること」、「金杉地区」「浅草寿地区」で「言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じる事（居住地域別）

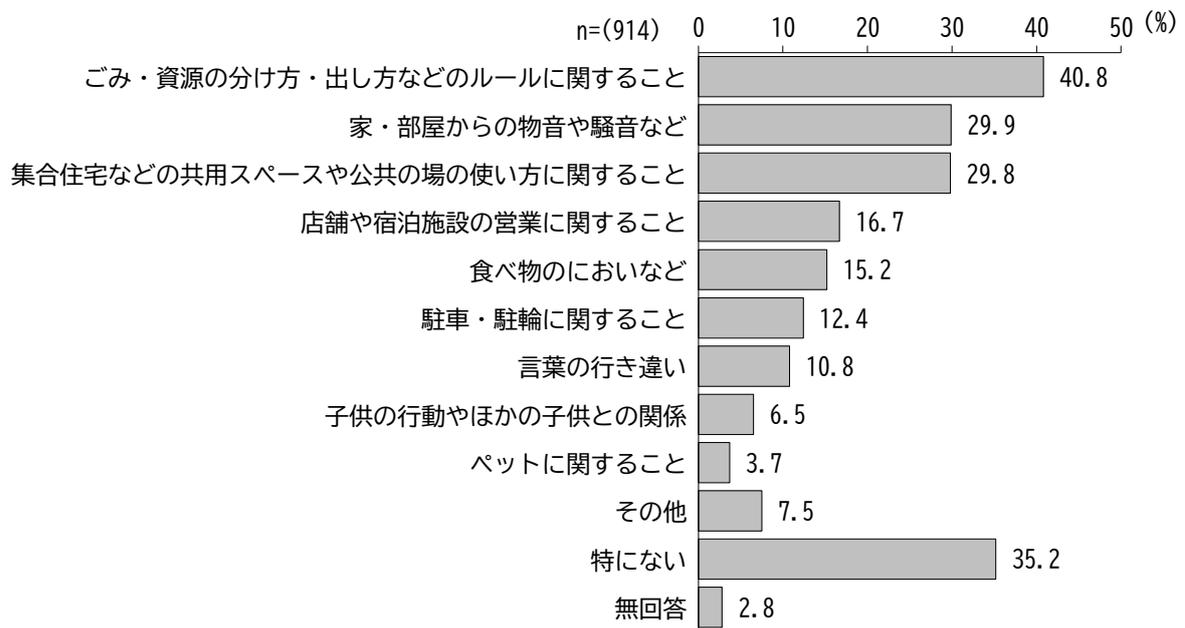
上段:人数 下段:%	調査数	外国人が、日本で生活するルール(ごみの出し方など)や習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと	治安が悪化するおそれがあること	外国人同士が1か所に固まり、集住すること	言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと	外国人向けサービスや教育など行政需要が増えること	日本人の雇用機会が減少したり、賃金が低下するおそれがあること	その他	具体的にはないが、漠然とした不安がある	不安に感じることはほとんどない	無回答
全体	914 100.0%	774 84.7%	610 66.7%	473 51.8%	413 45.2%	212 23.2%	177 19.4%	54 5.9%	19 2.1%	27 3.0%	15 1.6%
竹町地区	39 100.0%	32 82.1%	29 74.4%	26 66.7%	13 33.3%	11 28.2%	8 20.5%	2 5.1%	- -	- -	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	37 74.0%	34 68.0%	25 50.0%	23 46.0%	17 34.0%	10 20.0%	5 10.0%	1 2.0%	5 10.0%	2 4.0%
上野地区	59 100.0%	50 84.7%	45 76.3%	30 50.8%	29 49.2%	12 20.3%	13 22.0%	3 5.1%	- -	1 1.7%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	108 85.7%	89 70.6%	71 56.3%	50 39.7%	32 25.4%	26 20.6%	11 8.7%	3 2.4%	3 2.4%	- -
金杉地区	93 100.0%	84 90.3%	61 65.6%	49 52.7%	49 52.7%	26 28.0%	17 18.3%	5 5.4%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	45 84.9%	30 56.6%	26 49.1%	23 43.4%	10 18.9%	9 17.0%	4 7.5%	1 1.9%	3 5.7%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	65 90.3%	52 72.2%	48 66.7%	29 40.3%	19 26.4%	16 22.2%	5 6.9%	1 1.4%	2 2.8%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	110 87.3%	82 65.1%	64 50.8%	67 53.2%	23 18.3%	19 15.1%	4 3.2%	2 1.6%	2 1.6%	2 1.6%
雷門地区	89 100.0%	82 92.1%	61 68.5%	48 53.9%	42 47.2%	27 30.3%	19 21.3%	4 4.5%	2 2.2%	1 1.1%	- -
馬道地区	86 100.0%	73 84.9%	58 67.4%	36 41.9%	41 47.7%	13 15.1%	21 24.4%	4 4.7%	1 1.2%	- -	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	81 72.3%	64 57.1%	47 42.0%	44 39.3%	21 18.8%	19 17.0%	5 4.5%	6 5.4%	9 8.0%	2 1.8%

(12) 地域に暮らす外国人との関係で困った経験

問19 今までに、地域に暮らす外国人との関係で困った経験は何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」(40.8%)が最も高く、次いで、「家・部屋からの物音や騒音など」(29.9%)、「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」(29.8%)となっている。一方、「特にない」は35.2%となっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（複数回答）

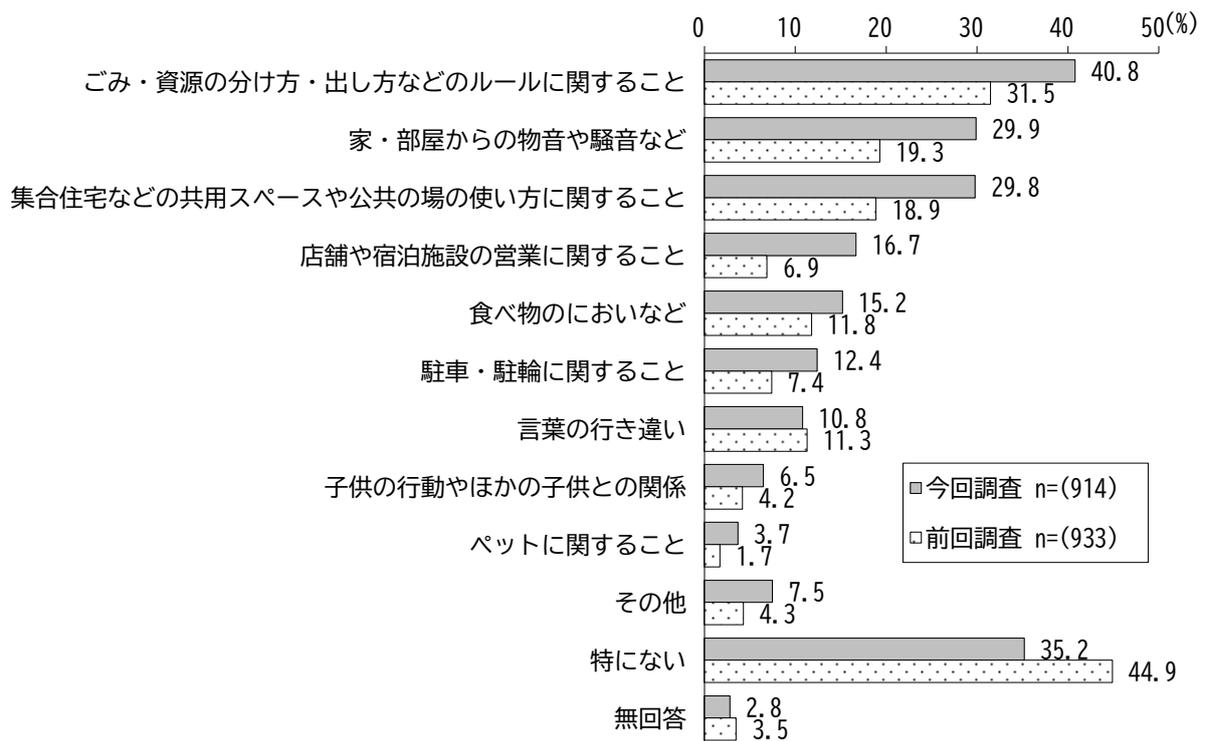


【経年比較】

前回との比較では、「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」「家・部屋からの物音や騒音など」が10ポイント以上、「店舗や宿泊施設の営業に関すること」「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」が9ポイント以上、「駐車・駐輪に関すること」が5.0ポイント増加している。「特にない」を除いて、前回7位の「店舗や宿泊施設の営業に関すること」は今回4位に上昇している。

一方、「特にない」は9.7ポイント減少している。

図表 【経年比較】 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（複数回答）



第4章 日本人意識調査 調査結果の詳細

【年齢別】

「50～59歳」で「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、50歳代以下では「家・部屋からの物音や騒音など」「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
18～29歳	65 100.0%	22 33.8%	26 40.0%	26 40.0%	9 13.8%	14 21.5%	9 13.8%
30～39歳	116 100.0%	38 32.8%	43 37.1%	46 39.7%	21 18.1%	22 19.0%	13 11.2%
40～49歳	144 100.0%	58 40.3%	59 41.0%	62 43.1%	41 28.5%	32 22.2%	26 18.1%
50～59歳	192 100.0%	95 49.5%	67 34.9%	69 35.9%	38 19.8%	29 15.1%	26 13.5%
60～69歳	133 100.0%	57 42.9%	31 23.3%	27 20.3%	19 14.3%	19 14.3%	18 13.5%
70歳以上	259 100.0%	100 38.6%	44 17.0%	39 15.1%	24 9.3%	21 8.1%	20 7.7%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
18～29歳	65 100.0%	16 24.6%	5 7.7%	6 9.2%	4 6.2%	18 27.7%	2 3.1%
30～39歳	116 100.0%	14 12.1%	12 10.3%	4 3.4%	11 9.5%	34 29.3%	- -
40～49歳	144 100.0%	21 14.6%	17 11.8%	10 6.9%	17 11.8%	39 27.1%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	15 7.8%	17 8.9%	5 2.6%	18 9.4%	58 30.2%	5 2.6%
60～69歳	133 100.0%	13 9.8%	5 3.8%	6 4.5%	9 6.8%	52 39.1%	4 3.0%
70歳以上	259 100.0%	19 7.3%	2 0.8%	2 0.8%	8 3.1%	120 46.3%	14 5.4%

【居住形態別】

「借家（集合住宅）」で「家・部屋からの物音や騒音など」、「持ち家（集合住宅）」で「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（居住形態別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のにおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
持ち家(一戸建て)	252 100.0%	97 38.5%	66 26.2%	47 18.7%	40 15.9%	31 12.3%	30 11.9%
持ち家(集合住宅)	281 100.0%	128 45.6%	77 27.4%	98 34.9%	53 18.9%	42 14.9%	36 12.8%
借家(一戸建て)	15 100.0%	4 26.7%	6 40.0%	4 26.7%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%
借家(集合住宅)	317 100.0%	127 40.1%	114 36.0%	110 34.7%	52 16.4%	56 17.7%	41 12.9%
公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	2 40.0%	- -	1 20.0%	1 20.0%
社宅・官舎	13 100.0%	5 38.5%	4 30.8%	7 53.8%	2 15.4%	4 30.8%	2 15.4%
間借り・住み込み・寮	10 100.0%	2 20.0%	2 20.0%	- -	1 10.0%	1 10.0%	- -
その他	18 100.0%	6 33.3%	2 11.1%	3 16.7%	3 16.7%	2 11.1%	2 11.1%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
持ち家(一戸建て)	252 100.0%	26 10.3%	12 4.8%	8 3.2%	14 5.6%	96 38.1%	10 4.0%
持ち家(集合住宅)	281 100.0%	27 9.6%	24 8.5%	9 3.2%	18 6.4%	97 34.5%	7 2.5%
借家(一戸建て)	15 100.0%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	7 46.7%	1 6.7%
借家(集合住宅)	317 100.0%	37 11.7%	18 5.7%	16 5.0%	33 10.4%	102 32.2%	6 1.9%
公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅	5 100.0%	2 40.0%	- -	- -	- -	1 20.0%	- -
社宅・官舎	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	- -	1 7.7%	5 38.5%	- -
間借り・住み込み・寮	10 100.0%	2 20.0%	1 10.0%	- -	- -	6 60.0%	- -
その他	18 100.0%	1 5.6%	- -	- -	2 11.1%	7 38.9%	1 5.6%

【台東区居住年数別】

「3年～5年未満」で「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、居住年数が10年未満では「家・部屋からの物音や騒音など」、「1年～3年未満」「3年～5年未満」「10年～20年未満」では「集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（台東区居住年数別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
1年未満	13 100.0%	3 23.1%	5 38.5%	7 53.8%	3 23.1%	2 15.4%	2 15.4%
1年～3年未満	89 100.0%	30 33.7%	34 38.2%	35 39.3%	9 10.1%	15 16.9%	10 11.2%
3年～5年未満	62 100.0%	30 48.4%	27 43.5%	26 41.9%	10 16.1%	11 17.7%	6 9.7%
5年～10年未満	113 100.0%	38 33.6%	40 35.4%	34 30.1%	24 21.2%	18 15.9%	9 8.0%
10年～20年未満	180 100.0%	72 40.0%	57 31.7%	71 39.4%	38 21.1%	38 21.1%	25 13.9%
20年以上	455 100.0%	200 44.0%	110 24.2%	99 21.8%	69 15.2%	55 12.1%	61 13.4%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
1年未満	13 100.0%	1 7.7%	1 7.7%	- -	1 7.7%	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	9 10.1%	9 10.1%	4 4.5%	8 9.0%	28 31.5%	1 1.1%
3年～5年未満	62 100.0%	9 14.5%	4 6.5%	4 6.5%	4 6.5%	21 33.9%	- -
5年～10年未満	113 100.0%	11 9.7%	8 7.1%	4 3.5%	16 14.2%	39 34.5%	2 1.8%
10年～20年未満	180 100.0%	20 11.1%	13 7.2%	7 3.9%	13 7.2%	52 28.9%	6 3.3%
20年以上	455 100.0%	49 10.8%	24 5.3%	15 3.3%	27 5.9%	179 39.3%	17 3.7%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が「少しある」では、「ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること」「店舗や宿泊施設の営業に関すること」「駐車・駐輪に関すること」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、交流機会が多いほど「家・部屋からの物音や騒音など」の割合が高い傾向がみられる。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
たくさんある	16 100.0%	7 43.8%	6 37.5%	6 37.5%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	63 46.0%	46 33.6%	45 32.8%	30 21.9%	22 16.1%	30 21.9%
あまりない	287 100.0%	119 41.5%	86 30.0%	85 29.6%	50 17.4%	50 17.4%	32 11.1%
全くない	420 100.0%	166 39.5%	121 28.8%	127 30.2%	62 14.8%	56 13.3%	44 10.5%
わからない	38 100.0%	14 36.8%	10 26.3%	6 15.8%	7 18.4%	7 18.4%	4 10.5%

上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関する事	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	6 37.5%	-
少しある	137 100.0%	17 12.4%	11 8.0%	5 3.6%	17 12.4%	39 28.5%	5 3.6%
あまりない	287 100.0%	26 9.1%	16 5.6%	9 3.1%	18 6.3%	90 31.4%	10 3.5%
全くない	420 100.0%	49 11.7%	24 5.7%	17 4.0%	26 6.2%	159 37.9%	10 2.4%
わからない	38 100.0%	4 10.5%	5 13.2%	2 5.3%	4 10.5%	18 47.4%	1 2.6%

【居住地域別】

「竹町地区」では全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多く、「特にない」は他の地域と比較すると最も低くなっている。

図表 地域に暮らす外国人との関係で困った経験（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関すること	家・部屋からの物音や騒音など	集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関すること	店舗や宿泊施設の営業に関すること	食べ物のおいなど	駐車・駐輪に関すること
全体	914 100.0%	373 40.8%	273 29.9%	272 29.8%	153 16.7%	139 15.2%	113 12.4%
竹町地区	39 100.0%	20 51.3%	15 38.5%	17 43.6%	7 17.9%	9 23.1%	8 20.5%
東上野地区	50 100.0%	19 38.0%	18 36.0%	16 32.0%	8 16.0%	7 14.0%	3 6.0%
上野地区	59 100.0%	29 49.2%	15 25.4%	22 37.3%	8 13.6%	9 15.3%	9 15.3%
入谷地区	126 100.0%	54 42.9%	40 31.7%	29 23.0%	25 19.8%	21 16.7%	15 11.9%
金杉地区	93 100.0%	41 44.1%	29 31.2%	38 40.9%	20 21.5%	21 22.6%	14 15.1%
谷中地区	53 100.0%	19 35.8%	9 17.0%	11 20.8%	5 9.4%	5 9.4%	7 13.2%
浅草橋地区	72 100.0%	29 40.3%	25 34.7%	22 30.6%	17 23.6%	15 20.8%	8 11.1%
浅草寿地区	126 100.0%	52 41.3%	47 37.3%	37 29.4%	23 18.3%	17 13.5%	19 15.1%
雷門地区	89 100.0%	34 38.2%	26 29.2%	31 34.8%	19 21.3%	11 12.4%	7 7.9%
馬道地区	86 100.0%	35 40.7%	23 26.7%	26 30.2%	10 11.6%	8 9.3%	7 8.1%
清川地区	112 100.0%	36 32.1%	25 22.3%	22 19.6%	9 8.0%	15 13.4%	15 13.4%

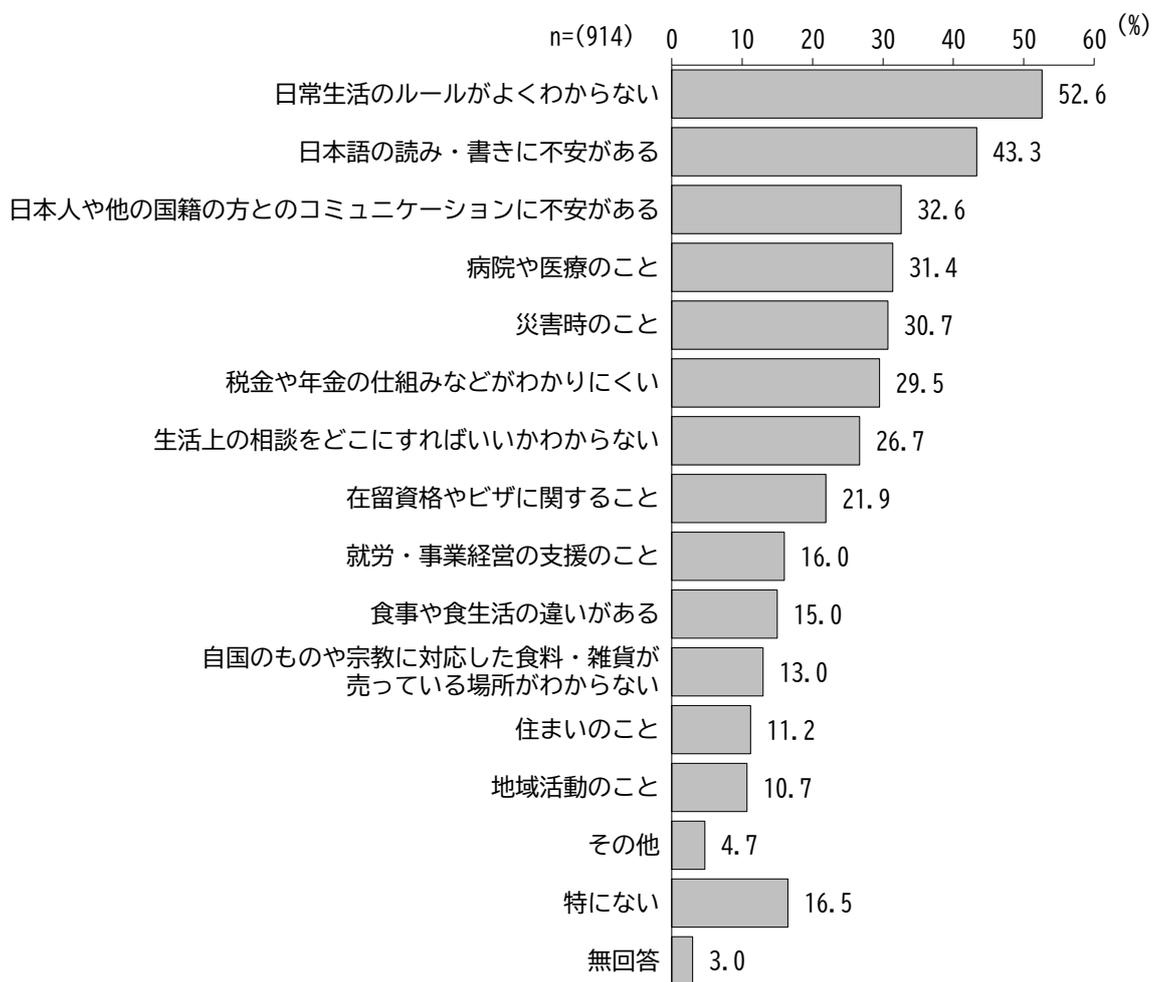
上段:人数 下段:%	調査数	言葉の行き違い	子供の行動やほかの子供との関係	ペットに関すること	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	99 10.8%	59 6.5%	34 3.7%	69 7.5%	322 35.2%	26 2.8%
竹町地区	39 100.0%	1 2.6%	6 15.4%	3 7.7%	4 10.3%	8 20.5%	3 7.7%
東上野地区	50 100.0%	3 6.0%	- -	1 2.0%	2 4.0%	13 26.0%	2 4.0%
上野地区	59 100.0%	8 13.6%	6 10.2%	4 6.8%	5 8.5%	16 27.1%	1 1.7%
入谷地区	126 100.0%	17 13.5%	3 2.4%	5 4.0%	14 11.1%	47 37.3%	1 0.8%
金杉地区	93 100.0%	10 10.8%	10 10.8%	4 4.3%	6 6.5%	34 36.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	8 15.1%	2 3.8%	2 3.8%	3 5.7%	24 45.3%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	7 9.7%	7 9.7%	4 5.6%	5 6.9%	19 26.4%	3 4.2%
浅草寿地区	126 100.0%	9 7.1%	8 6.3%	3 2.4%	6 4.8%	48 38.1%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	12 13.5%	8 9.0%	5 5.6%	8 9.0%	32 36.0%	2 2.2%
馬道地区	86 100.0%	12 14.0%	3 3.5%	2 2.3%	5 5.8%	30 34.9%	3 3.5%
清川地区	112 100.0%	12 10.7%	6 5.4%	1 0.9%	10 8.9%	49 43.8%	3 2.7%

(13) 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと

問20 地域に暮らす外国人が困っていたり、不安を感じていたりすることは何だと思えますか（あるいは何ですか）。（当てはまるもの全てに○）

「日常生活のルールがよくわからない」(52.6%)が最も高く、次いで、「日本語の読み・書きに不安がある」(43.3%)、「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」(32.6%)、「病院や医療のこと」(31.4%)、「災害時のこと」(30.7%)、「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」(29.5%)、「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」(26.7%)となっている。

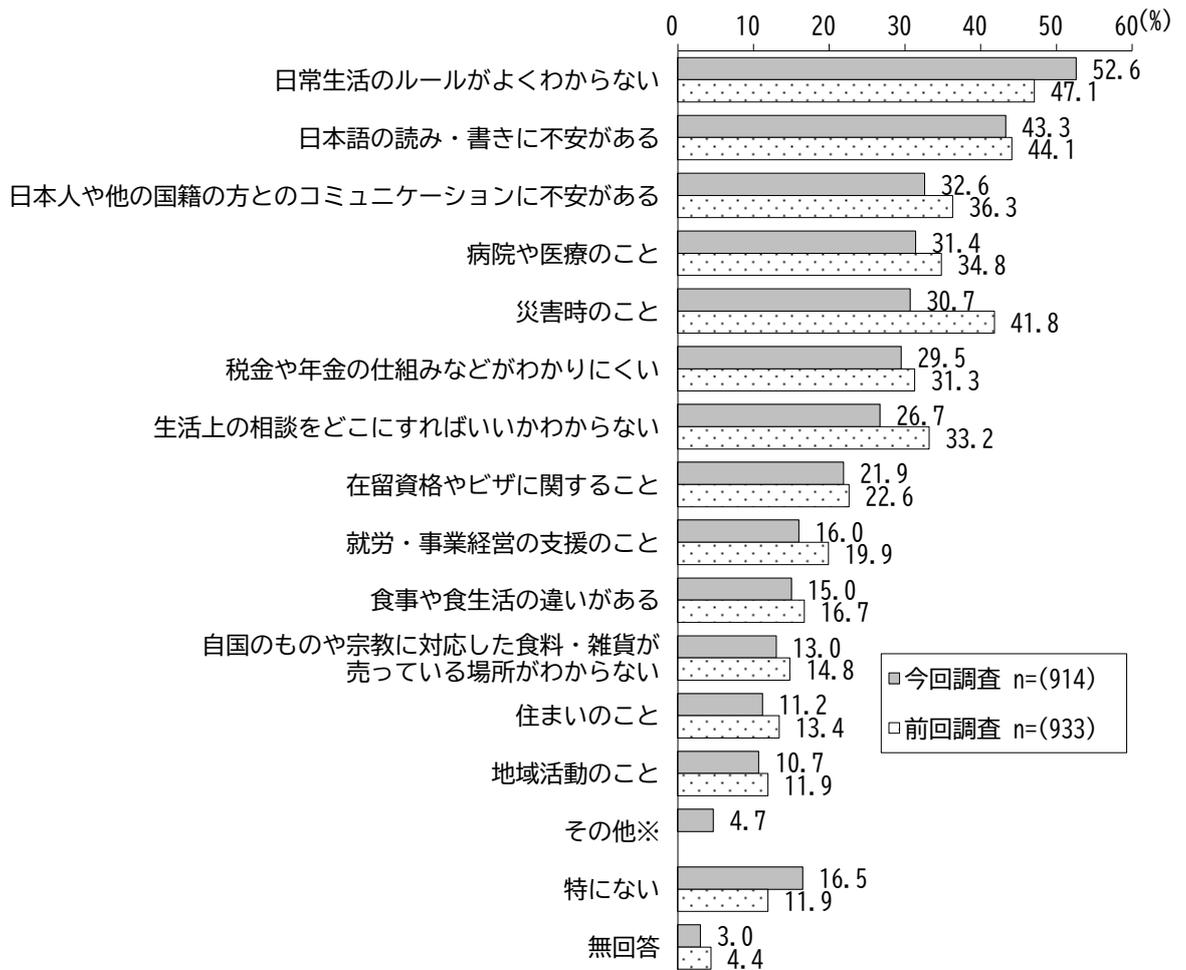
図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「日常生活のルールがよくわからない」が5.5ポイント増加している。一方、「災害時のこと」は11.1ポイント、「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」は6.5ポイント減少している。全体的に、減少傾向にある項目が多く、日本人区民が想定する外国人区民の不安は前回よりも低く認識されていることがわかります。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（複数回答）



※今回調査より、選択肢「その他」が追加された。

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が「あまりない」で「日常生活のルールがよくわからない」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（外国人との交流機会の頻度別）

	調査数	日常生活のルールがよくわからない	日本語の読み書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	病院や医療のこと	災害時のこと	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	在留資格やビザに関すること
全体	914 100.0%	481 52.6%	396 43.3%	298 32.6%	287 31.4%	281 30.7%	270 29.5%	244 26.7%	200 21.9%
たくさんある	16 100.0%	4 25.0%	8 50.0%	6 37.5%	6 37.5%	2 12.5%	6 37.5%	4 25.0%	6 37.5%
少しある	137 100.0%	66 48.2%	64 46.7%	48 35.0%	43 31.4%	48 35.0%	43 31.4%	35 25.5%	36 26.3%
あまりない	287 100.0%	180 62.7%	137 47.7%	109 38.0%	102 35.5%	102 35.5%	103 35.9%	87 30.3%	70 24.4%
全くない	420 100.0%	211 50.2%	173 41.2%	128 30.5%	122 29.0%	119 28.3%	108 25.7%	108 25.7%	79 18.8%
わからない	38 100.0%	16 42.1%	11 28.9%	6 15.8%	10 26.3%	9 23.7%	8 21.1%	7 18.4%	7 18.4%

	調査数	就労・事業経営の支援のこと	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない	住まいのこと	地域活動のこと	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	146 16.0%	137 15.0%	119 13.0%	102 11.2%	98 10.7%	43 4.7%	151 16.5%	27 3.0%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	20 14.6%	22 16.1%	16 11.7%	15 10.9%	14 10.2%	4 2.9%	20 14.6%	3 2.2%
あまりない	287 100.0%	51 17.8%	52 18.1%	48 16.7%	40 13.9%	39 13.6%	10 3.5%	33 11.5%	5 1.7%
全くない	420 100.0%	66 15.7%	55 13.1%	49 11.7%	40 9.5%	38 9.0%	26 6.2%	79 18.8%	12 2.9%
わからない	38 100.0%	5 13.2%	4 10.5%	3 7.9%	5 13.2%	4 10.5%	1 2.6%	13 34.2%	2 5.3%

【年齢別】

「60～69歳」で「日常生活のルールがよくわからない」「日本語の読み・書きに不安がある」「日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある」「病院や医療のこと」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「18～29歳」で「税金や年金の仕組みなどがわかりにくい」「在留資格やビザに関すること」「就労・事業経営の支援のこと」が、「50～59歳」で「日本語の読み・書きに不安がある」「災害時のこと」「生活上の相談をどこにすればいいかわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	日常生活のルールがよくわからない	日本語の読み・書きに不安がある	日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある	病院や医療のこと	災害時のこと	税金や年金の仕組みなどがわかりにくい	生活上の相談をどこにすればいいかわからない	在留資格やビザに関すること
全体	914 100.0%	481 52.6%	396 43.3%	298 32.6%	287 31.4%	281 30.7%	270 29.5%	244 26.7%	200 21.9%
18～29歳	65 100.0%	31 47.7%	25 38.5%	22 33.8%	17 26.2%	20 30.8%	25 38.5%	18 27.7%	19 29.2%
30～39歳	116 100.0%	45 38.8%	38 32.8%	28 24.1%	26 22.4%	26 22.4%	37 31.9%	19 16.4%	30 25.9%
40～49歳	144 100.0%	81 56.3%	58 40.3%	52 36.1%	44 30.6%	39 27.1%	46 31.9%	42 29.2%	30 20.8%
50～59歳	192 100.0%	107 55.7%	93 48.4%	66 34.4%	68 35.4%	77 40.1%	63 32.8%	65 33.9%	44 22.9%
60～69歳	133 100.0%	87 65.4%	73 54.9%	55 41.4%	56 42.1%	45 33.8%	41 30.8%	41 30.8%	31 23.3%
70歳以上	259 100.0%	127 49.0%	108 41.7%	73 28.2%	76 29.3%	73 28.2%	56 21.6%	57 22.0%	45 17.4%

上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営の支援のこと	食事や食生活の違いがある	自国のものや宗教に対応した食料・雑貨が売っている場所がわからない	住まいのこと	地域活動のこと	その他	特になし	無回答
全体	914 100.0%	146 16.0%	137 15.0%	119 13.0%	102 11.2%	98 10.7%	43 4.7%	151 16.5%	27 3.0%
18～29歳	65 100.0%	14 21.5%	11 16.9%	8 12.3%	6 9.2%	8 12.3%	1 1.5%	12 18.5%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	19 16.4%	15 12.9%	14 12.1%	14 12.1%	7 6.0%	8 6.9%	28 24.1%	1 0.9%
40～49歳	144 100.0%	24 16.7%	25 17.4%	19 13.2%	14 9.7%	12 8.3%	8 5.6%	19 13.2%	-
50～59歳	192 100.0%	39 20.3%	34 17.7%	30 15.6%	28 14.6%	21 10.9%	12 6.3%	29 15.1%	4 2.1%
60～69歳	133 100.0%	22 16.5%	17 12.8%	19 14.3%	15 11.3%	18 13.5%	4 3.0%	11 8.3%	6 4.5%
70歳以上	259 100.0%	28 10.8%	33 12.7%	28 10.8%	24 9.3%	32 12.4%	10 3.9%	52 20.1%	14 5.4%

【居住地域別】

「上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」で「日常生活のルールがよくわからない」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人が不安を感じていると思うこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	日常生活の ルールがよくわ からない	日本語の読み・ 書きに不安が ある	日本人や他の 国籍の方との コミュニケーションに不安が ある	病院や医療の こと	災害時のこと	税金や年金の 仕組みなどが わかりにくい	生活上の相談 をどこにすれば いいかわから ない	在留資格やビ ザに関するこ と
全体	914 100.0%	481 52.6%	396 43.3%	298 32.6%	287 31.4%	281 30.7%	270 29.5%	244 26.7%	200 21.9%
竹町地区	39 100.0%	17 43.6%	17 43.6%	9 23.1%	6 15.4%	7 17.9%	9 23.1%	6 15.4%	5 12.8%
東上野地区	50 100.0%	26 52.0%	21 42.0%	15 30.0%	12 24.0%	12 24.0%	13 26.0%	15 30.0%	14 28.0%
上野地区	59 100.0%	37 62.7%	24 40.7%	17 28.8%	19 32.2%	17 28.8%	22 37.3%	16 27.1%	14 23.7%
入谷地区	126 100.0%	62 49.2%	57 45.2%	30 23.8%	38 30.2%	41 32.5%	28 22.2%	30 23.8%	32 25.4%
金杉地区	93 100.0%	55 59.1%	45 48.4%	34 36.6%	31 33.3%	33 35.5%	35 37.6%	33 35.5%	24 25.8%
谷中地区	53 100.0%	28 52.8%	24 45.3%	23 43.4%	18 34.0%	18 34.0%	17 32.1%	16 30.2%	17 32.1%
浅草橋地区	72 100.0%	37 51.4%	27 37.5%	26 36.1%	22 30.6%	20 27.8%	14 19.4%	14 19.4%	13 18.1%
浅草寿地区	126 100.0%	75 59.5%	60 47.6%	43 34.1%	41 32.5%	43 34.1%	42 33.3%	33 26.2%	27 21.4%
雷門地区	89 100.0%	46 51.7%	35 39.3%	30 33.7%	37 41.6%	30 33.7%	32 36.0%	28 31.5%	16 18.0%
馬道地区	86 100.0%	42 48.8%	42 48.8%	37 43.0%	29 33.7%	28 32.6%	28 32.6%	26 30.2%	18 20.9%
清川地区	112 100.0%	51 45.5%	39 34.8%	31 27.7%	33 29.5%	29 25.9%	28 25.0%	24 21.4%	19 17.0%

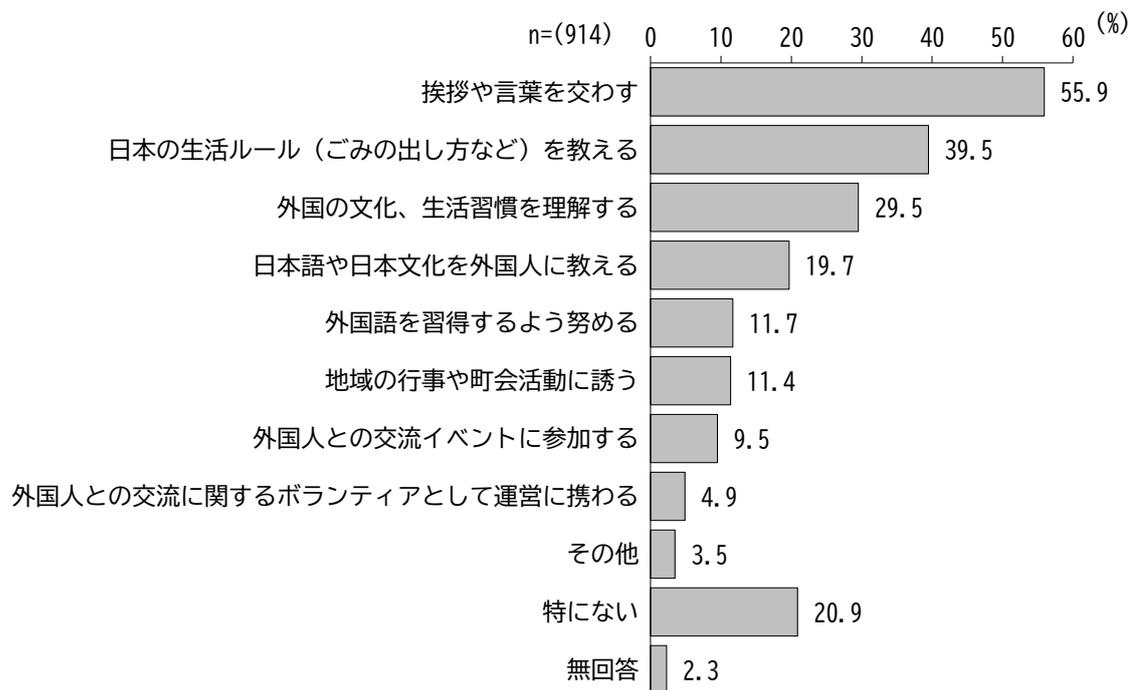
上段:人数 下段:%	調査数	就労・事業経営 の支援のこと	食事や食生活 の違いがある	自国のものや 宗教に対応し た食料・雑貨が 売っていない場 所がわからない	住まいのこと	地域活動のこ と	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	146 16.0%	137 15.0%	119 13.0%	102 11.2%	98 10.7%	43 4.7%	151 16.5%	27 3.0%
竹町地区	39 100.0%	4 10.3%	9 23.1%	5 12.8%	2 5.1%	3 7.7%	3 7.7%	11 28.2%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	7 14.0%	9 18.0%	10 20.0%	8 16.0%	5 10.0%	6 12.0%	8 16.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	10 16.9%	7 11.9%	2 3.4%	9 15.3%	5 8.5%	5 8.5%	13 22.0%	-
入谷地区	126 100.0%	26 20.6%	12 9.5%	13 10.3%	10 7.9%	10 7.9%	7 5.6%	25 19.8%	1 0.8%
金杉地区	93 100.0%	19 20.4%	19 20.4%	12 12.9%	12 12.9%	10 10.8%	6 6.5%	10 10.8%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	7 13.2%	7 13.2%	6 11.3%	5 9.4%	7 13.2%	1 1.9%	6 11.3%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	10 13.9%	8 11.1%	8 11.1%	8 11.1%	5 6.9%	5 6.9%	11 15.3%	4 5.6%
浅草寿地区	126 100.0%	21 16.7%	21 16.7%	16 12.7%	17 13.5%	16 12.7%	5 4.0%	15 11.9%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	14 15.7%	12 13.5%	15 16.9%	6 6.7%	9 10.1%	2 2.2%	12 13.5%	7 7.9%
馬道地区	86 100.0%	14 16.3%	13 15.1%	13 15.1%	12 14.0%	14 16.3%	2 2.3%	13 15.1%	2 2.3%
清川地区	112 100.0%	13 11.6%	20 17.9%	17 15.2%	13 11.6%	13 11.6%	1 0.9%	25 22.3%	4 3.6%

(14) 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること

問21 あなたが地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできることは何だ
 と思いますか。(当てはまるもの全てに○)

「挨拶や言葉を交わす」(55.9%)が最も高く、次いで、「日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える」(39.5%)、「外国の文化、生活習慣を理解する」(29.5%)、「日本語や日本文化を外国人に教える」(19.7%)となっている。一方、「特にない」は20.9%となっている。

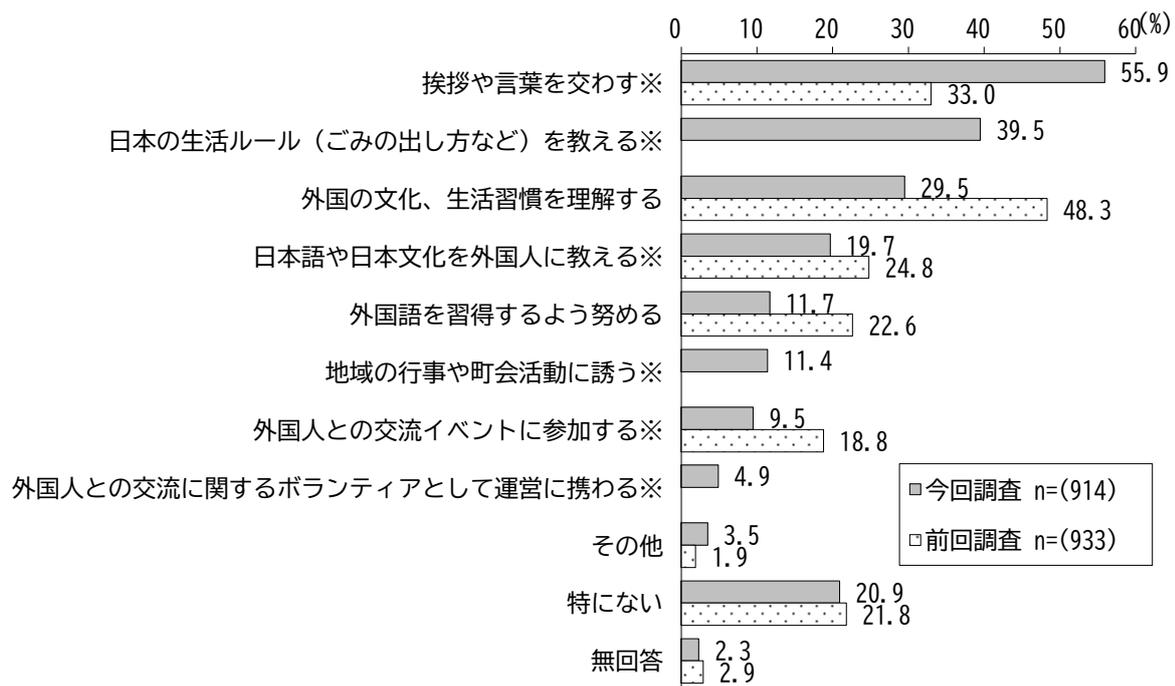
図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「挨拶や言葉を交わす」が22.9ポイント増加している。一方、「外国の文化、生活習慣を理解する」は18.8ポイント、「外国語を習得するよう努める」は10.9ポイント、「外国人との交流イベントに参加する」は9.3ポイント、「日本語や日本文化を外国人に教える」は5.1ポイント減少している。

図表 【経年比較】地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること
(複数回答)



※今回調査の選択肢「挨拶や言葉を交わす」は前回調査では「日頃から、外国人と言葉を交わす」、「日本語や日本文化を外国人に教える」は「日本語、日本の習慣を外国人に紹介する」、「外国人との交流イベントに参加する」は「外国人との交流会など、国際交流の行事に参加する」であった。

※今回調査より、選択肢「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」「地域の行事や町会活動に誘う」「外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる」が追加された。

第4章 日本人意識調査 調査結果の詳細

【年齢別】

「50～59歳」で「挨拶や言葉を交わす」「外国の文化、生活習慣を理解する」、「60～69歳」で「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」が全体平均と比較してそれぞれ5ポイント以上高い。一方、40歳代以下では「挨拶や言葉を交わす」「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」が全体平均と比較して5ポイント以上低くなっている。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶や言葉を 交わす	日本の生活 ルール(ごみの 出し方など)を 教える	外国の文化、生 活習慣を理解 する	日本語や日本 文化を外国人 に教える	外国語を習得 するよう努める	地域の行事や 町会活動に誘 う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
18～29歳	65 100.0%	31 47.7%	21 32.3%	18 27.7%	13 20.0%	9 13.8%	9 13.8%
30～39歳	116 100.0%	56 48.3%	39 33.6%	30 25.9%	30 25.9%	16 13.8%	9 7.8%
40～49歳	144 100.0%	80 55.6%	47 32.6%	43 29.9%	31 21.5%	21 14.6%	13 9.0%
50～59歳	192 100.0%	126 65.6%	78 40.6%	68 35.4%	38 19.8%	28 14.6%	20 10.4%
60～69歳	133 100.0%	73 54.9%	61 45.9%	42 31.6%	26 19.5%	12 9.0%	18 13.5%
70歳以上	259 100.0%	145 56.0%	113 43.6%	69 26.6%	41 15.8%	21 8.1%	35 13.5%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交 流イベントに参 加する	外国人との交 流に関するボ ランティアとし て運営に携わ る	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
18～29歳	65 100.0%	7 10.8%	5 7.7%	1 1.5%	16 24.6%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	10 8.6%	3 2.6%	2 1.7%	34 29.3%	1 0.9%
40～49歳	144 100.0%	16 11.1%	10 6.9%	9 6.3%	29 20.1%	- -
50～59歳	192 100.0%	24 12.5%	17 8.9%	8 4.2%	32 16.7%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	11 8.3%	5 3.8%	4 3.0%	22 16.5%	4 3.0%
70歳以上	259 100.0%	18 6.9%	5 1.9%	7 2.7%	57 22.0%	11 4.2%

【台東区居住年数別】

「5年～10年未満」では全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多くなっている。また、「挨拶や言葉を交わす」は5年未満よりも5年以上の方が割合が高い傾向がみられる。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること
(台東区居住年数別)

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶や言葉を交わす	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える	外国の文化、生活習慣を理解する	日本語や日本文化を外国人に教える	外国語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に誘う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
1年未満	13 100.0%	6 46.2%	4 30.8%	7 53.8%	5 38.5%	3 23.1%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	41 46.1%	39 43.8%	23 25.8%	21 23.6%	11 12.4%	9 10.1%
3年～5年未満	62 100.0%	25 40.3%	18 29.0%	14 22.6%	10 16.1%	5 8.1%	4 6.5%
5年～10年未満	113 100.0%	74 65.5%	51 45.1%	43 38.1%	28 24.8%	22 19.5%	12 10.6%
10年～20年未満	180 100.0%	102 56.7%	60 33.3%	52 28.9%	39 21.7%	25 13.9%	23 12.8%
20年以上	455 100.0%	261 57.4%	188 41.3%	129 28.4%	76 16.7%	39 8.6%	55 12.1%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流イベントに参加する	外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
1年未満	13 100.0%	- -	- -	- -	1 7.7%	- -
1年～3年未満	89 100.0%	17 19.1%	12 13.5%	1 1.1%	23 25.8%	2 2.2%
3年～5年未満	62 100.0%	6 9.7%	3 4.8%	2 3.2%	21 33.9%	1 1.6%
5年～10年未満	113 100.0%	19 16.8%	12 10.6%	6 5.3%	16 14.2%	- -
10年～20年未満	180 100.0%	14 7.8%	8 4.4%	5 2.8%	36 20.0%	3 1.7%
20年以上	455 100.0%	30 6.6%	10 2.2%	18 4.0%	94 20.7%	15 3.3%

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が「あまりない」で「挨拶や言葉を交わす」が全体平均と比較して5ポイント以上高く、交流機会が「少しある」では「日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える」「外国の文化、生活習慣を理解する」「日本語や日本文化を外国人に教える」「地域の行事や町会活動に誘う」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること
(外国人との交流機会の頻度別)

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶や言葉を交わす	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える	外国の文化、生活習慣を理解する	日本語や日本文化を外国人に教える	外国語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に誘う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
たくさんある	16 100.0%	10 62.5%	8 50.0%	6 37.5%	8 50.0%	5 31.3%	6 37.5%
少しある	137 100.0%	80 58.4%	66 48.2%	53 38.7%	34 24.8%	18 13.1%	24 17.5%
あまりない	287 100.0%	183 63.8%	123 42.9%	93 32.4%	63 22.0%	37 12.9%	44 15.3%
全くない	420 100.0%	216 51.4%	151 36.0%	105 25.0%	69 16.4%	46 11.0%	28 6.7%
わからない	38 100.0%	16 42.1%	8 21.1%	7 18.4%	4 10.5%	1 2.6%	1 2.6%

上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流イベントに参加する	外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	4 25.0%	1 6.3%	- -	2 12.5%
少しある	137 100.0%	10 7.3%	7 5.1%	3 2.2%	23 16.8%	4 2.9%
あまりない	287 100.0%	39 13.6%	20 7.0%	10 3.5%	34 11.8%	4 1.4%
全くない	420 100.0%	34 8.1%	13 3.1%	16 3.8%	113 26.9%	8 1.9%
わからない	38 100.0%	- -	1 2.6%	1 2.6%	16 42.1%	1 2.6%

【居住地域別】

「東上野地区」「上野地区」「谷中地区」「馬道地区」で「挨拶や言葉を交わす」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「上野地区」では「日本の生活ルール（ごみの出し方など）を教える」も高くなっている。

図表 地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできること（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	挨拶や言葉を交わす	日本の生活ルール(ごみの出し方など)を教える	外国の文化、生活習慣を理解する	日本語や日本文化を外国人に教える	外国語を習得するよう努める	地域の行事や町会活動に誘う
全体	914 100.0%	511 55.9%	361 39.5%	270 29.5%	180 19.7%	107 11.7%	104 11.4%
竹町地区	39 100.0%	20 51.3%	12 30.8%	7 17.9%	7 17.9%	1 2.6%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	31 62.0%	23 46.0%	19 38.0%	13 26.0%	6 12.0%	7 14.0%
上野地区	59 100.0%	37 62.7%	29 49.2%	11 18.6%	13 22.0%	5 8.5%	6 10.2%
入谷地区	126 100.0%	60 47.6%	45 35.7%	32 25.4%	27 21.4%	16 12.7%	10 7.9%
金杉地区	93 100.0%	53 57.0%	40 43.0%	35 37.6%	21 22.6%	10 10.8%	9 9.7%
谷中地区	53 100.0%	39 73.6%	20 37.7%	18 34.0%	5 9.4%	8 15.1%	6 11.3%
浅草橋地区	72 100.0%	35 48.6%	24 33.3%	18 25.0%	16 22.2%	7 9.7%	10 13.9%
浅草寿地区	126 100.0%	67 53.2%	51 40.5%	43 34.1%	21 16.7%	19 15.1%	18 14.3%
雷門地区	89 100.0%	51 57.3%	35 39.3%	29 32.6%	19 21.3%	15 16.9%	15 16.9%
馬道地区	86 100.0%	55 64.0%	36 41.9%	27 31.4%	19 22.1%	11 12.8%	11 12.8%
清川地区	112 100.0%	59 52.7%	43 38.4%	29 25.9%	18 16.1%	8 7.1%	8 7.1%

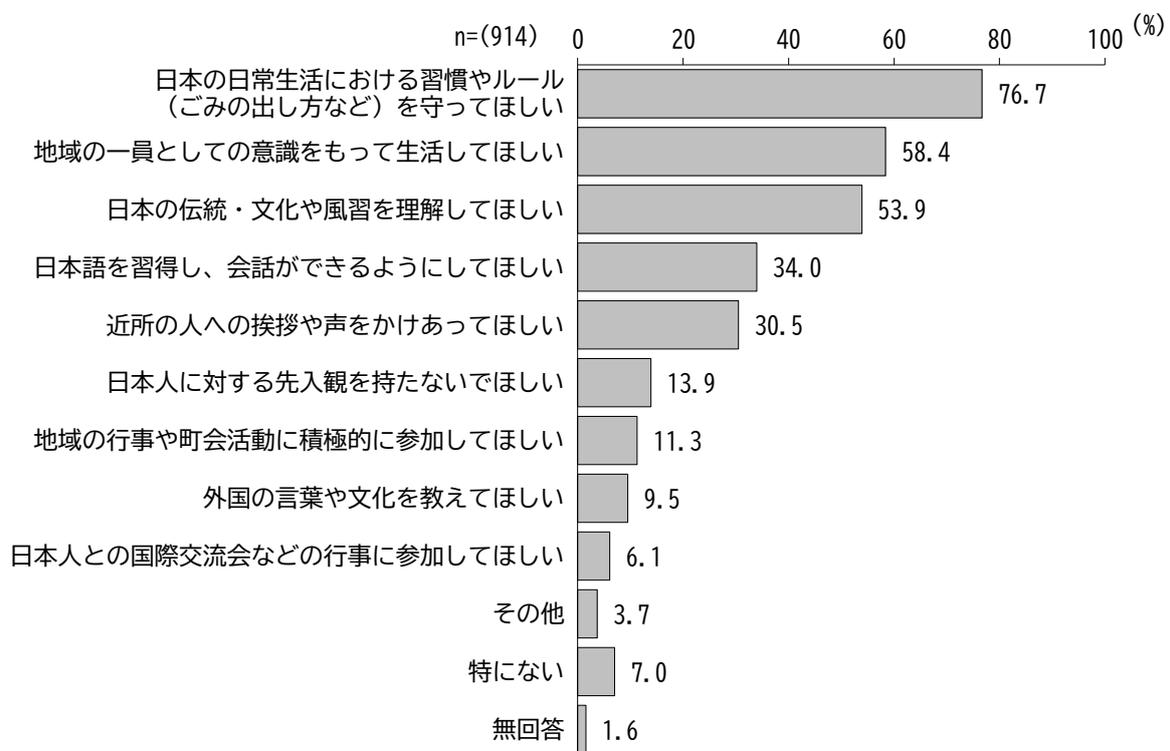
上段:人数 下段:%	調査数	外国人との交流イベントに参加する	外国人との交流に関するボランティアとして運営に携わる	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	87 9.5%	45 4.9%	32 3.5%	191 20.9%	21 2.3%
竹町地区	39 100.0%	2 5.1%	-	1 2.6%	10 25.6%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	6 12.0%	3 6.0%	2 4.0%	9 18.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	2 3.4%	3 5.1%	2 3.4%	12 20.3%	-
入谷地区	126 100.0%	11 8.7%	6 4.8%	6 4.8%	32 25.4%	-
金杉地区	93 100.0%	6 6.5%	4 4.3%	6 6.5%	21 22.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	8 15.1%	4 7.5%	2 3.8%	6 11.3%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	6 8.3%	6 8.3%	5 6.9%	15 20.8%	3 4.2%
浅草寿地区	126 100.0%	14 11.1%	8 6.3%	2 1.6%	25 19.8%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	14 15.7%	6 6.7%	4 4.5%	13 14.6%	4 4.5%
馬道地区	86 100.0%	11 12.8%	4 4.7%	-	17 19.8%	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	7 6.3%	-	2 1.8%	29 25.9%	4 3.6%

(15) 住民相互の理解のために、外国人に求めること

問22 住民相互の理解を深めるために、地域に暮らす外国人に求めることは何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」（76.7%）が最も高い。次いで、「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」（58.4%）、「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」（53.9%）、「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」（34.0%）、「近所の人への挨拶や声をかけあってほしい」（30.5%）となっている。

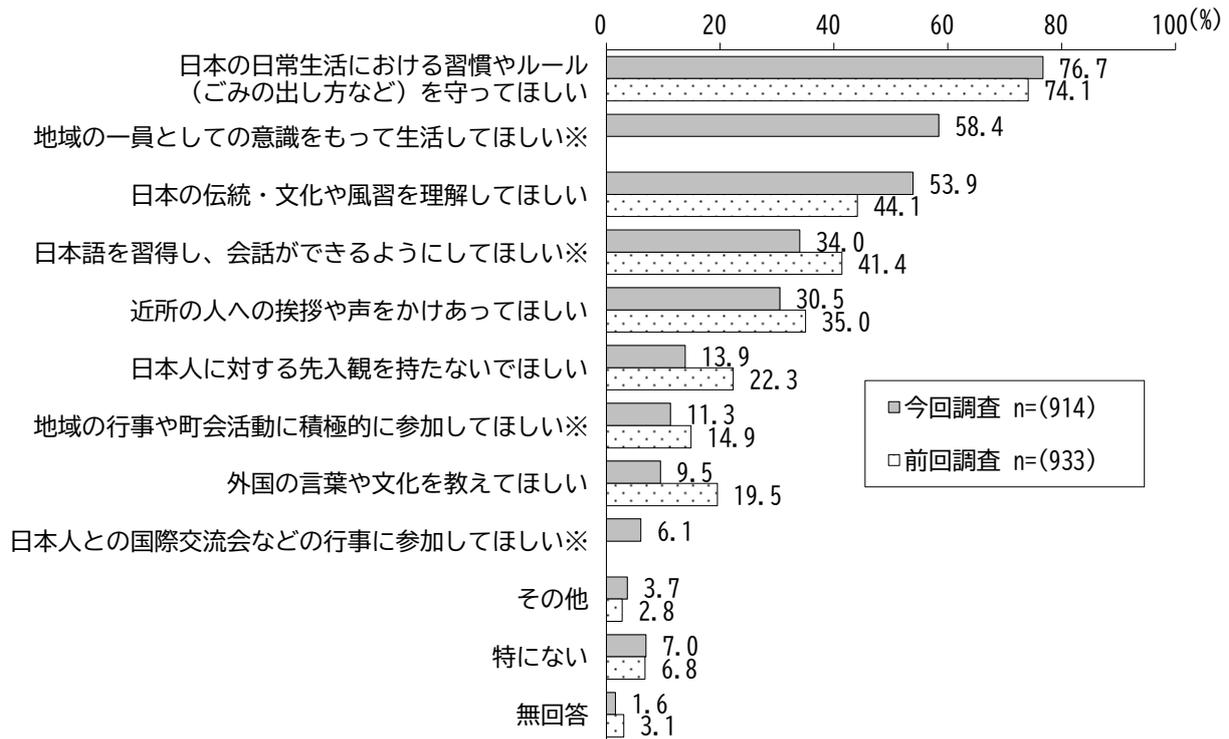
図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（複数回答）



【経年比較】

前回との比較では、「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」が9.8ポイント増加している。一方、「外国の言葉や文化を教えてほしい」は10.0ポイント、「日本人に対する先入観を持たないでほしい」は8.4ポイント、「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」は7.4ポイント減少している。

図表 【経年比較】住民相互の理解のために、外国人に求めること（複数回答）



※今回調査の選択肢「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」は前回調査では「日本語を勉強し、会話ができるようにする」、「地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい」は「地域の行事に積極的に参加する」であった。

※今回調査より、選択肢「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」「日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい」が追加された。

【年齢別】

「30～39歳」「40～49歳」で「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」、「18～29歳」「40～49歳」「60～69歳」で「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」、「30～39歳」で「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（年齢別）

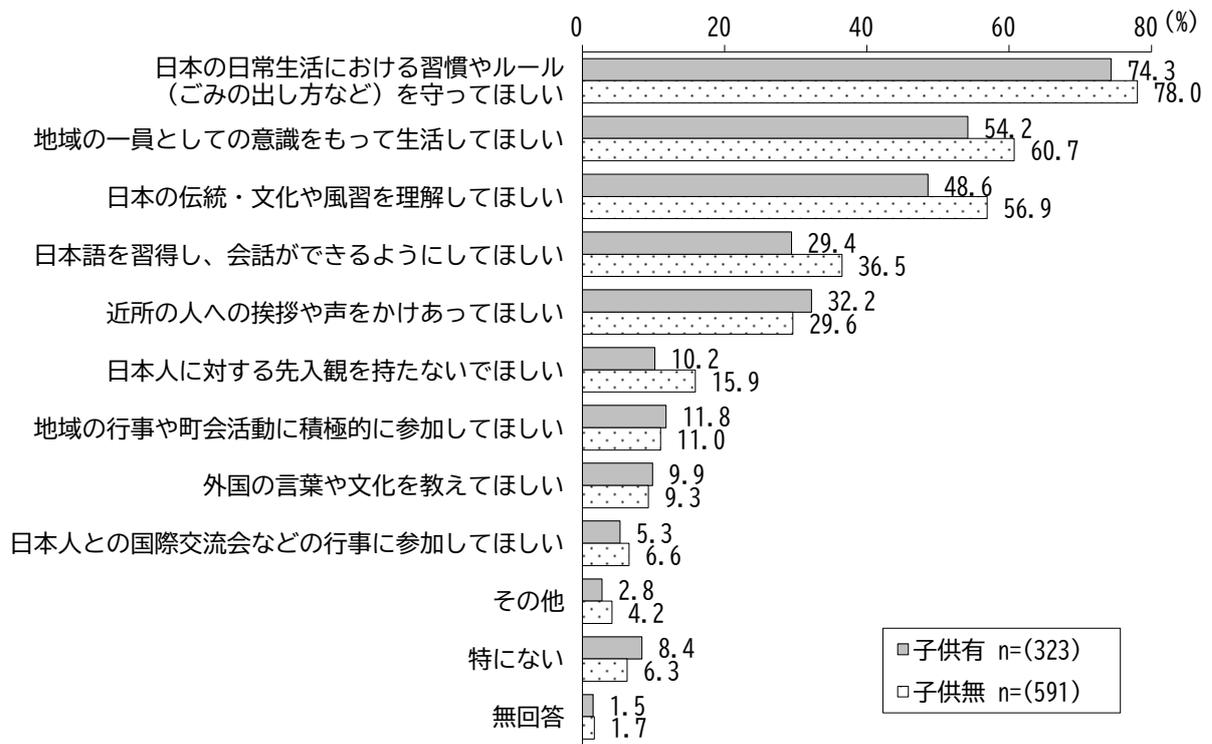
上段:人数 下段:%	調査数	日本の日常生活における習慣やルール(ごみの出し方など)を守ってほしい	地域の一員としての意識をもって生活してほしい	日本の伝統・文化や風習を理解してほしい	日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい	近所の人への挨拶や声をかけあってほしい	日本人に対する先入観を持たないでほしい
全体	914 100.0%	701 76.7%	534 58.4%	493 53.9%	311 34.0%	279 30.5%	127 13.9%
18～29歳	65 100.0%	48 73.8%	39 60.0%	43 66.2%	25 38.5%	6 9.2%	6 9.2%
30～39歳	116 100.0%	96 82.8%	68 58.6%	68 58.6%	48 41.4%	25 21.6%	13 11.2%
40～49歳	144 100.0%	123 85.4%	86 59.7%	85 59.0%	47 32.6%	38 26.4%	22 15.3%
50～59歳	192 100.0%	146 76.0%	120 62.5%	97 50.5%	74 38.5%	63 32.8%	32 16.7%
60～69歳	133 100.0%	104 78.2%	84 63.2%	81 60.9%	35 26.3%	49 36.8%	15 11.3%
70歳以上	259 100.0%	181 69.9%	134 51.7%	117 45.2%	81 31.3%	97 37.5%	39 15.1%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	103 11.3%	87 9.5%	56 6.1%	34 3.7%	64 7.0%	15 1.6%
18～29歳	65 100.0%	3 4.6%	4 6.2%	3 4.6%	-	4 6.2%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	6 5.2%	12 10.3%	3 2.6%	5 4.3%	6 5.2%	-
40～49歳	144 100.0%	16 11.1%	15 10.4%	6 4.2%	8 5.6%	5 3.5%	-
50～59歳	192 100.0%	24 12.5%	22 11.5%	11 5.7%	14 7.3%	12 6.3%	3 1.6%
60～69歳	133 100.0%	18 13.5%	7 5.3%	8 6.0%	3 2.3%	6 4.5%	3 2.3%
70歳以上	259 100.0%	36 13.9%	27 10.4%	25 9.7%	2 0.8%	29 11.2%	8 3.1%

【子供の有無別】

「子供無」で「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」「日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい」「日本人に対する先入観を持たないでほしい」が「子供有」よりも高くなっている。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（子供の有無別）



【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が少ないほど「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」の割合がおおむね高くなる傾向がみられる。また、交流機会が「少しある」で「日本人に対する先入観を持たないでほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の日常生活における習慣やルール(ごみの出し方など)を守ってほしい	地域の一人としての意識をもって生活してほしい	日本の伝統・文化や風習を理解してほしい	日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい	近所の人への挨拶や声をかけあってほしい	日本人に対する先入観を持たないでほしい
全体	914 100.0%	701 76.7%	534 58.4%	493 53.9%	311 34.0%	279 30.5%	127 13.9%
たくさんある	16 100.0%	9 56.3%	11 68.8%	4 25.0%	6 37.5%	3 18.8%	3 18.8%
少しある	137 100.0%	101 73.7%	82 59.9%	66 48.2%	44 32.1%	43 31.4%	26 19.0%
あまりない	287 100.0%	227 79.1%	180 62.7%	165 57.5%	94 32.8%	96 33.4%	34 11.8%
全くない	420 100.0%	331 78.8%	239 56.9%	235 56.0%	150 35.7%	122 29.0%	57 13.6%
わからない	38 100.0%	25 65.8%	19 50.0%	17 44.7%	14 36.8%	10 26.3%	5 13.2%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	103 11.3%	87 9.5%	56 6.1%	34 3.7%	64 7.0%	15 1.6%
たくさんある	16 100.0%	3 18.8%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	14 10.2%	19 13.9%	8 5.8%	5 3.6%	8 5.8%	4 2.9%
あまりない	287 100.0%	34 11.8%	29 10.1%	19 6.6%	13 4.5%	10 3.5%	3 1.0%
全くない	420 100.0%	44 10.5%	35 8.3%	24 5.7%	14 3.3%	31 7.4%	4 1.0%
わからない	38 100.0%	6 15.8%	3 7.9%	3 7.9%	1 2.6%	9 23.7%	- -

【居住地域別】

「上野地区」「浅草橋地区」で「日本の日常生活における習慣やルール（ごみの出し方など）を守ってほしい」、「竹町地区」「上野地区」で「地域の一員としての意識をもって生活してほしい」、「東上野地区」で「日本の伝統・文化や風習を理解してほしい」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 住民相互の理解のために、外国人に求めること（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	日本の日常生活における習慣やルール(ごみの出し方など)を守ってほしい	地域の一員としての意識をもって生活してほしい	日本の伝統・文化や風習を理解してほしい	日本語を習得し、会話ができるようにしてほしい	近所の人への挨拶や声をかけあってほしい	日本人に対する先入観を持たないでほしい
全体	914 100.0%	701 76.7%	534 58.4%	493 53.9%	311 34.0%	279 30.5%	127 13.9%
竹町地区	39 100.0%	29 74.4%	26 66.7%	22 56.4%	15 38.5%	7 17.9%	3 7.7%
東上野地区	50 100.0%	37 74.0%	32 64.0%	34 68.0%	17 34.0%	16 32.0%	5 10.0%
上野地区	59 100.0%	52 88.1%	40 67.8%	35 59.3%	24 40.7%	21 35.6%	12 20.3%
入谷地区	126 100.0%	91 72.2%	68 54.0%	64 50.8%	41 32.5%	29 23.0%	15 11.9%
金杉地区	93 100.0%	74 79.6%	53 57.0%	55 59.1%	35 37.6%	30 32.3%	11 11.8%
谷中地区	53 100.0%	38 71.7%	31 58.5%	29 54.7%	16 30.2%	17 32.1%	6 11.3%
浅草橋地区	72 100.0%	61 84.7%	38 52.8%	38 52.8%	27 37.5%	16 22.2%	11 15.3%
浅草寿地区	126 100.0%	95 75.4%	74 58.7%	68 54.0%	39 31.0%	44 34.9%	22 17.5%
雷門地区	89 100.0%	68 76.4%	55 61.8%	49 55.1%	33 37.1%	33 37.1%	17 19.1%
馬道地区	86 100.0%	69 80.2%	50 58.1%	48 55.8%	28 32.6%	29 33.7%	10 11.6%
清川地区	112 100.0%	80 71.4%	60 53.6%	47 42.0%	33 29.5%	35 31.3%	11 9.8%

上段:人数 下段:%	調査数	地域の行事や町会活動に積極的に参加してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	日本人との国際交流会などの行事に参加してほしい	その他	特になし	無回答
全体	914 100.0%	103 11.3%	87 9.5%	56 6.1%	34 3.7%	64 7.0%	15 1.6%
竹町地区	39 100.0%	1 2.6%	3 7.7%	- -	- -	2 5.1%	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	6 12.0%	4 8.0%	3 6.0%	3 6.0%	3 6.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	9 15.3%	7 11.9%	4 6.8%	- -	3 5.1%	- -
入谷地区	126 100.0%	9 7.1%	9 7.1%	8 6.3%	7 5.6%	13 10.3%	- -
金杉地区	93 100.0%	9 9.7%	7 7.5%	8 8.6%	6 6.5%	9 9.7%	- -
谷中地区	53 100.0%	7 13.2%	5 9.4%	4 7.5%	1 1.9%	5 9.4%	2 3.8%
浅草橋地区	72 100.0%	6 8.3%	7 9.7%	4 5.6%	3 4.2%	4 5.6%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	15 11.9%	17 13.5%	10 7.9%	4 3.2%	6 4.8%	3 2.4%
雷門地区	89 100.0%	17 19.1%	10 11.2%	7 7.9%	5 5.6%	3 3.4%	3 3.4%
馬道地区	86 100.0%	11 12.8%	11 12.8%	5 5.8%	1 1.2%	6 7.0%	1 1.2%
清川地区	112 100.0%	11 9.8%	6 5.4%	2 1.8%	4 3.6%	9 8.0%	2 1.8%

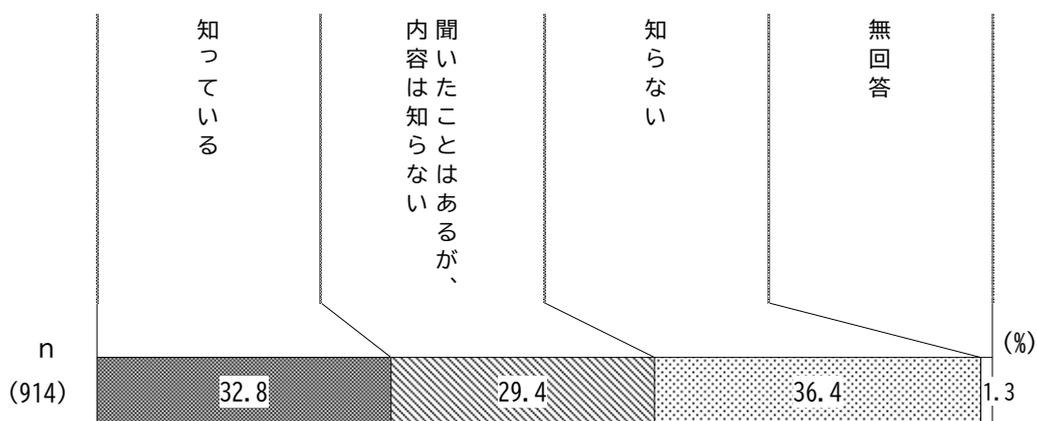
3. 多文化共生のまちづくりについて

(1) 「多文化共生社会」という言葉の認知度

問23 多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」をいいます。あなたは多文化共生社会という言葉を知っていますか。(ひとつだけ○)

「知っている」が32.8%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が29.4%、「知らない」が36.4%となっている。「知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は62.2%である。

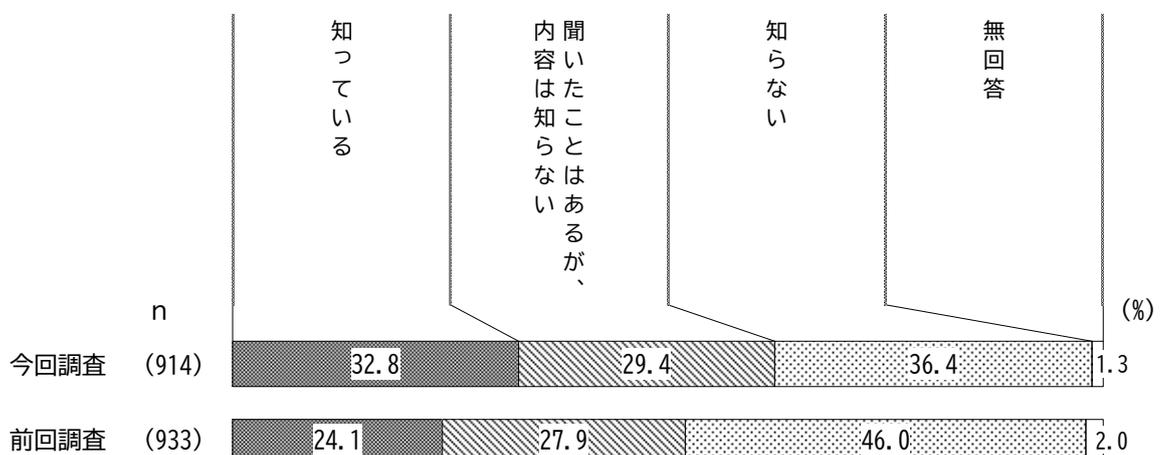
図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「知っている」が8.7ポイント増加している。一方、「知らない」は9.6ポイント減少している。

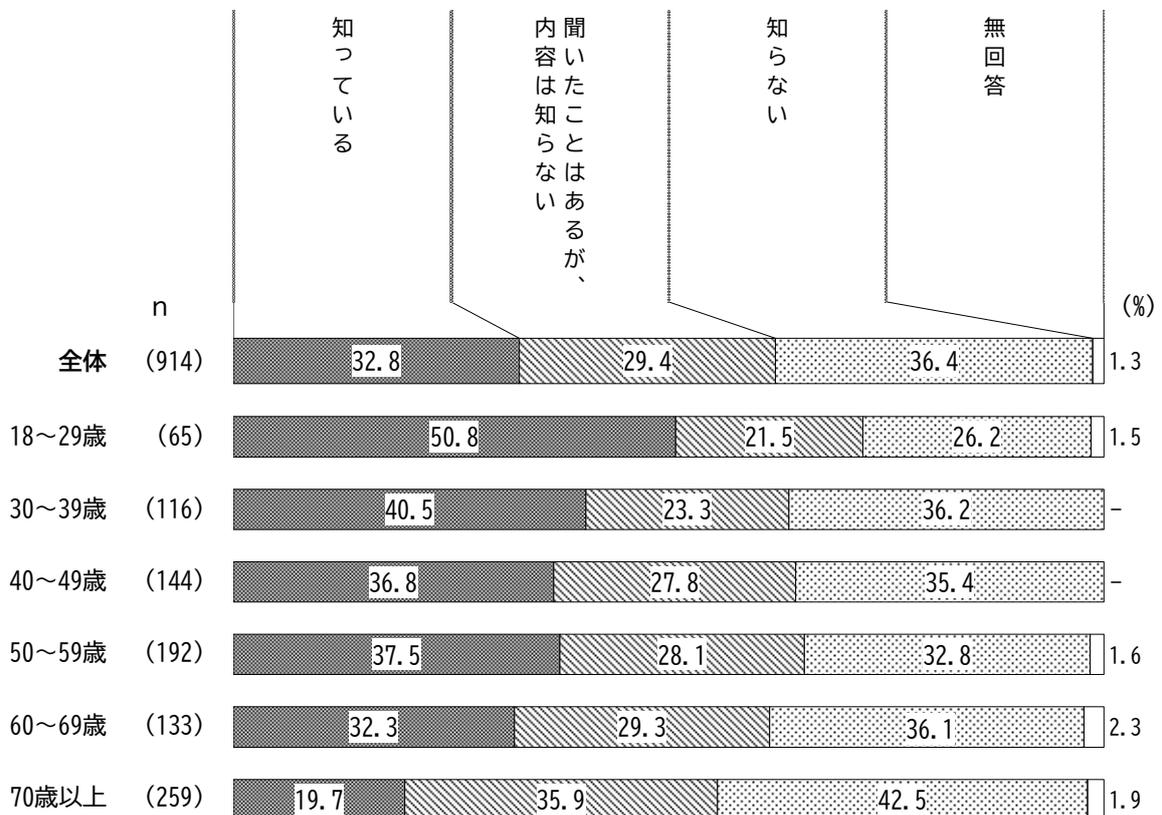
図表 【経年比較】「多文化共生社会」という言葉の認知度 (単一回答)



【年齢別】

年代が若いほど「知っている」がおおむね高い傾向にあり、「18～29歳」「30～39歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高い。

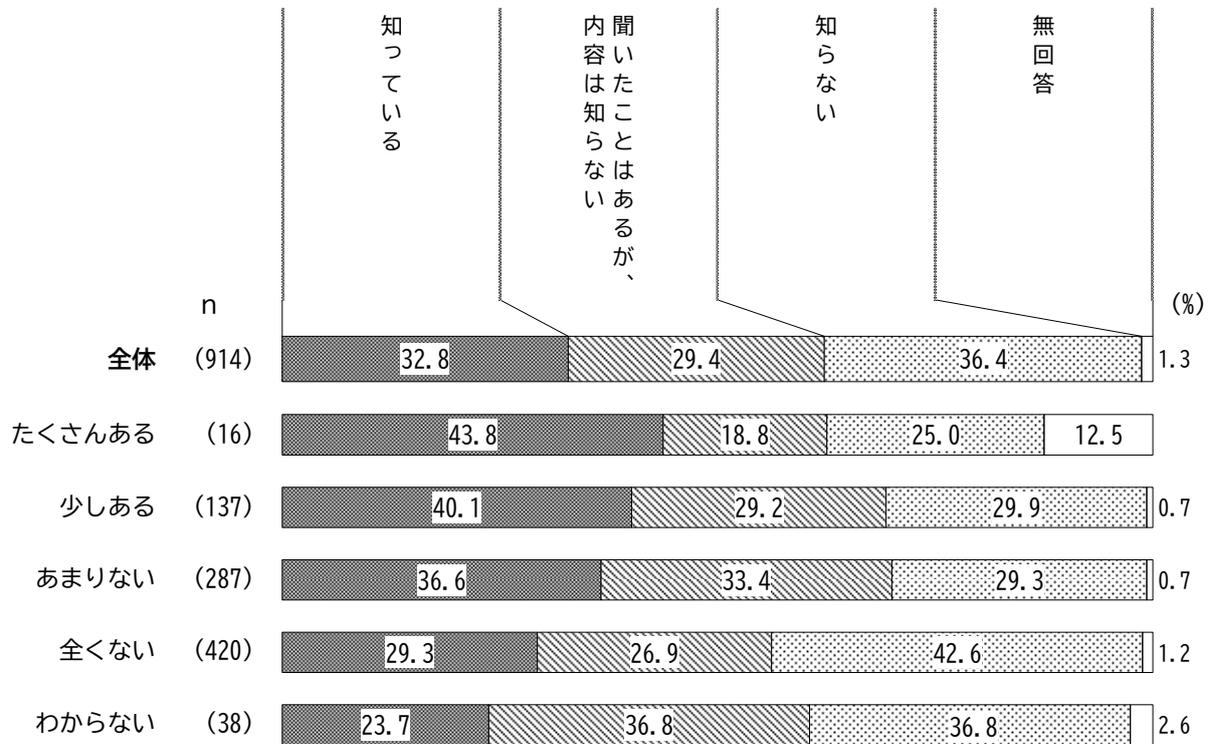
図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度（年齢別）



【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会の頻度が多いほど「知っている」がおおむね高い傾向にあり、交流機会が「たくさんある」「少しある」で「知っている」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

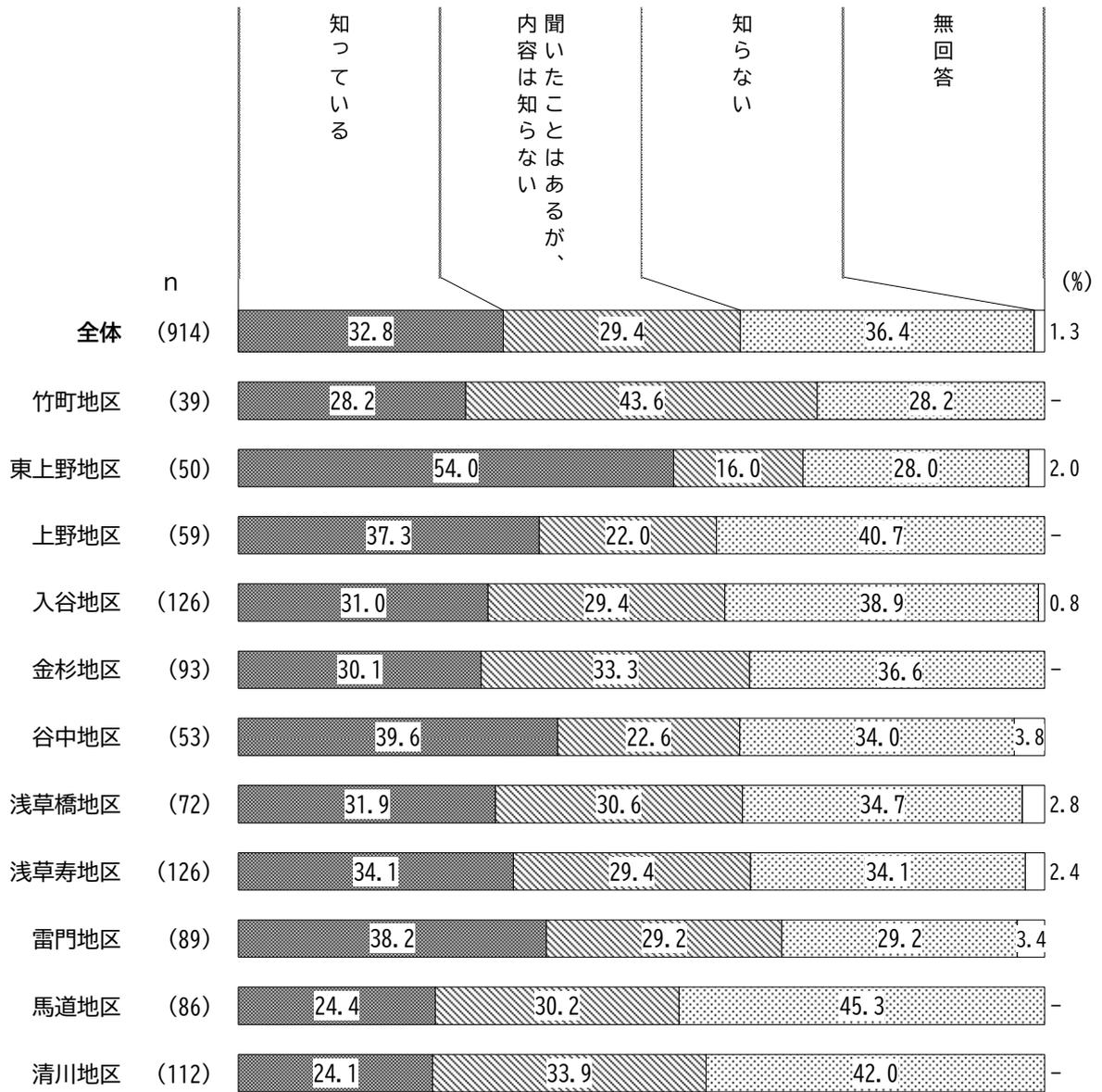
図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度（外国人との交流機会の頻度別）



【居住地域別】

「東上野地区」で「知っている」が50%台半ばと、高くなっている。一方、「上野地区」「入谷地区」「金杉地区」「浅草橋地区」「馬道地区」「清川地区」では「知らない」の割合が「知っている」を上回っている。居住地域により認知度に差がみられる。

図表 「多文化共生社会」という言葉の認知度（居住地域別）

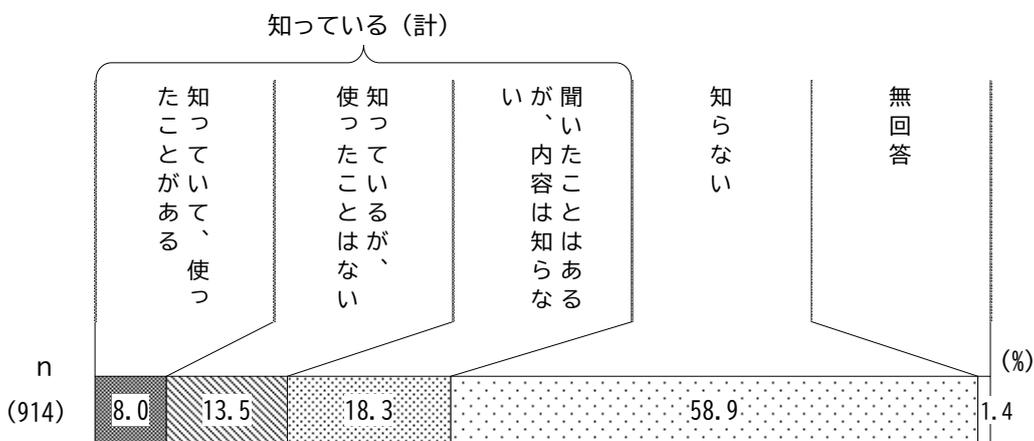


(2) 「やさしい日本語」の認知度

問24 台東区では、他の国籍の方とコミュニケーションを取るために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」の活用を推進していますが、あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。(ひとつだけ○)

「知っていて、使ったことがある」が8.0%、「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」が18.3%となっており、3つを合わせた認知度は39.8%である。一方、「知らない」は58.9%と半数以上を占めている。

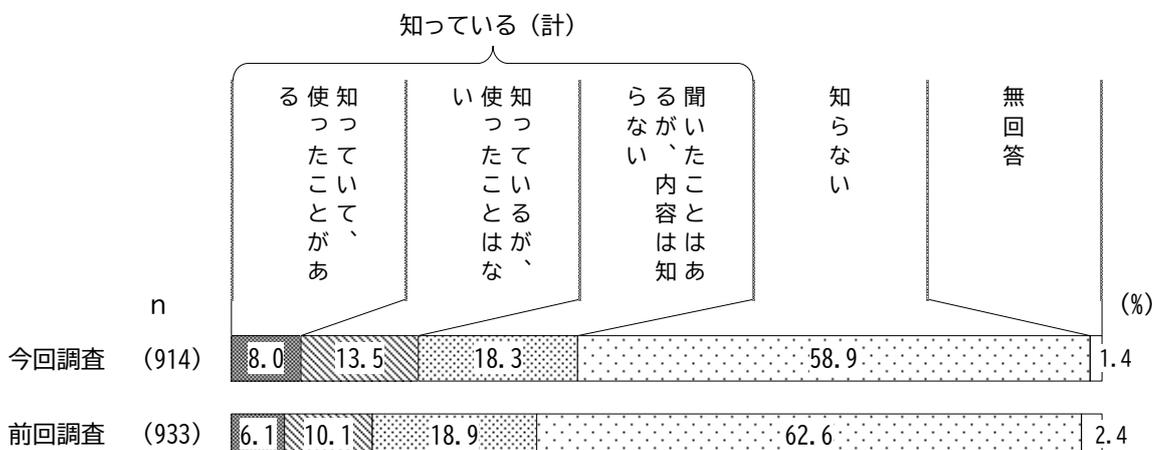
図表 「やさしい日本語」の認知度 (単一回答)



【経年比較】

前回との比較では、「知っていて、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」の3つを合わせた認知度はやや増加している。

図表 【経年比較】「やさしい日本語」の認知度 (単一回答)

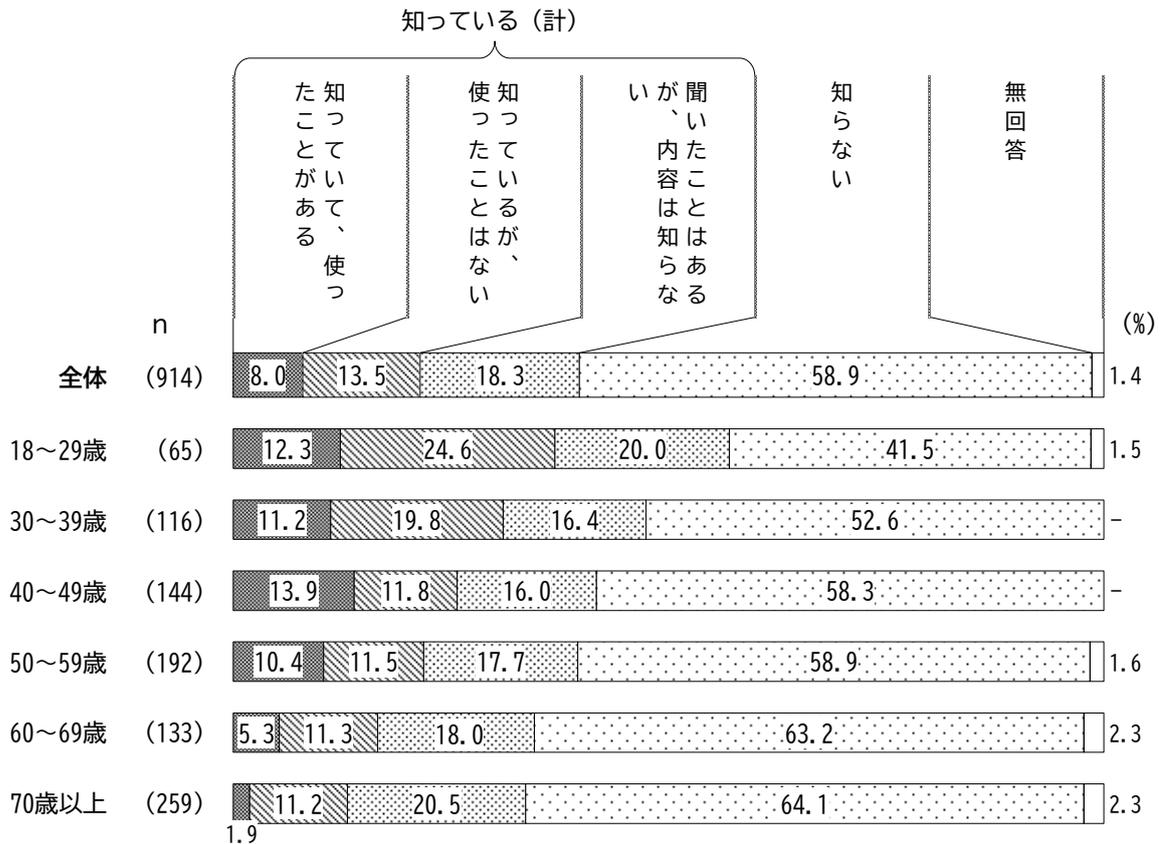


【年齢別】

年代が若いほど認知度が高く、「18～29歳」で「知っている、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は半数以上を占めている。

一方、60歳以上では「知らない」が60%以上を占めている。

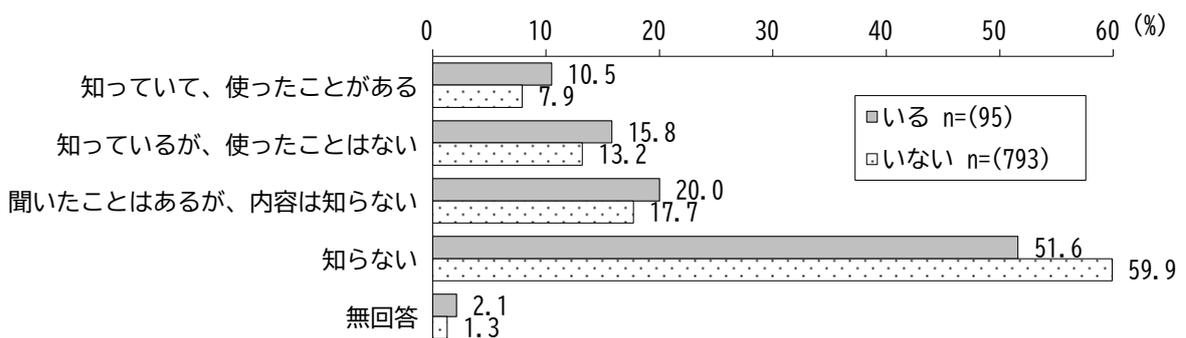
図表 「やさしい日本語」の認知度（年齢別）



【家族や親戚の外国人の有無別】

「知っている、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は、家族や親戚に外国人が「いる」で46.3%となっており、「いない」よりも7.5ポイント高くなっている。

図表 「やさしい日本語」の認知度（家族や親戚の外国人の有無別）

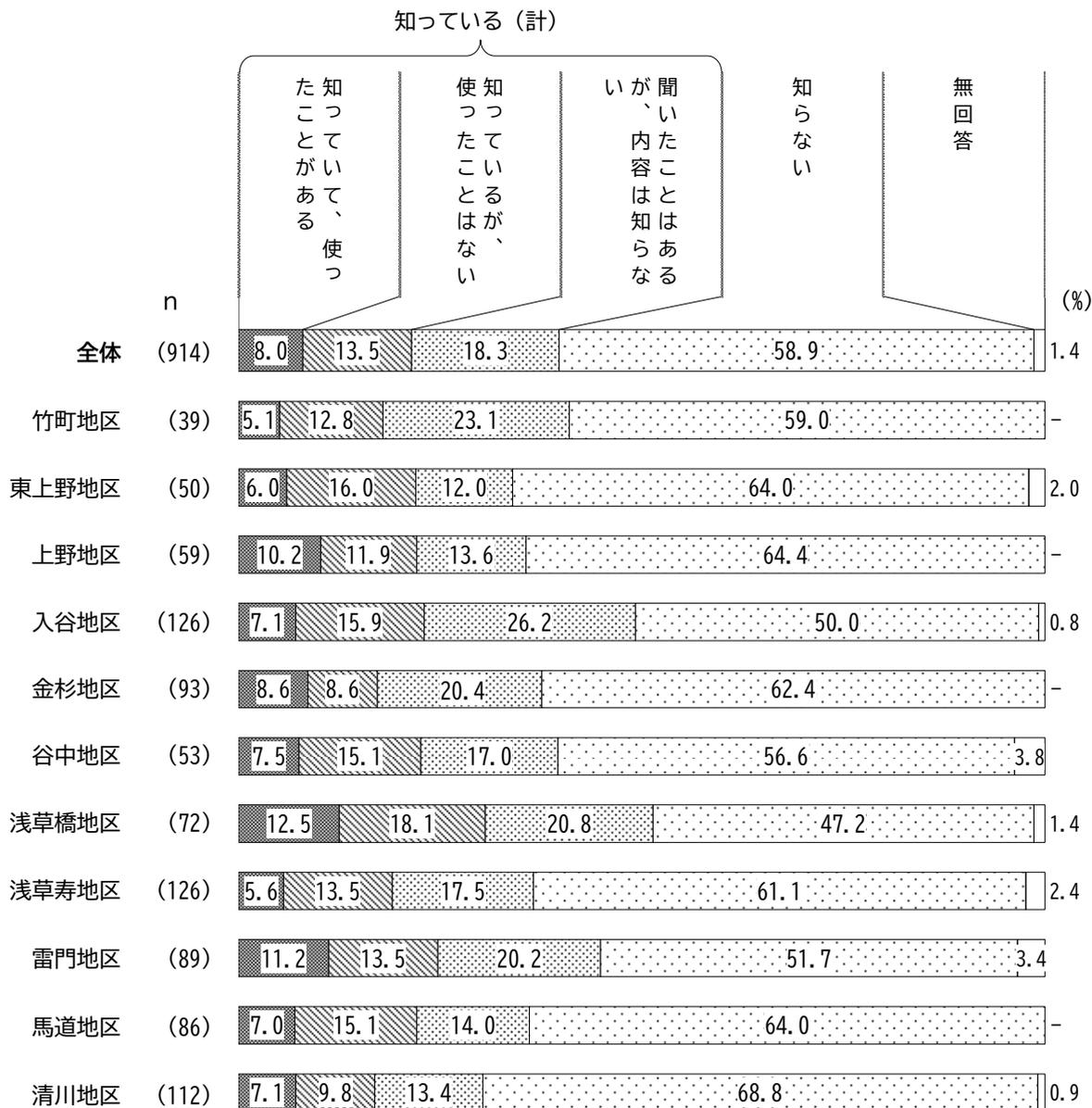


【居住地域別】

「知っている、使ったことがある」「知っているが、使ったことはない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた認知度は、「入谷地区」「浅草橋地区」「雷門地区」で全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「東上野地区」「上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」「馬道地区」「清川地区」では「知らない」が60%以上を占めている。

図表 「やさしい日本語」の認知度（居住地域別）

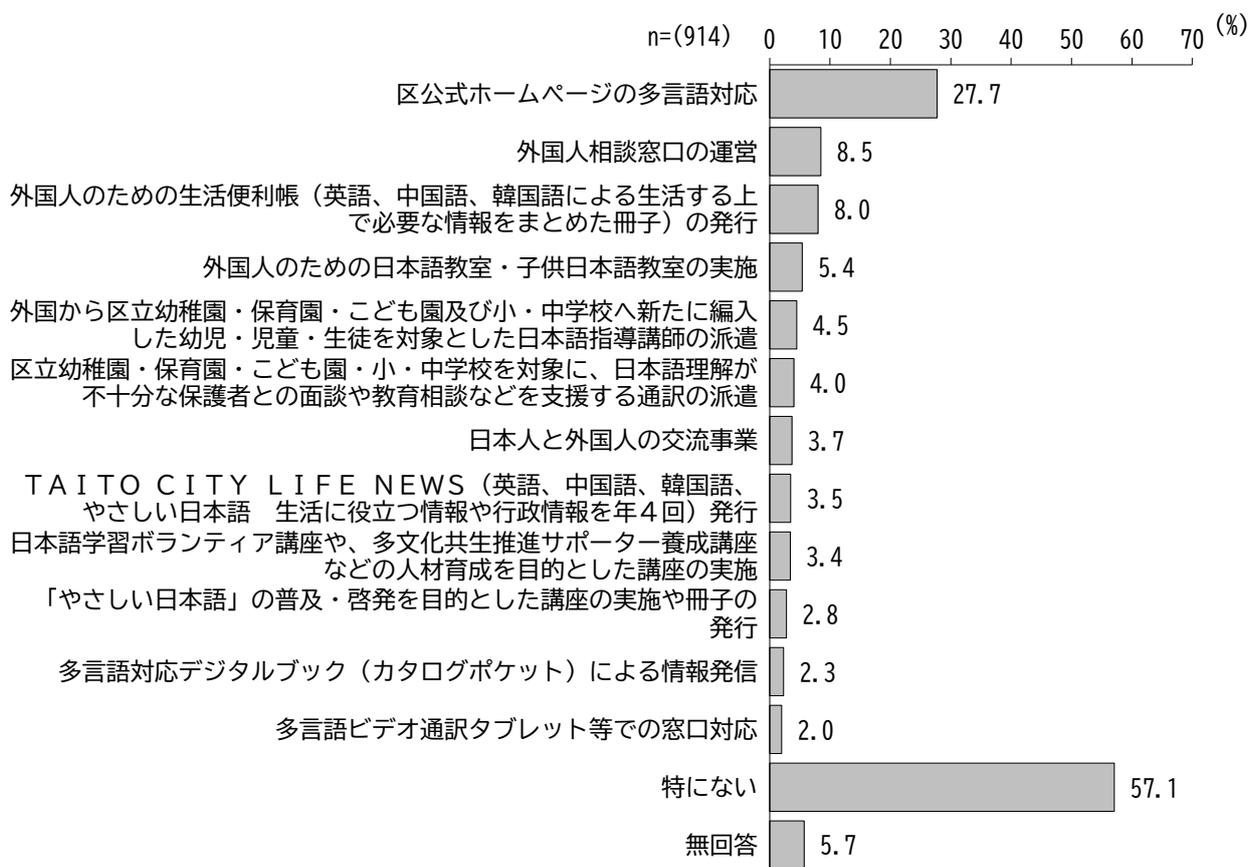


(3) 多文化共生に関するサービスや取組の認知度

問25 台東区が実施している多文化共生に関する取組で知っているものは何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

「区公式ホームページの多言語対応」(27.7%)が最も高く、次いで、「外国人相談窓口の運営」(8.5%)、「外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行」(8.0%)となっている。一方、「特にない」は57.1%と半数以上を占めている。

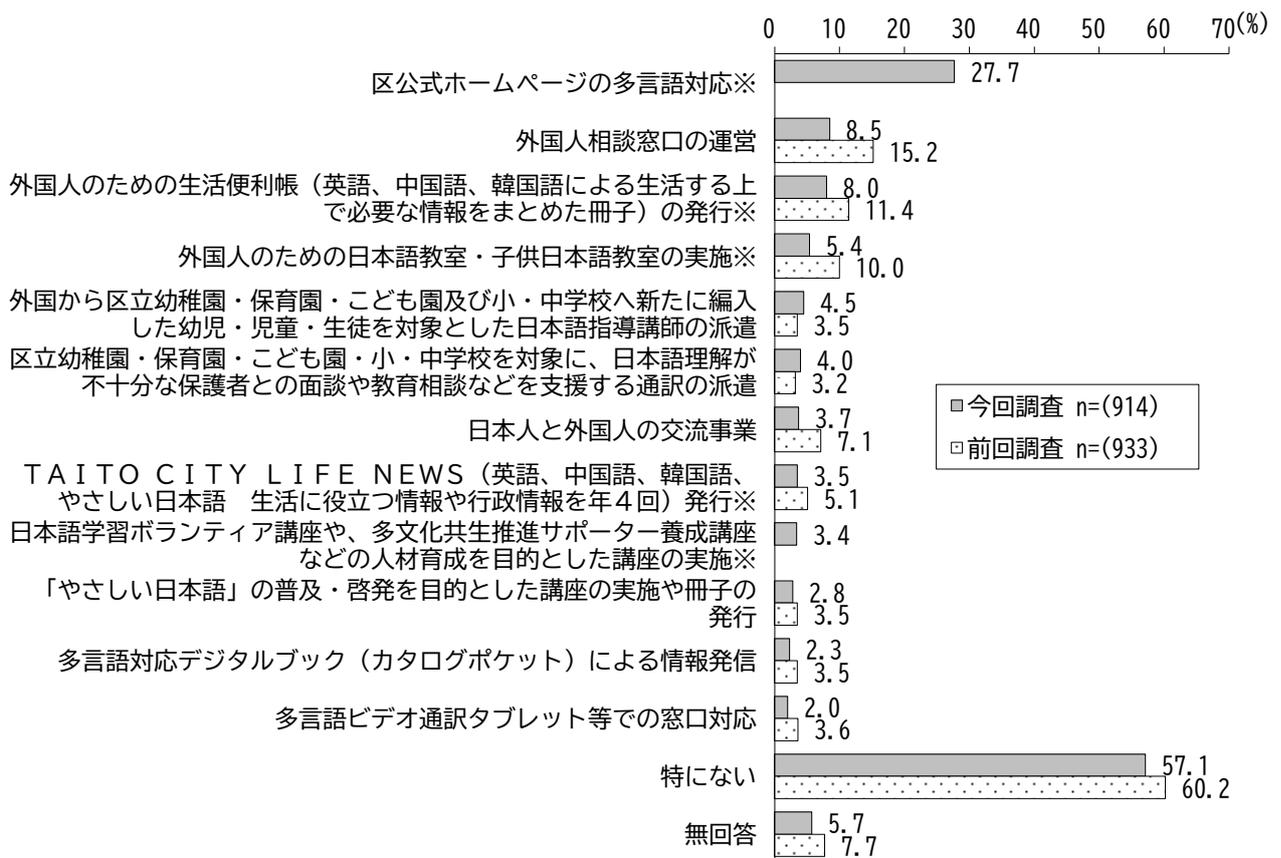
図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度(複数回答)



【経年比較】

前回との比較では、「外国人相談窓口の運営」が6.7ポイント減少し、「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」「日本人と外国人の交流事業」や「特にない」もやや減少しているが、認知度の順位では大きな差異はみられない。

図表 【経年比較】多文化共生に関するサービスや取組の認知度（複数回答）



※今回調査の選択肢「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」は前回調査では「生活する上で必要な情報を多言語でまとめた「生活便利帳」の発行」、「TAITO CITY LIFE NEWS（英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回）発行」は「生活に役立つ情報や行政情報を、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語で年4回発行する「多言語情報紙」の発行」、「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」は「外国人のための日本語教室の実施」であった。

※今回調査より、選択肢「区公式ホームページの多言語対応」「日本語学習ボランティア講座や、多文化共生推進サポーター養成講座などの人材育成を目的とした講座の実施」が追加された。

【外国人との交流機会の頻度別】

交流機会が多いほどサービスや取組の認知度が高い傾向にあり、交流機会が「少しある」で「区公式ホームページの多言語対応」「外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣」の認知度が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（外国人との交流機会の頻度別）

上段:人数 下段:%	調査数	区公式ホームページの多言語対応	外国人相談窓口の運営	外国人のための生活便利帳(英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子)の発行	外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施	外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣	区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校を対象に、日本語理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣	日本人と外国人の交流事業
全体	914 100.0%	253 27.7%	78 8.5%	73 8.0%	49 5.4%	41 4.5%	37 4.0%	34 3.7%
たくさんある	16 100.0%	7 43.8%	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%
少しある	137 100.0%	52 38.0%	13 9.5%	15 10.9%	9 6.6%	14 10.2%	11 8.0%	6 4.4%
あまりない	287 100.0%	92 32.1%	35 12.2%	29 10.1%	12 4.2%	13 4.5%	12 4.2%	12 4.2%
全くない	420 100.0%	93 22.1%	24 5.7%	24 5.7%	24 5.7%	12 2.9%	10 2.4%	14 3.3%
わからない	38 100.0%	9 23.7%	2 5.3%	2 5.3%	1 2.6%	-	1 2.6%	-

上段:人数 下段:%	調査数	TAITO CITY LIFE NEWS(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 生活に役立つ情報や行政情報を年4回)発行	日本語学習ボランティア講座や、多文化共生推進サポーター養成講座などの人材育成を目的とした講座の実施	「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行	多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信	多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応	特になし	無回答
全体	914 100.0%	32 3.5%	31 3.4%	26 2.8%	21 2.3%	18 2.0%	522 57.1%	52 5.7%
たくさんある	16 100.0%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	-	5 31.3%	1 6.3%
少しある	137 100.0%	7 5.1%	10 7.3%	5 3.6%	6 4.4%	6 4.4%	56 40.9%	13 9.5%
あまりない	287 100.0%	9 3.1%	9 3.1%	9 3.1%	4 1.4%	3 1.0%	159 55.4%	7 2.4%
全くない	420 100.0%	14 3.3%	8 1.9%	8 1.9%	9 2.1%	8 1.9%	269 64.0%	22 5.2%
わからない	38 100.0%	-	2 5.3%	-	-	1 2.6%	23 60.5%	4 10.5%

【居住地域別】

「上野地区」「金杉地区」「浅草寿地区」「雷門地区」で「区公式ホームページの多言語対応」、「谷中地区」「雷門地区」で「外国人相談窓口の運営」、「雷門地区」で「外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行」、「竹町地区」で「外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（居住地域別）

	調査数	区公式ホームページの多言語対応	外国人相談窓口の運営	外国人のための生活便利帳（英語、中国語、韓国語による生活する上で必要な情報をまとめた冊子）の発行	外国人のための日本語教室・子供日本語教室の実施	外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童と生徒を対象とした日本語指導講師の派遣	区立幼稚園・保育園・こども園・小・中学校を対象に、日本語理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣	日本人と外国人の交流事業
全体	914 100.0%	253 27.7%	78 8.5%	73 8.0%	49 5.4%	41 4.5%	37 4.0%	34 3.7%
竹町地区	39 100.0%	10 25.6%	2 5.1%	4 10.3%	5 12.8%	2 5.1%	- -	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	11 22.0%	3 6.0%	3 6.0%	1 2.0%	2 4.0%	2 4.0%	1 2.0%
上野地区	59 100.0%	20 33.9%	6 10.2%	6 10.2%	5 8.5%	3 5.1%	3 5.1%	5 8.5%
入谷地区	126 100.0%	27 21.4%	6 4.8%	5 4.0%	5 4.0%	5 4.0%	5 4.0%	4 3.2%
金杉地区	93 100.0%	33 35.5%	6 6.5%	9 9.7%	7 7.5%	4 4.3%	4 4.3%	3 3.2%
谷中地区	53 100.0%	14 26.4%	8 15.1%	4 7.5%	5 9.4%	4 7.5%	4 7.5%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	23 31.9%	8 11.1%	6 8.3%	1 1.4%	2 2.8%	1 1.4%	2 2.8%
浅草寿地区	126 100.0%	45 35.7%	11 8.7%	11 8.7%	5 4.0%	7 5.6%	7 5.6%	5 4.0%
雷門地区	89 100.0%	34 38.2%	12 13.5%	16 18.0%	6 6.7%	4 4.5%	6 6.7%	5 5.6%
馬道地区	86 100.0%	17 19.8%	9 10.5%	3 3.5%	3 3.5%	4 4.7%	1 1.2%	2 2.3%
清川地区	112 100.0%	18 16.1%	6 5.4%	6 5.4%	6 5.4%	4 3.6%	3 2.7%	2 1.8%

（他の選択肢のデータは次ページに続く）

図表 多文化共生に関するサービスや取組の認知度（居住地域別）

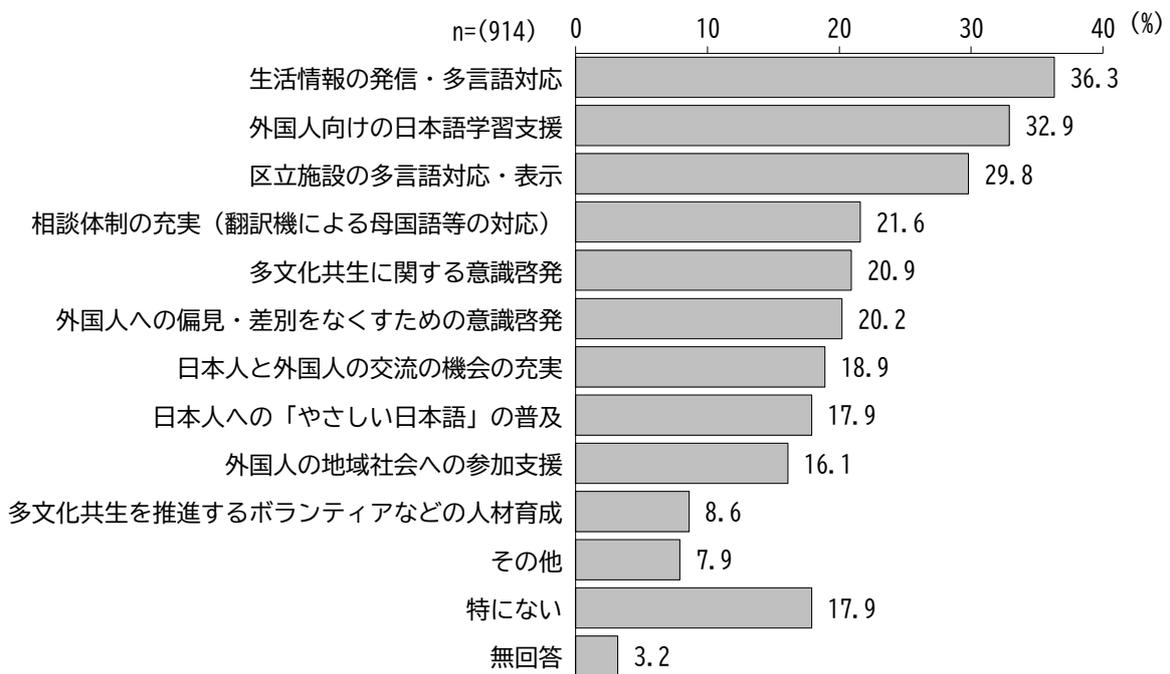
上段:人数 下段:%	調査数	TAITO CITY LIFE NEWS (英語、中国語、 韓国語、やさし い日本語 生活 に役立つ情報 や行政情報を 年4回)発行	日本語学習ボ ランティア講座 や、多文化共生 推進サポーター 養成講座など の人材育成を 目的とした講 座の実施	「やさしい日本 語」の普及・啓 発を目的とした 講座の実施や 冊子の発行	多言語対応デ ジタルブック (カタログボ ケット)による 情報発信	多言語ビデオ 通訳タブレット 等での窓口対 応	特になし	無回答
全体	914 100.0%	32 3.5%	31 3.4%	26 2.8%	21 2.3%	18 2.0%	522 57.1%	52 5.7%
竹町地区	39 100.0%	1 2.6%	2 5.1%	1 2.6%	2 5.1%	1 2.6%	14 35.9%	4 10.3%
東上野地区	50 100.0%	3 6.0%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%	33 66.0%	3 6.0%
上野地区	59 100.0%	2 3.4%	3 5.1%	3 5.1%	1 1.7%	1 1.7%	29 49.2%	1 1.7%
入谷地区	126 100.0%	3 2.4%	2 1.6%	1 0.8%	3 2.4%	2 1.6%	79 62.7%	7 5.6%
金杉地区	93 100.0%	4 4.3%	6 6.5%	3 3.2%	- -	- -	55 59.1%	- -
谷中地区	53 100.0%	- -	4 7.5%	3 5.7%	1 1.9%	1 1.9%	25 47.2%	8 15.1%
浅草橋地区	72 100.0%	4 5.6%	2 2.8%	6 8.3%	2 2.8%	1 1.4%	44 61.1%	1 1.4%
浅草寿地区	126 100.0%	4 3.2%	4 3.2%	3 2.4%	4 3.2%	2 1.6%	63 50.0%	8 6.3%
雷門地区	89 100.0%	8 9.0%	5 5.6%	2 2.2%	3 3.4%	5 5.6%	41 46.1%	5 5.6%
馬道地区	86 100.0%	- -	- -	1 1.2%	2 2.3%	1 1.2%	55 64.0%	8 9.3%
清川地区	112 100.0%	3 2.7%	2 1.8%	2 1.8%	2 1.8%	3 2.7%	76 67.9%	7 6.3%

(4) 台東区が力を入れるべきだと思うこと

問26 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

「生活情報の発信・多言語対応」(36.3%)が最も高く、次いで、「外国人向けの日本語学習支援」(32.9%)、「区立施設の多言語対応・表示」(29.8%)、「相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)」(21.6%)、「多文化共生に関する意識啓発」(20.9%)、「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」(20.2%)となっている。一方、「特にない」は17.9%となっている。

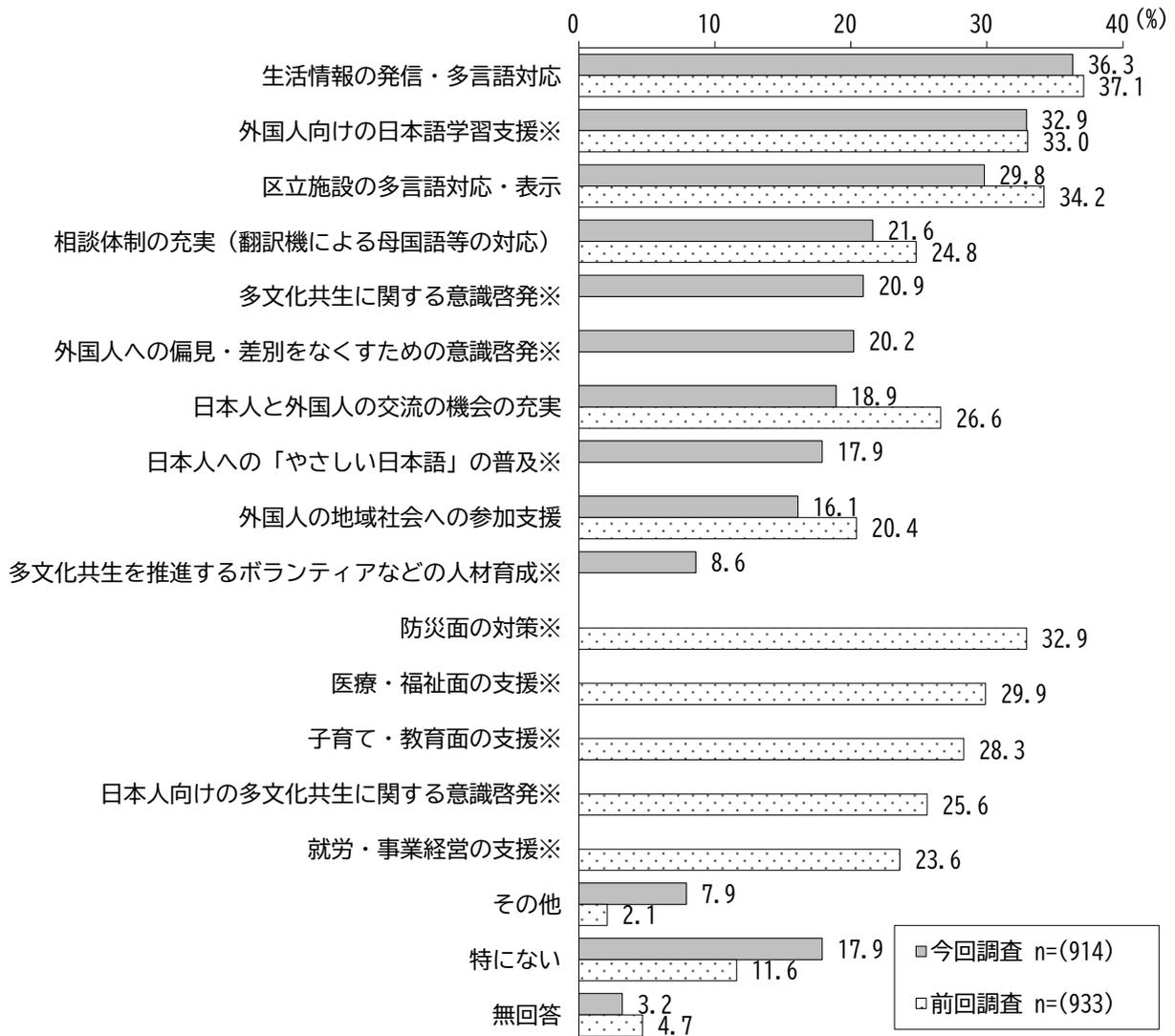
図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと(複数回答)



【経年比較】

前回調査から選択肢の変更が多いが、比較可能な項目でみると、「日本人と外国人の交流の機会の充実」が7.7ポイント減少し、「区立施設の多言語対応・表示」「相談体制の充実（翻訳機による母国語等の対応）」「外国人の地域社会への参加支援」がやや減少している。

図表 【経年比較】台東区が力を入れるべきだと思うこと（複数回答）



※今回調査の選択肢「外国人向けの日本語学習支援」は前回調査では「外国人向けの日本語習得支援」、「相談体制の充実（翻訳機による母国語等の対応）」は「相談体制の充実・通訳配置（多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む）」であった。

※今回調査より、選択肢「日本人への「やさしい日本語」の普及」「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」「多文化共生に関する意識啓発」「多文化共生を推進するボランティアなどの人材育成」が追加された。

※前回調査より、選択肢「防災面の対策」「子育て・教育面の支援」「医療・福祉面の支援」「就労・事業経営の支援」「日本人向けの多文化共生に関する意識啓発」が削除された。

【年齢別】

「50～59歳」「60～69歳」で全体平均と比較して5ポイント以上高い項目が多くなっている。「50～59歳」では「生活情報の発信・多言語対応」「外国人向けの日本語学習支援」「相談体制の充実（翻訳機による母国語等の対応）」「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」が、「60～69歳」では「外国人向けの日本語学習支援」「多文化共生に関する意識啓発」「外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発」がそれぞれ全体平均と比較して5ポイント以上高い。

一方、「30～39歳」で「特にない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（年齢別）

上段:人数 下段:%	調査数	生活情報の発信・多言語対応	外国人向けの日本語学習支援	区立施設の多言語対応・表示	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	多文化共生に関する意識啓発	外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実
全体	914 100.0%	332 36.3%	301 32.9%	272 29.8%	197 21.6%	191 20.9%	185 20.2%	173 18.9%
18～29歳	65 100.0%	25 38.5%	22 33.8%	20 30.8%	13 20.0%	9 13.8%	8 12.3%	9 13.8%
30～39歳	116 100.0%	32 27.6%	30 25.9%	28 24.1%	25 21.6%	14 12.1%	17 14.7%	22 19.0%
40～49歳	144 100.0%	57 39.6%	40 27.8%	43 29.9%	31 21.5%	29 20.1%	23 16.0%	27 18.8%
50～59歳	192 100.0%	95 49.5%	73 38.0%	65 33.9%	53 27.6%	44 22.9%	49 25.5%	38 19.8%
60～69歳	133 100.0%	54 40.6%	56 42.1%	42 31.6%	30 22.6%	38 28.6%	34 25.6%	31 23.3%
70歳以上	259 100.0%	69 26.6%	79 30.5%	73 28.2%	43 16.6%	57 22.0%	54 20.8%	45 17.4%

上段:人数 下段:%	調査数	日本人への「やさしい日本語」の普及	外国人の地域社会への参加支援	多文化共生を推進するボランティアなどの人材育成	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	164 17.9%	147 16.1%	79 8.6%	72 7.9%	164 17.9%	29 3.2%
18～29歳	65 100.0%	10 15.4%	7 10.8%	3 4.6%	6 9.2%	10 15.4%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	13 11.2%	15 12.9%	6 5.2%	11 9.5%	28 24.1%	1 0.9%
40～49歳	144 100.0%	26 18.1%	24 16.7%	9 6.3%	21 14.6%	25 17.4%	1 0.7%
50～59歳	192 100.0%	40 20.8%	43 22.4%	20 10.4%	20 10.4%	23 12.0%	2 1.0%
60～69歳	133 100.0%	27 20.3%	26 19.5%	12 9.0%	10 7.5%	16 12.0%	4 3.0%
70歳以上	259 100.0%	47 18.1%	32 12.4%	29 11.2%	3 1.2%	59 22.8%	20 7.7%

【居住地域別】

「上野地区」「谷中地区」「浅草寿地区」「雷門地区」「馬道地区」で「生活情報の発信・多言語対応」が、「金杉地区」では「外国人向けの日本語学習支援」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 台東区が力を入れるべきだと思うこと（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	生活情報の発信・多言語対応	外国人向けの日本語学習支援	区立施設が多言語対応・表示	相談体制の充実(翻訳機による母国語等の対応)	多文化共生に関する意識啓発	外国人への偏見・差別をなくすための意識啓発	日本人と外国人の交流の機会の充実
全体	914 100.0%	332 36.3%	301 32.9%	272 29.8%	197 21.6%	191 20.9%	185 20.2%	173 18.9%
竹町地区	39 100.0%	9 23.1%	13 33.3%	8 20.5%	5 12.8%	6 15.4%	4 10.3%	4 10.3%
東上野地区	50 100.0%	19 38.0%	15 30.0%	11 22.0%	12 24.0%	6 12.0%	14 28.0%	13 26.0%
上野地区	59 100.0%	25 42.4%	20 33.9%	20 33.9%	17 28.8%	12 20.3%	13 22.0%	12 20.3%
入谷地区	126 100.0%	37 29.4%	44 34.9%	28 22.2%	27 21.4%	18 14.3%	22 17.5%	18 14.3%
金杉地区	93 100.0%	35 37.6%	38 40.9%	33 35.5%	20 21.5%	27 29.0%	20 21.5%	13 14.0%
谷中地区	53 100.0%	23 43.4%	17 32.1%	19 35.8%	9 17.0%	14 26.4%	12 22.6%	11 20.8%
浅草橋地区	72 100.0%	17 23.6%	23 31.9%	16 22.2%	16 22.2%	16 22.2%	13 18.1%	18 25.0%
浅草寿地区	126 100.0%	52 41.3%	45 35.7%	49 38.9%	27 21.4%	31 24.6%	25 19.8%	26 20.6%
雷門地区	89 100.0%	42 47.2%	27 30.3%	28 31.5%	25 28.1%	29 32.6%	21 23.6%	19 21.3%
馬道地区	86 100.0%	38 44.2%	23 26.7%	27 31.4%	20 23.3%	17 19.8%	22 25.6%	24 27.9%
清川地区	112 100.0%	33 29.5%	33 29.5%	32 28.6%	18 16.1%	15 13.4%	19 17.0%	15 13.4%

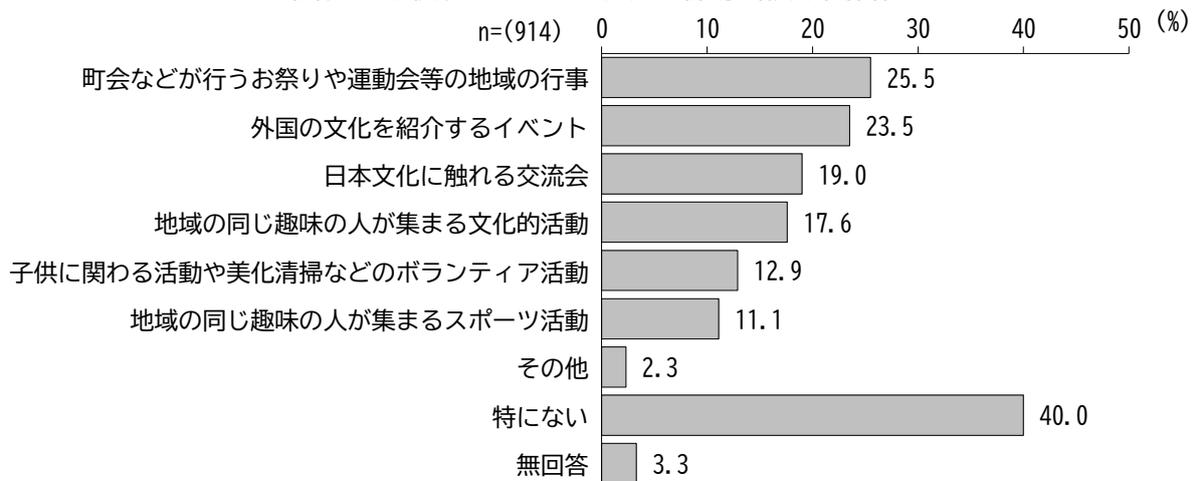
上段:人数 下段:%	調査数	日本人への「やさしい日本語」の普及	外国人の地域社会への参加支援	多文化共生を推進するボランティアなどの人材育成	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	164 17.9%	147 16.1%	79 8.6%	72 7.9%	164 17.9%	29 3.2%
竹町地区	39 100.0%	3 7.7%	3 7.7%	4 10.3%	4 10.3%	5 12.8%	1 2.6%
東上野地区	50 100.0%	5 10.0%	8 16.0%	3 6.0%	7 14.0%	12 24.0%	-
上野地区	59 100.0%	10 16.9%	11 18.6%	4 6.8%	5 8.5%	9 15.3%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	15 11.9%	12 9.5%	5 4.0%	12 9.5%	21 16.7%	3 2.4%
金杉地区	93 100.0%	29 31.2%	21 22.6%	8 8.6%	7 7.5%	21 22.6%	1 1.1%
谷中地区	53 100.0%	15 28.3%	17 32.1%	10 18.9%	3 5.7%	4 7.5%	3 5.7%
浅草橋地区	72 100.0%	11 15.3%	11 15.3%	7 9.7%	7 9.7%	13 18.1%	3 4.2%
浅草寿地区	126 100.0%	22 17.5%	20 15.9%	13 10.3%	8 6.3%	24 19.0%	5 4.0%
雷門地区	89 100.0%	17 19.1%	16 18.0%	8 9.0%	8 9.0%	10 11.2%	1 1.1%
馬道地区	86 100.0%	16 18.6%	16 18.6%	11 12.8%	6 7.0%	16 18.6%	3 3.5%
清川地区	112 100.0%	19 17.0%	11 9.8%	6 5.4%	4 3.6%	27 24.1%	5 4.5%

(5) 今後参加したい地域の活動

問27 地域で暮らす外国人との理解を促進するためにどのような地域の活動に参加したいですか。(当てはまるもの全てに○)

「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」(25.5%)が最も高く、次いで、「外国の文化を紹介するイベント」(23.5%)、「日本文化に触れる交流会」(19.0%)、「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」(17.6%)となっている。一方、「特にない」は40.0%となっている。

図表 今後参加したい地域の活動（複数回答）



【年齢別】

「40～49歳」「50～59歳」で「外国の文化を紹介するイベント」が、「50～59歳」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」が、「30～39歳」で「子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

一方、「30～39歳」では「特にない」が50%となり、全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 今後参加したい地域の活動（年齢別）

年齢	調査数 上段:人数 下段:%	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	外国の文化を紹介するイベント	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	233 25.5%	215 23.5%	174 19.0%	161 17.6%	118 12.9%	101 11.1%	21 2.3%	366 40.0%	30 3.3%
18～29歳	65 100.0%	18 27.7%	10 15.4%	9 13.8%	10 15.4%	5 7.7%	6 9.2%	1 1.5%	29 44.6%	1 1.5%
30～39歳	116 100.0%	30 25.9%	23 19.8%	10 8.6%	17 14.7%	23 19.8%	15 12.9%	-	58 50.0%	-
40～49歳	144 100.0%	36 25.0%	43 29.9%	32 22.2%	27 18.8%	17 11.8%	22 15.3%	3 2.1%	52 36.1%	2 1.4%
50～59歳	192 100.0%	52 27.1%	64 33.3%	45 23.4%	44 22.9%	30 15.6%	29 15.1%	6 3.1%	58 30.2%	2 1.0%
60～69歳	133 100.0%	26 19.5%	33 24.8%	29 21.8%	23 17.3%	16 12.0%	13 9.8%	3 2.3%	57 42.9%	4 3.0%
70歳以上	259 100.0%	69 26.6%	42 16.2%	49 18.9%	38 14.7%	26 10.0%	16 6.2%	7 2.7%	110 42.5%	21 8.1%

【居住地域別】

「上野地区」「雷門地区」で「町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事」、「上野地区」で「外国の文化を紹介するイベント」、「東上野地区」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」「地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動」、「浅草寿地区」で「地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動」「子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動」が全体平均と比較して5ポイント以上高い。また、「谷中地区」は全ての活動が全体平均を上回っている。

一方、「竹町地区」「東上野地区」「入谷地区」で「特にない」が全体平均と比較して5ポイント以上高くなっている。

図表 今後参加したい地域の活動（居住地域別）

上段:人数 下段:%	調査数	町会などが行うお祭りや運動会等の地域の行事	外国の文化を紹介するイベント	日本文化に触れる交流会	地域の同じ趣味の人が集まる文化的活動	子供に関わる活動や美化清掃などのボランティア活動	地域の同じ趣味の人が集まるスポーツ活動	その他	特にない	無回答
全体	914 100.0%	233 25.5%	215 23.5%	174 19.0%	161 17.6%	118 12.9%	101 11.1%	21 2.3%	366 40.0%	30 3.3%
竹町地区	39 100.0%	9 23.1%	9 23.1%	4 10.3%	1 2.6%	1 2.6%	2 5.1%	- -	21 53.8%	2 5.1%
東上野地区	50 100.0%	4 8.0%	9 18.0%	10 20.0%	13 26.0%	2 4.0%	12 24.0%	3 6.0%	24 48.0%	- -
上野地区	59 100.0%	21 35.6%	17 28.8%	12 20.3%	13 22.0%	9 15.3%	9 15.3%	2 3.4%	25 42.4%	2 3.4%
入谷地区	126 100.0%	28 22.2%	23 18.3%	27 21.4%	15 11.9%	14 11.1%	12 9.5%	2 1.6%	58 46.0%	3 2.4%
金杉地区	93 100.0%	22 23.7%	22 23.7%	17 18.3%	17 18.3%	13 14.0%	5 5.4%	3 3.2%	41 44.1%	- -
谷中地区	53 100.0%	14 26.4%	17 32.1%	13 24.5%	12 22.6%	14 26.4%	9 17.0%	2 3.8%	12 22.6%	4 7.5%
浅草橋地区	72 100.0%	19 26.4%	16 22.2%	16 22.2%	10 13.9%	8 11.1%	7 9.7%	2 2.8%	25 34.7%	5 6.9%
浅草寿地区	126 100.0%	36 28.6%	35 27.8%	21 16.7%	31 24.6%	23 18.3%	17 13.5%	1 0.8%	44 34.9%	4 3.2%
雷門地区	89 100.0%	29 32.6%	25 28.1%	16 18.0%	21 23.6%	14 15.7%	9 10.1%	3 3.4%	29 32.6%	1 1.1%
馬道地区	86 100.0%	21 24.4%	20 23.3%	19 22.1%	14 16.3%	11 12.8%	8 9.3%	- -	36 41.9%	3 3.5%
清川地区	112 100.0%	29 25.9%	21 18.8%	18 16.1%	14 12.5%	9 8.0%	10 8.9%	3 2.7%	45 40.2%	5 4.5%

(6) 台東区における多文化共生の推進についての意見（自由記述）

問28 台東区における多文化共生の推進について、ご意見がありましたらご記入ください。

台東区における多文化共生の推進に対する自由記述に247名（回答者に占める割合で27.0%）の回答があった。内訳は、多文化共生に理解・賛成する意見が43名、不安・懸念を感じる意見が161名、中立的な意見が7名、理解・賛成、不安・懸念、中立的な意見を併せて記述した意見が16名、趣旨が不明な意見が1名、意見が無いまたはわからないと記述された意見が19名であった。

なお、1名の自由記述に複数の内容の意見が含まれている場合、これを分野ごとに分けて整理し、その件数をカウントした。

以下に、分野ごとに該当する意見の件数と、その主な内容を記載する。

1. 多文化共生に関すること（102件）

(1) 理解・賛成する意見（41件）

【主な意見の内容】

- ・自分が海外で生活等をした経験から多文化共生推進に理解や賛成をする意見
- ・多文化交流を進めるための企画やイベントの提案、区が主導した交流機会の創出を求める意見
- ・区が多文化共生を推進していることがわかり安心した、もっとPRしてほしい、応援しているという意見

(2) 不安・懸念を感じるなどとする意見（55件）

【主な意見の内容】

- ・外国人が多すぎる、共生できる限界を超えているとする意見
- ・日本に来たのだから、外国人が日本の生活習慣、文化に合わせるべきとするものや、日本人から譲歩するものではないとする意見
- ・多文化共生を進めることに日本人のメリットがない、負担が大きいとする意見
- ・外国人の受入れにより日本の伝統的な文化が失われる懸念や生活の変化への不安を訴える意見
- ・海外で移民政策が失敗しているなどとし、外国人の受入れや多文化共生の推進に反対する意見

(3) 中立的な意見（6件）

【主な意見の内容】

- ・多文化共生の言葉を初めて知ったという意見
- ・日本人・外国人に関わらず、ルールが守られ気持ちよく過ごせれば十分だという意見

2. ルール・マナーに関すること (81件)

(1) 外国人のルール・マナーに肯定的な意見 (6件)

【主な意見の内容】

- ・近所や店舗で外国人と接する経験から、外国人が生活に必要なルールを理解していると感じるという意見

(2) 外国人のルール・マナーの順守に不安・懸念を感じるなどとする意見 (72件)

【主な意見の内容】

- ・外国人に以下のルール・マナー違反があると指摘する意見
 - ◇自転車や車の通行、駐輪などの交通ルール
 - ◇ごみの出し方や分別、ポイ捨ての禁止等の生活上のルール
 - ◇騒音、振動などの住居など相隣関係のルール
 - ◇公園や道路など公共空間でのルール
 - ◇ルール違反を指摘しても直さない
- ・外国人に地域で暮らす以上、地域の習慣やルールを学ぶこと、それに従うこととの順守を求める意見
- ・外国人に、地域に定着しルールを守るという意識が乏しいとの懸念を示すものや、こうした意識をしっかりと持ってほしいとする意見
- ・自国の文化や習慣をそのまま日本に持ち込んでいるとの指摘や、そのような行動に対する不満を表明する意見
- ・区が様々な生活上のルールを外国人に伝えると共に、これを守るよう強い働きかけを求める意見

(3) 中立的な意見 (3件)

【主な意見の内容】

- ・日本でのごみ出しのルールや考え方などマンガでわかりやすく伝えたらどうかという意見

3. 民泊・観光に関すること (35件)

(1) 観光施策を推進すべきという意見 (1件)

(2) 観光施策の推進に不安・懸念を感じるなどとする意見 (34件)

【主な意見の内容】

- ・民泊が多すぎるとする指摘、地域が民泊だらけになり不安だとする意見
- ・観光客の以下のマナー違反を指摘する意見
 - ◇路線バスへの大きなスーツケースの持込み、優先席の理解が無いなど公共交通機関の利用ルール
 - ◇大声を出す、横並びの歩行、地べたへの座り込み等の公共空間でのマナー
 - ◇ポイ捨てなどのごみに関するマナー

◇列への割り込みや飲食店での長居

- ・届出の無い民泊の営業、宿泊定員を超える利用、白ナンバーの乗用車等による観光客の送迎などが行われているとし、許されるものではないなどとする意見
- ・観光客が多すぎて迷惑を被ったり、生活への支障があるとし、マナー啓発やインバウンド対策、ビザの発給や民泊開設の制限などを求める意見

4. 行政による外国人への対応を求める意見（33件）

（1）行政に外国人に対して積極的な対応を求める意見（31件）

【主な意見の内容】

- ・治安の維持や税金等の収納、生活上のルールを守らせることの徹底を行政が強力に進めるよう求める意見
- ・ルール違反に対して罰則を設ける等強制力を持たせ、これを行政が厳格に運用するよう求める意見
- ・行政が、国民や地域住民の意見を無視して外国人受入れ施策等を進めているとする意見、このことを前提に施策を改めるよう求める意見
- ・行政が治安の維持や地域社会の安定のため、外国人受入れをコントロールすべきとの意見

（2）外国人に対して中立的な行政対応を求める意見（2件）

5. 治安・街の安全に不安・懸念を感じるなどとする意見（31件）

【主な意見の内容】

- ・海外では移民の受入れにより治安が悪化しているとし、このことから日本に外国人の受入れをすべきではないなどとする意見
- ・外国人が増えることにより治安の悪化や犯罪の増加が懸念されるとする意見
- ・体格の良い外国人の存在や外国人学生の集団での駅周辺のすれ違いなどに不安を感じるなどとする意見

6. 外国人向けの施策ではなく、日本人向けの施策を優先すべきなどとする意見（30件）

【主な意見の内容】

- ・外国人を優遇するのではなく、日本人のための施策を優先させるべきとの意見
- ・自分たちが納めた税金が外国人のために使われるのは納得できない、日本人のために使うべきとする意見
- ・外国人が社会保障制度などの悪用を目的に来日しているとし、そのことで日本人の負担が増すことを許さない、是正を求めるなどとする意見
- ・外国人が集住することにより自国民だけのコミュニティを形成するなどし、日本人の暮らしに支障が出たり、不安が生じるとする意見

7. 移民等の外国人受入れに関する意見（24件）

（1）移民や外国人受入れに理解・賛成する意見（3件）

【主な意見の内容】

- ・日本の人口が減っているため、外国人の受入れを推進すべきという意見

（2）移民や外国人受入れに不安・懸念を感じるなどとする意見（19件）

【主な意見の内容】

- ・外国人の受入れを反対する意見や、在留する人の数を減らすよう求める意見
- ・海外の移民政策は失敗しているとして、日本も同じことをしているとし、不安を感じるという意見
- ・外国人に対する見方や考え方から、多文化共生や移民などに反対する意見

（3）中立的な意見（2件）

8. 特定の国籍・宗教に対して不安・懸念を感じるなどとする意見（12件）

【主な意見の内容】

- ・特定の国籍や宗教の信者に対して不満、不安を訴える意見、受入れを行うべきでないとする意見
- ・特定の国籍の人に土地を売るべきではない、買い占めを行っているなどと指摘する意見

9. 本アンケートの実施に関すること（9件）

（1）アンケートの実施が相互理解の促進に悪い影響を与えないか懸念する意見（1件）

（2）アンケートの実施に疑問を感じるなどとする意見（7件）

【主な意見の内容】

- ・アンケートの設問が、多文化共生の推進に誘導しているなどとする意見や、このアンケートの実施に税金が費やされることは問題があるとする意見

（3）アンケートの実施に中立的な意見（1件）

10. 言語や多言語表記に関すること（6件）

（1）言語や多言語表記に寛容的な意見（1件）

（2）外国人が日本語を習得すべきとする意見や、多言語表記が不要する意見（5件）

【主な意見の内容】

- ・公共施設の多言語表記が過剰である、英語のみで対応可能ではないかとする意見
- ・自分が留学した際の経験などから、外国人が日本に住む場合、日本語習得は必須条件だとする意見

11. その他（10件）

- （1）日本人と外国人を区別するべきではないという意見（3件）
- （2）まちづくりに関する意見（2件）
- （3）外国人が集住することへの不安を訴える意見（1件）
- （4）その他（障害者施策の充実等を求める意見）（3件）
- （5）主旨をくみとりがたい意見（1件）

12. 意見なし・わからないとの記述（19件）

※掲載した意見は、主な意見を要約したものであり、区の見解を示したものではない。また、特定の国籍や集団等に対する意見については偏見や差別、誤解を招かないようにするため一部を他の言葉に置き換えている。